

北方圏

SUMMER

1992
VOL. 80

HOPPOKEN

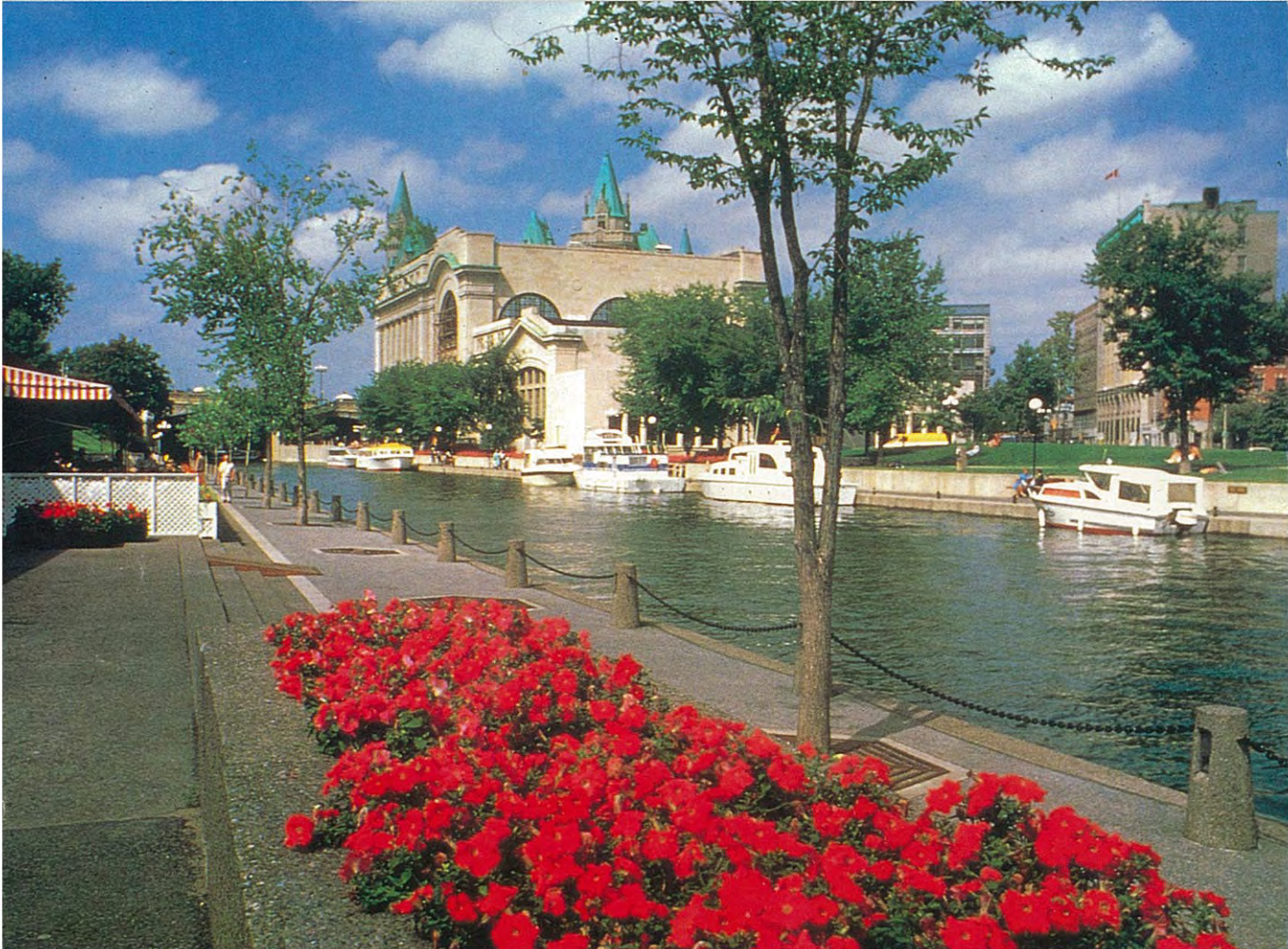
創刊20周年記念特別号

●北方圏各国大使からのメッセージ 四季豊かな北方圏の国々と暮らし

道内各界からのメッセージ 創刊20周年●季刊「北方圏」への期待と要望

座談会●季刊「北方圏」20年の歩み 山中文夫／宮嶋 勲／橋本禮三
佐藤直一／山本 孝(司会)

NRC国際理解セミナー●北海道とEC—これからの展望 駐日EC委員会代表部大使
ジャン・ピエール レング



Northern Regions Center (NRC)

社団法人 北方圏センター

北方圏・夏



〈アメリカ〉
都心の公園で(ポートランド)

四季折々に美しい北方圏の国々。白銀の冬、芽ぶきの春、太陽の夏、収穫の秋。はっきりとした季節という舞台の上で、人々は楽しめつつは夏の暮らしを演出する。

今、季節は夏。北方圏の国々は活気あふれる世界となる。清々しい空気、抜けるような青空、深まる緑、そして太陽の輝き。舞台セットは整った。

太陽という大きな照明の下で、人々は思い思いの場所で、姿で、太陽の恵みを喜び、太陽に感謝する。子供達の歓声に交じって、大人達の歓声もあがる。国内外の各地から観光客が訪れ、にぎわいを見せるのも、この太陽の夏だ。

それぞれに国の表情は違っても、短い夏という舞台を思いっきり楽しもうとする姿は、共通しているようにもある。



真夏でも冷気が迎えてくれるポーター氷河〈アメリカ〉



サイクリングの若者たち〈カナダ〉



夏の町でパレード、ロッキーには万年雪が

新基準で、新提案。

Vardö

「ヴェルデ」



新しい豊かさをかなえる土屋ホームの
「ヴェルデ」新登場。

北方圏の理想の住まいをめざして

北海道の厳しい冬を、暖かく快適に。土屋ホームは、この実現のための研究にいち早く着手。高断熱、高气密、そして高品質の住まいを開発してきました。全国省エネルギー住宅コンクールでは、全国第1位建設大臣賞を受賞。ここで培われた技術をさらに発展させ、新しい時代にふさわしいより豊かな住まいづくりをすすめてきました。

21世紀へ、新しい住文化へ。

街に優しく調和する外観デザイン。毎日の暮らしを優しく包む住み良さ、そして人を優しく見守る安全思想。そのひとつひとつが、これからの潤いある暮らしのための新しい基準です。21世紀に向かって、新しい住文化の創造。それは、北海道の暮らしを知りつくした土屋ホームの務めであると考えています。



北方圏の本格木造注文住宅
土屋ホーム
本社/〒060 札幌市北区北9条西2丁目24番地1 ☎(011)717-3333

北条北35条西9丁目/麻生ハウジングパークにて公開中

資料請求券
「ヴェルデ」



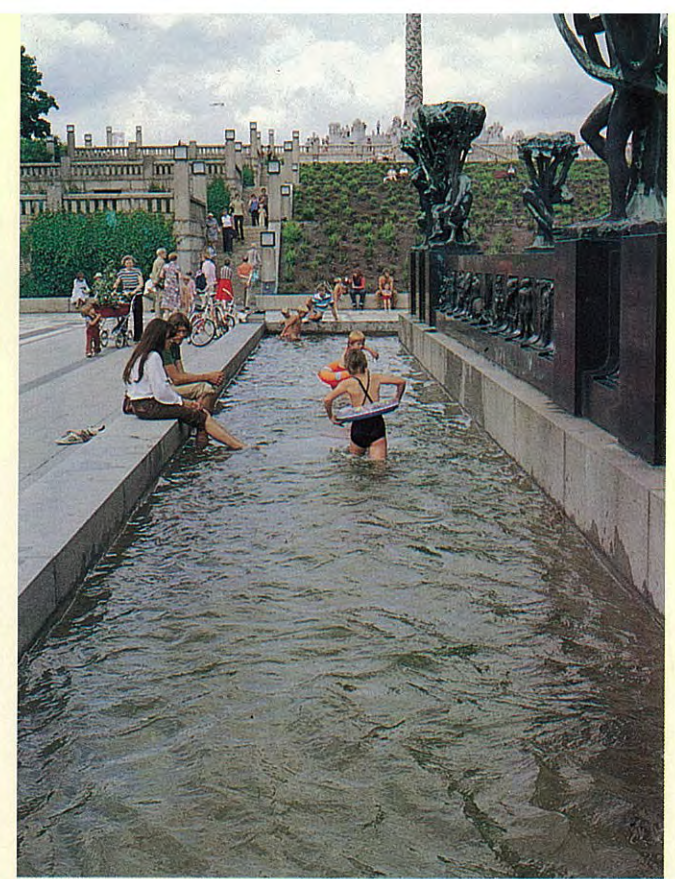
ヘルシキの街角<フィンランド>



大聖堂の階段で日光浴<フィンランド>



青空市はオスロっ子の台所<ノルウェー>



子供にとってフログネル公園も水遊びの場<ノルウェー>



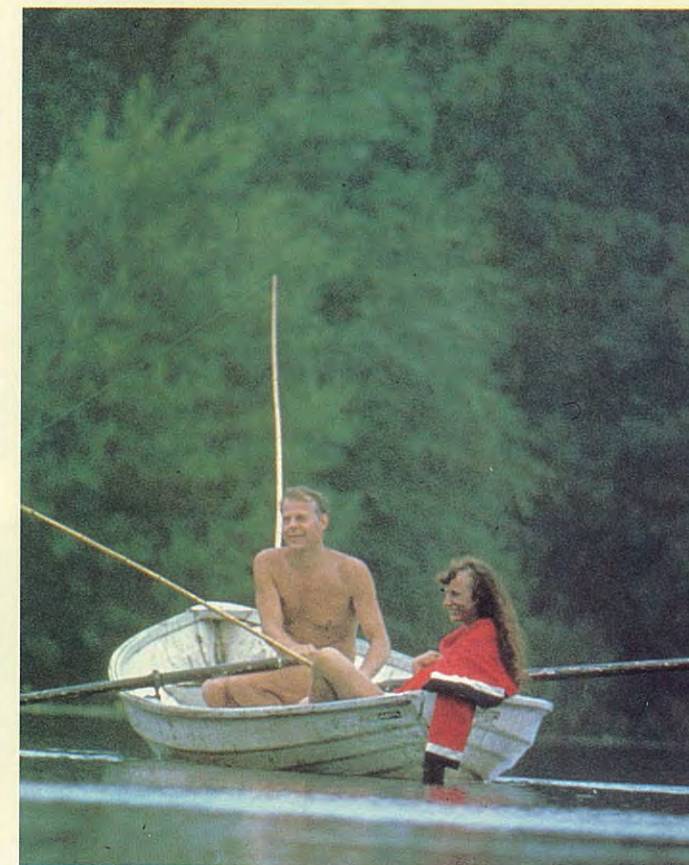
都心の水辺で<コペンハーゲン><デンマーク>



公園の芝生は日光浴の指定席<ノルウェー>



都心の公園で思い思いに日光浴<スウェーデン>



深まる緑を映す湖面の上で<スウェーデン>



街の公園の片すみで<デンマーク>



エレソン海峡を臨む海岸で<デンマーク>



もうすっかり夜ふけのはず?チボリで...
<デンマーク>



メイボールの周りを輪になって、夏至祭は太陽の恵みを喜ぶ祭り
<スウェーデン>



昭和53年、11月1日～9日のカナダ。ブリティッシュ・コロンビア州の自然環境会議での講演

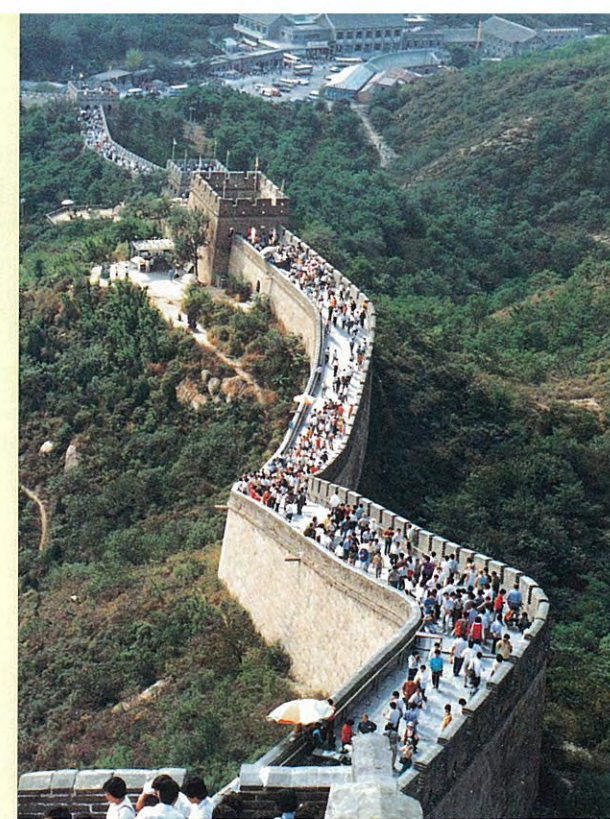
祝 創刊二十周年

堂垣内 尚弘

(北方圏センター顧問)



思い思いに散歩<中国>



万里の長城は東洋一の観光名所<中国>



黒海に面した砂浜での子供達<C I S>

創刊二十周年、おめでとうございます。この間、本誌が北方圏交流推進の唯一の情報誌として、国際理解はもちろん、本道の生活、文化、産業や経済の向上発展に果たしてきた功績は誠に大きいと思います。

戦後、私は寒地技術を勉強するため、数回欧米をたずねました。そして、昭和四十年、北海道開発庁勤務になって、「北」目を向け、今一度北海道のあり方を考えよう」と関係者に呼びかけ、四十二年には、職員協力を得て、北方圏構想を入れた「昭和六十年北海道の展望」を公表しましたが、当時、道内では、冷災害、離農、閉山等の連続で、この暗いイメージから何とか抜け出そうとの考えがありました。

昭和四十六年（一九七一年）北海道知事に当選してすぐ、私は北方圏調査会長に推されましたが、民間側で毎日新聞の渡辺善一郎、宮嶋勲、森直樹（故人）の三氏に代表されるグループが特に数多くの方策を進行してくれました。一方、庁内では副知事を除いて、北方圏の言葉を知る職員がほとんどいなかったため、私は、あえて翌年、北方圏調査室を新設させましたが、この時、積極的だった職員の中に中川義雄氏（現道議会議員）がおりました。

同年秋に実施したアメリカ・カナダ訪問は、多くの収穫をもたらしました。三十九名の大視察団の中で、既に世界された方が約半数に及んでおりますが、佐藤貢氏等は九十才を越えて、いよいよよくしゃくとしておられます。

四十九年秋、札幌で開催の「北方圏環境会議」によって、各地域の相互理解は画期的に深まったと思います。そして、この二つの行事を準備し、下地をつくってくれたのが当時の副知事で、現会長の榎原泰明さんです。

知事在任中、私は二度、冬のスカンジナビアに旅行しましたが、楽しい生活、風俗やスポーツについて、関清秀、伊藤隆一、今村源吉の諸先生が現地まで世話役を買って出られ、今でも本誌にいろいろと発表して下さるのには有り難いことと思っております。

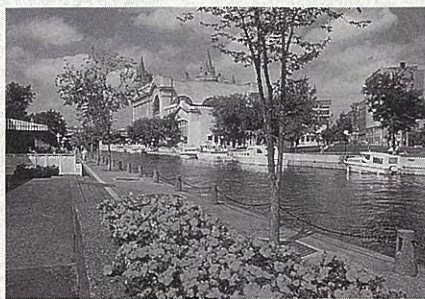
昭和五十五年十一月、「北方圏センター」の設立を見ましたが、この実現の立役者は、北方圏交流推進委員会であり、特に座長辻井達一先生（北大名誉教授）には、お世話になりました。

さて、季刊「北方圏」は発刊以来、堅実に発展しつづけてきました。特に初代会長東條猛猪（故人）氏と気境公男副会長の発想の雄大さとその活動力には頭が下がりましたし、また、現会長（榎原氏）や副会長（土居氏）の参与（佐藤直一氏）には、ご縁の深さを感じています。

さて、「北方圏」に対する今後のあり方については、特に申しあげることありませんが、強いて申せば、まず、P・Rの強化と関係諸団体の事業等をより多く紹介してほしいこと、またエネルギー、生活、環境、開発問題をより多く取り上げ、出来得れば、センター主催の国際会議や北方圏地域に向くこと等を考えていただきたいと思えます。

設立当時を振り返り、特に記憶に残る方々のお名前をあげましたが、このほか多くの方々からご指導ご協力をいただき心から感謝しております。

終わりに本誌のいよいよのご発展を祈念し巻頭のご挨拶と致します。



カナダの首都オタワ。この古都の中心部をリドウ(Rideau)運河が流れている。1832年の開通以来、200kmにおよぶこの運河はオタワの繁栄を支えてきた。そして今、この運河は市民の憩いの場として、また、観光名所として四季を通してにぎわいをみせる。【写真提供・在日カナダ・オンタリオ州政府事務所】

「北方圏」誌創刊二十周年記念号の発刊に当たって……………北方圏センター会長 檜原 泰明 12

巻頭辞 祝 創刊二十周年……………北方圏センター顧問 堂垣内 尚弘 7

創刊20周年特別企画●北方圏各国 大使からのメッセージ 四季豊かな北方圏の国々と暮らし

北の国の文化の美しさ……………カナダ大使 ジェームズ・H・テイラー 14

デンマーク農業以来、広がる交流……………デンマーク王国大使 フレミング・ヘデゴー 16

厳しさを考えたデザインや建築……………フィンランド大使 ヘイッキ・カルハ 18

太陽が大好きなノルウェー人……………ノルウェー王国大使 テリエ・ヨハネセン 20

グスタヴ国王の北海道訪問……………スウェーデン王国大使 マグナス・ヴァールクビスト 22

北のフロンティア・スピリット……………アメリカ合衆国大使 マイケル・H・アマコスト 23

冷戦後の北方圏……………前外務省北海道担当大使 堤 功一 24

創刊20周年●季刊「北方圏」への期待と要望 道内各界からのメッセージ

グローバルな活動をめざして……………北海道国際婦人協会会長 阿部 三恵 26

更なる発展に期待して……………北海道婦人団体連絡協議会 大平トシエ 27

国際化と北国の豊かな生活のために……………北海道市長会会長 桂 信雄 28

新鮮だった北方圏の提案 物から心への転換を……………北海道新聞社取締役社長 北川日出治 28

今後の北方圏交流に期待するもの……………北海道開発局長 戸部 智弘 29

町村の国際交流に大切な北方圏情報……………北海道町村会会長 矢地 広三 30

北方圏構想に含まれている国際協定の精神……………北海道知事 横路 孝弘 31

二十一世紀へ向けた新しい北海道づくりに北方圏の情報は不可欠……………北海道議会議長 若狭 靖 32

●北方圏誌発刊二十周年記念●歴代事務局長座談会

季刊「北方圏」20年の歩み……………山中文夫／宮嶋 勲／橋本禮三 74

●NPRC国際理解特別講演会

北海道とEC—これからの展望……………講師●駐日EC委員会代表部大使 ジャン・ピエール・レング 68

カメラ・アイ 北方圏・夏……………3

海外からのたより

果樹園の肝つ玉かあさん……………カナダ・セント・キャサリン市在住 田中 勉 44

セーファイヤー・パトロール……………カナダ・サスカトゥーン市在住 高谷 尚子 46

私の地元、NOVIE市……………アメリカ・デトロイト市在住 鈴木いづみ 48

ヘルシンガー案内……………デンマーク・ヘルシンガー市在住 小野寺綾子 50

ムンクと彼の生きた時代……………ノルウェー・オスロ市在住 木村 博子 52

論文紹介(1)

「北方圏」の文明論的的定位は可能か? 「北方圏」に関する基礎研究から……………北方圏センター 参加 佐藤 直一 94

随想

自発的国際交流……………スウェーデン王国名誉領事 平瀬 徹也 98

「北方圏」誌執筆者等一覧……………56

季刊「北方圏」創刊20周年●表紙コレクション……………88

ESSAY

フィンランドとの友好親善……………フィンランド名誉領事 中野 正彦 64

カーリング今昔……………在札幌カナダ名誉通商代表 森鼻 武芳 65

北方圏ニュース 道内版……………34

海外版……………40

会員企業情報……………100

NPRCだより……………106

編集部から……………118

北の花 ハリギリ……………55

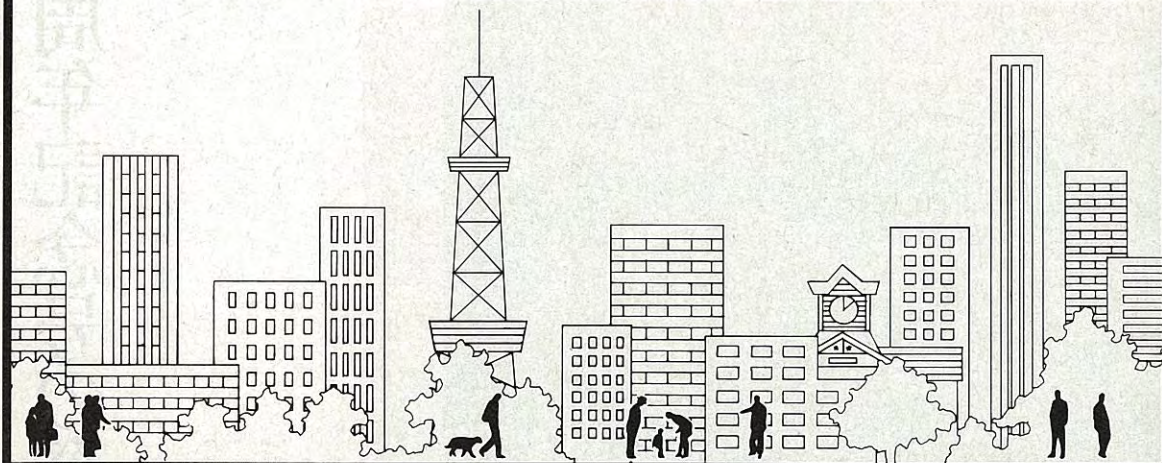
さる〜ん……………60

北方圏アラカルト……………96

ルック北方圏……………39・80・104

北の自然……………文・小川 巖 写真・安部 誠典 90

街の話題、世界の情報
信頼にこたえる
暮らしのパートナー。



北海道新聞 道新スポーツ

北海道新聞社

本社 = 札幌市中央区大通西3丁目 ☎221-2111

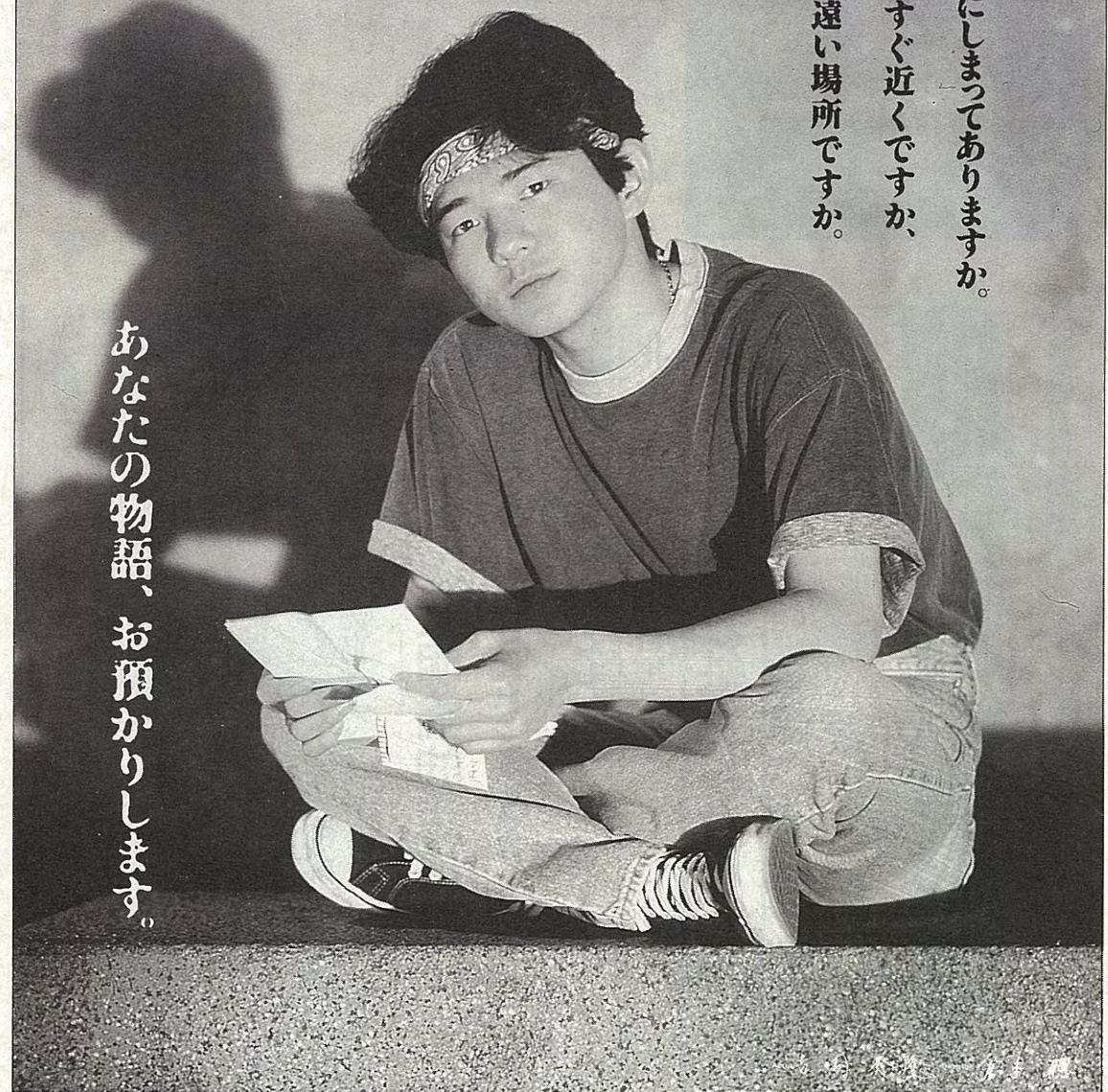
発行支社 = 函館・旭川・釧路

非発行支社 = 東京・小樽・室蘭・帯広・北見・苫小牧・大阪



心は
どこにしまっていてありますか。
すぐ近くですか。
遠い場所ですか。

あなたの物語、お預かりします。



ボーナスは《たくぎん》へ

6月22日からますます便利、
さらに身近な高利回りプラン。

スーパーMMC

300万円からの高金利商品。

スーパー定期

6月22日、新登場。
便利でお得なニュータイプ。

貯蓄預金

最新金利情報は、フリーダイヤルへ。☎0120-002-024 ●ご利用時間/AM9:00~PM6:00(ただし、銀行休業日は除きます)



「北方圏」誌創刊二十周年記念号の発刊に当たって



北方圏センター会長
桧原 泰明

北海道をグローバルな視点で見つめ直し、北方圏諸国・諸地域との交流を推進することによって、新しい北海道づくりを目指す「北方圏交流構想」が産声をあげて、早いもので二十数年になろうとしております。

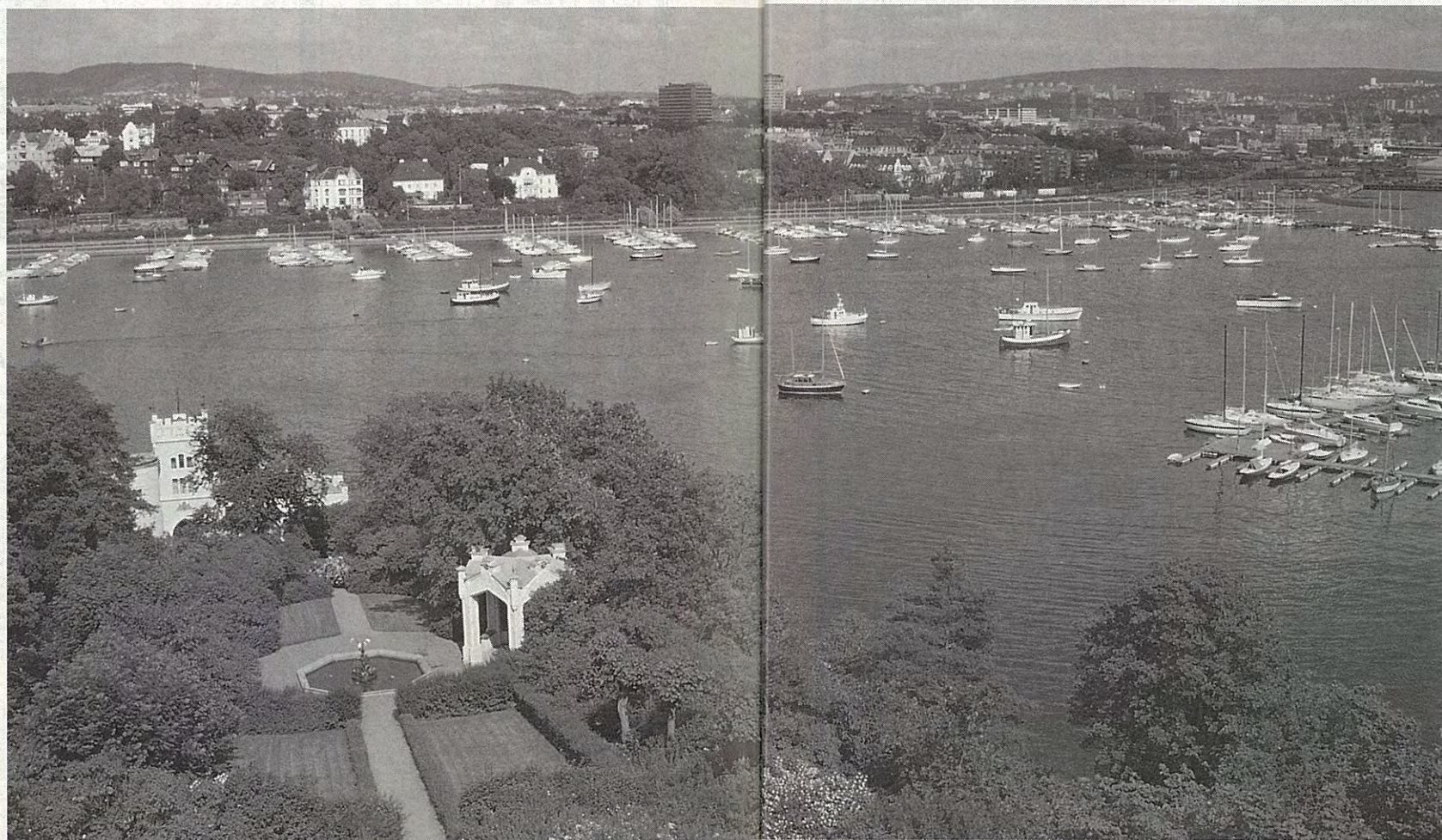
私達の北海道では、この北方圏交流の中から、新しい生活や文化、北の風土に根差した産業・経済の振興、そして、本道の国際化を促進する気運が生まれ、育ってきました。道内の自治体による北方圏諸国との姉妹都市、友好都市の提携は、今日では、四十市町村を超え、友好親善あるいは各種の視察、研修を目的とした「北方圏ツアー」は枚挙にいとまがありませんし、また、関係団体の主催による経済・産業ミッションや、学術交流団も北方圏各国を訪問しています。一方、北方圏の各国からも非常に多くの視察団、研修団、経済・産業ミッション、友好親善の市民グループが頻繁

に北海道を訪れています。北方圏交流は着実に進展するとともに、本道の様々な分野で大きな成果を生み出しています。

このように、この交流が盛んとなり大きな成果を生んだのは、やはりこの「北方圏交流構想」に魅力があったからだと思います。それは何と言っても、美しい自然と四季を持ち、気候・風土の似た北の国同士の、雪や寒さを共有するという、人々の「意識の交流」にほかなりません。

昭和四十七年（一九七二）に北方圏センターの前身である北方圏調査会によって創刊され、昭和五十三年に北方圏センターとなってからも継続して、国内外の各地で繰り広げられる北方圏交流の様子や情報を、皆様にお伝えしてまいりました本誌は、今号で八十号の誌齢を数え、ちょうど二十年を迎えることとなりました。これを節目として、さらに充実に努めて参りたいと思います。北海道に住まいする人々の、意識と暮らしがより一層北国に適したものとなりますよう、さらにはより一層、北方圏交流を充実、発展させ、北海道の国際化に役立って行くことが、北方圏センターの使命であり、本誌の果たす役割だと考えております。

これまでにお寄せいただいた読者の皆様のご支援に感謝しつつ、なお一層のご声援をお願い申し上げます。ご次第でございます。





■北方圏各国

大使からのメッセージ。 四季豊かな北方圏の国々と暮らし

北方圏構想の推進誌としての本誌は、創刊二十年、八十号の誌齢を数えるにいたりました。これを記念して、北方圏諸国の駐日大使の方々から、読者の皆様へメッセージをいただきました。

大使からのメッセージにはそれぞれの御国の様子をはじめ、北海道への思い入れ、また、北方圏交流への期待などが記るされてきました。温かいメッセージをご紹介します。

【翻訳・北方圏センター】

北の国の文化の美しさ

カナダ大使

ジェームス・H・テイラー

「北方圏」誌の二十周年にあたって読者の皆様にご挨拶する機会をいただいたことを嬉しく思います。

「これまで二度訪問したことのある北海道のことを懐かしく思いだしております。そして今夏、再度お訪ねするのを楽しみにしています。

す。北海道滞在中、最も強く印象に残ったことの一つは実にカナダによく似たその自然でした。北海道の農村、森林、山々などは、北海道と姉妹州提携をしているカナダのアルバータ州の自然とよく似ています。一九九〇年にはアルバータ州と北海道とはこの姉妹提携



J. H. Taylor
J. H. Taylor

らったクロス・カントリー・スキー大会に参加する機会を得ました。

北海道とカナダとは両地域とも北の国であるという事実において様々な関連があります。北の地と云えば、それは、荒れ果てて容赦のない土地ですが、一方で損なわれ易い環境でもあり、そこに暮らし働く人々の精神を形成する風土でもあります。北の国の文化にはこうした非常に特殊な環境を反映した美しさがあります。例えば、旭川には地元の織物を見せる素晴らしい美術館があり、それを守り伝えていこうと努めています。この美術館は、北方に住む固有の民族の芸術、手工芸の保存発展に力を入れているもう一つの北の国、カナダとの関連もあります。

北方圏の人々はその環境に適応して行く上で互いに学び合うことができます。例えば、私は何度かフィンランドへ行った経験がありますが、環境に順応してその土地土地に暮らすフィンランド人の姿に驚嘆したものです。カナダにしても、その他の国にしても、北方圏諸国との交流から得るものは多々あると思います。北方地域での経験が豊かなカナダもこの分野で大いにお役に立つことができると思います。

カナダ国民と北海道民もまた互いに学び合うことができると思います。この意味において「北方圏」誌は、経験とノウハウを求める両国の人々相互に役立つ情報を紹介するといふ大きな役割を担っています。私どもの側で

は、札幌の北海道銀行前会長森鼻武芳氏にカナダ名誉通商代表をお願いしております。森鼻氏は北海道におけるカナダの代表として、親善、通商の促進にあたられ、両国関係の発展にご尽力下さっています。

カナダと北海道との意義ある交流関係が将来とも永く続くことを願っています。

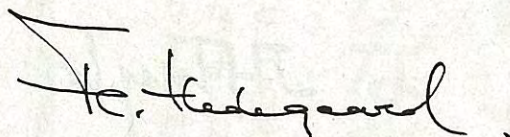




デンマーク農業以来、広がる交流

大使からのメッセージ

デンマーク王国大使
フレミング・ヘデゴ


Flemming Hedegaard



「北方圏」誌の発刊二十周年を迎えられたことについて北方圏センターに対しお祝いを申し上げます。

この年月、「北方圏」誌は北海道にわが国を紹介する上で大きな役割を果たしてこられました。また、北方圏センター自体、常に私どもの大使館や札幌の名誉領事館、また、デンマーク通商事務所のためにご尽力下さっています。

北海道とデンマークには多くの共通点がありますが、いずれも北に位置し人口はほとんど同じです。デンマークの首都コペンハーゲンの人口は約百万人で札幌の人口とおおむね同じです。

デンマークには山というものがなくてせいぜい丘がある程度で、それも一番高くても一七六センチありません。が、私達の国にも四季があります。夏は北海道より少し涼しい位ですが、冬はちよつと暖かです。こうした隠やかな自然条件や農業に従事する人々の教育程

度の高さのおかげで、デンマークではごく早くから近代農業が行われ、大勢の外国人が学びに来ました。その中には、日本近代農業のパイオニア、内村鑑三もおりました。

内村が日本にデンマーク農業を紹介して以来、北海道の若い農業青年が大勢デンマークの農家に研修生として勉強に来ています。現在では、毎年十名程の北海道の農業青年がデンマークで研修を行っています。彼らは農業以外でも、わが国の生活様式や教育制度について学んでいます。

しかし、デンマークは単に農業国というわけではありません。七年前、石狩町にノボ・バイオケミカル社の工場が建設されて、デンマークのハイ・テクノロジー企業が北海道に進出しました。同社は当初予想された以上の成果を挙げ、今日、ノボ・ノルディスクと社名を変更し、北海道で確固たる位置を占めるに至っています。

また、J R 北海道は設立以来、デンマーク

国鉄（DSB）と密接な協力が続けております。デンマーク国鉄は鉄道関係のデザイン分野で国際的な賞を数多く受賞していますが、最近、DSBの設計技師陣とデンマークのアーティストが新千歳空港ターミナル地下に新しく開通する駅の設計に参加しました。

一方登別市には、デンマークでも有名な古城の一つ（※）を同じ規模で再現したマリナーパークが三年前にオープンしました。ここにはハンス・クリスチャン・アンデルセンの家も造られ、この公園内の通りや売店などを歩かれるとわが国に居ると全く同じ風景をご覧になることができます。

大げさではなく、このように、デンマークと北海道との関係はハイ・テクノロジー、教育研修、人的交流、農業、芸術、運輸をして産業と実に様々な分野を網羅していると言えます。

同時にこうした交流が今後ますます拡大してゆくことは間違いないでしょう。北海道は急速な経済発展と国際化を進めています。千歳空港の国際化の実現と最近の規模拡張がまさに北海道の発展の可能性を示しています。

北方圏センターとデンマーク王国大使館、名誉領事館ならびにデンマーク通商事務所とのより良い協力関係が今後も続きますように、また、デンマーク国民と北海道民の友情が永く続くことを願っております。

（※編注）フュン島クペアンドロップにあるイエスコウ城





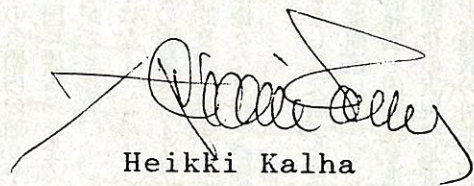
逆に、日が短くなりますのでフィンランドの冬は厳しいものです。秋の終わり頃がもっとも暗くなりますが、雪が積もり次第に大地を覆うようになると自然は再び輝きを放ち始めます。国民は寒さと雪に対して十分な備えをし、厳しい気候条件にもめげず生活は途切れることなく営まれていきます。家屋はこうした厳しい条件を考慮して、寒い戸外から戻った時に室内がいつも温かいように設計され

近くに広い公園や保護地域があつて自然に囲まれています。国土の半分以上を占める北部や北東部の人口はきわめて少なく、特にラップランドなどは特別魅力のある土地として、人里離れた広い自然の中で静かに過ごしたいと思つている人たちに人気があります。日本と同様、フィンランドは森林が多いのですが、内陸の湖沼の数の多いことではちょっと例がないでしょう。その規模は世界一です。少なくとも面積が五百平方キロ規模の湖で十八万七千八百八十八カ所あります。フィンランド中部の湖水地方を旅行されると、陸地より湖の方が多いという印象を持たれることでしょう。夏、日本ではよく「白夜」と言いますが、なかなか太陽が沈まず明るい夜が続く頃になると、湖は最も美しく、一日二十四時間を通して楽しむことができます。ラップランドではこの現象はもっと顕著になり、この地方全域で太陽が地平線の向こうに沈まない日、つまり夜のない夏の日が七十日以上続きます。



ています。フィンランドのデザインや、建築技術は北海道でも貴重なお手本としてお役にたつていることと存じます。私自身は、まだ一度しか北海道に行つたことがありません。一九九〇年の十月のことです。千歳空港から車で札幌市内に向かう途中の風景は故国によく似ていました。まるでフィンランドに居るような気がしたものです。

その後旅程が進むにつれて違いに気づくようになりました。フィンランドには火山活動で生まれた山や活火山は全くありません。火山は北海道に行つて初めて見ました。いずれにしても北海道の自然は私に大きな感銘を残してくれました。



Heikki Kalha

厳しさを考えたデザインや建築

フィンランド大使
ヘイツキ・カルハ

北方圏センターが、地球の北の諸地域間の協力と情報の交流を進めるという意義深い仕事をされて来られたことに対してお祝いを申し上げます。フィンランドは北方圏センターの活動には積極的に係わつてまいりましたし、今後もそうありたいと願つております。

北方圏センターの季刊誌「北方圏」は、北方圏諸国に暮らす人々の生活や環境を知る上で大いに役だつてきました。貴誌が、人間で言えば成人にあたる二十年という年月にわたつて発行されて来たことは素晴らしいことであると思ひます。今後ますます誌齢を重ねていかれることを希望しております。

北海道が日本の最北端に位置すると言つても、ヨーロッパから見ると決して北にあるとは言えず、むしろ中部ヨーロッパの南部にあたります。しかしながら、四季の変化がはっきりしていることや冬に雪がふるなど、その気候は中部ヨーロッパ諸国よりはむしろスカンジナビアに似ていると言えましょう。フィンランドは北海道よりもさらに北にあります。

世界地図で見るとずっと北にあるのでさぞ寒いだろうと皆さんは想像されるのですが、幸いなことに気候は北海道ほど厳しくはありません。バルト海が内海であることや、メキシコ湾流が流れる大西洋から吹き出す西風が温かいおかげで気温が和らげられているからです。フィンランドは、また、南北に一、一六〇*と長く、そのせいで地域毎にかなりの相違が見られます。

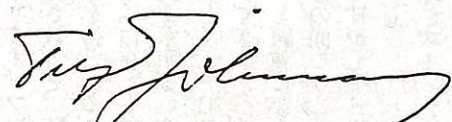
フィンランドと日本を比較した場合ももうひとつ重要なことは人口です。フィンランドの国土の総面積は三十三万八千四百四十四平方*。日本の面積三十七万七千八百三十五平方*とほぼ同じなのですが、人口についてはフィンランドは約五百万人で北海道のそれと概ね同じです。人口の大部分は首都ヘルシンキ周辺を中心に国の南部に集中しています。とは言え、この首都の人口密度でさえ一平方*当たり常に百二十人以下ですから、都市に住む人々であっても身近に自然と接して暮らしています。住宅のまわりには十分なスペースがあり、



太陽が大好きなノルウェー人

大使からのメッセージ

ノルウェー王国大使
テリエ・ヨハネセン


Terje Johannessen



北方圏センターの機関誌「北方圏」が二十周年を迎えられる記念号の発刊に際しまして、読者の皆様にご挨拶を申し上げることを嬉しく思います。ノルウェーは、皆様ご存じのとおり遙か北、北緯五七度から七二度の間、つまりシベリア北部やアラスカと同じ位寒い所に位置しておりますので、もし、長く伸びる国土の沿岸にメキシコ湾流から北上する暖流が寄せて来ていなかったならば、生活環境は今とはずいぶん違っていただろうと思えます。

ノルウェーの気候は様々です。日本と似ている点では、大洋に面している沿岸部、特に西部は年間を通して雨が多いこと、夏も冬もロシア方面から冷たい風が吹いて来ることでしょう。

一般に沿岸部は温暖で、冬は雨が多く(平均気温は摂氏一ないし二度、夏は涼しいけれども、やはり雨が降ります(平均気温摂氏一四ないし一六度。内陸部はもう少し乾燥して

いて夏と冬の気温差も大きいです。北極圏でも北の方にあたるノルウェー北部は、大勢の旅行者が訪れる「真夜中の太陽の国」として有名な地方です。真夜中の太陽とは簡単に言えば、太陽がまったく沈まない現象のことです。太陽は一晚中地平線の上にあります。逆に、この地方では、冬は太陽が昇りません。そして、それぞれの季節の変わり目には、太陽は、北極圏の南端部でわずかに顔を覗かすだけの時期もあるのです。

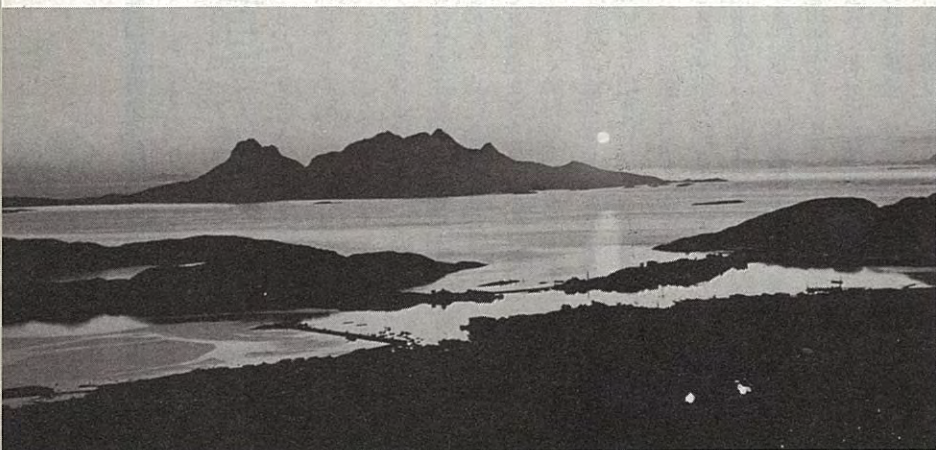
ノルウェーはよく福祉国家と言われます。そのため多くの人々が、若干皮肉を込めて、ノルウェーでは揺り籠から墓場まで国が国民の面倒を見る、と言います。ノルウェー型の福祉国家とは、民主的な政府と高度に工業化された社会の下で皆が平等で、働く権利、住まう権利、そして教育を受ける権利などが守られ、弱者を擁護し、全ての国民の社会的な、また健康上の保障がなされている国、というように考えていただくと、最も正しいかと思

います。人々の思いやりや助け合いの精神が次第に法律で定められ個人の権利となったのです。

ノルウェー人はお祭りが好きですが、二つ大きなものを挙げるとすればクリスマスとイースター(復活祭)がそれにあたります。クリスマスは時期は終日暗いので、家中をロソクやクリスマス飾りで明るく飾り付けします。十二月二十四日の夜は、クリスマスのご馳走を食べますが、伝統的なメニューは、ゆでた鱈(タラ)の料理とか豚肉料理です。夕食後、クリスマス・ツリーのまわりで賛美歌を唱いプレゼントを手渡します。時には誰かが、サンタ・クロース(フアーザー・クリスマス)に扮装することもあります。

クリスマスが室内で行われる祝祭の典型とすれば、三月末のイースターは、一日中戸外で過ごす休暇になります。と言うのは、長く厳しい冬を過ごして来たにもかかわらず、ノルウェー人はもともと冬を長引かせるかの様に高い山に登って終日スキーを楽しみます。強い春の日差しとその白い残雪への照り返しの中でおおいに日焼けをしようというのです。

こうお話しして来たのでお分かりかと思いますが、ノルウェー人はとにかく太陽が大好きな国民で、毎年八月二十三日を、一年で一番昼の長い日、つまり日照時間が一番長くなる日として祝います。私達はこの日を「ミッドサマー・イブ」もしくは「聖ハンスの夜」と呼びます。これは洗礼者ヨハネ(ヨハネスと



同じ。ハンスとも呼ばれる)の誕生に由来しているためです。この日は、シラカバの大きな枝を飾りにして真夜中まで焚火をしそれによつて太陽がいつまでも居てくれるように祈ります。シラカバの枝は、子供達がお祝いのパレードをする五月十七日の憲法記念日にはもつと沢山使われています。

最後になりますが、このメッセージを通じて「北方圏」誌の皆様になりに今日のノルウェーのいくつかの面についてご紹介して参りました。北海道は日本の中でもノルウェー人の精神をもつとも良く理解して下さる土地柄ではないかと思われま。同じ様な地理的条件がもたらす環境を共有していることが、両地域の相互理解を深めているという事は疑うべくもありません。

以上の言葉をもって北方圏センターに「北方圏誌二十年おめでとう」と申し上げ、今後のご発展をお祈りしたいと思います。

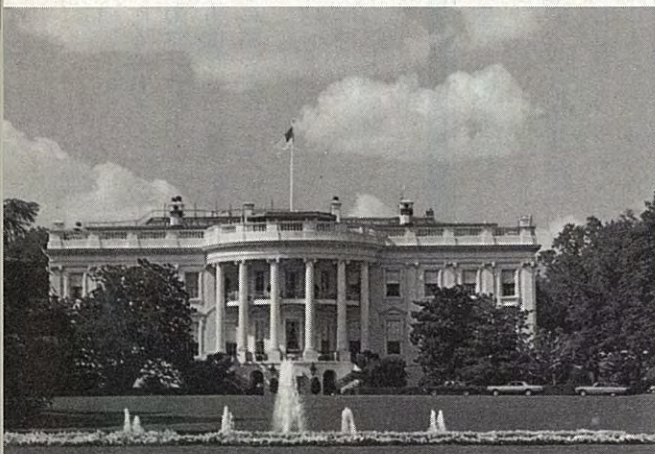


Michael H. Armacost

北のフロンティア。ヒリツト

北方圏センターの機関誌「北方圏」の創刊二十周年および第八十号の発行に対しましてお祝いを申し上げます。これまでも、アメリカ大使館、札幌のアメリカ総領事館やアメリカン・センターは北国の人々や北方圏の生活に関するテーマで、北方圏センターと密接に連携して仕事をしてまいりました。日米両国民相互のために、このような協力関係が続くことを切に望んでおります。

北海道は私にとって未知の土地ではありません。すでに、アメリカ大使として数回北海道を訪れております。最初は一八九九年九月にダン・クウェール副大統領に随行して札幌にまいりました。その後は毎年、札幌雪まつりの時になると、私は何とか東京を抜け出しては北海道へ出かけました。妻と私は巨大な雪像を作り上げる創造的なエネルギーについても感嘆致しております。雪像を製作する自衛隊員、新聞テレビ各社、多数の市民グループなどの働きには実に驚嘆すべきものがあります。特に今年は高さ十五メートル、幅二十メートルもの「ホワイトハウス」が印象的でした。「ホワイトハウス」を選んでいただいたことを大変名譽に思いましたし、札幌市民がエ



アメリカ合衆国大使 マイケル・H・アマコスト

ネルギーをつぎ込んで、全てのアメリカ人にとって大きな意味を持つこの建物をこれほど忠実かつ見事に再現して下さったことは心からの友情の表れであると信じております。

私はまた、ニセコ、ルスツ、手稲といった所でスキーを楽しみました。北海道を訪れ、山々に囲まれた各地に滞在するたびに、大都会東京のまん中では得られない大自然の美しさに思いを新たにします。この身近な大自然



Magnus Vahlquist

「北方圏」誌二十周年のお祝いを申し上げますにあたって、本文を寄せさせていただくことを嬉しく思います。あわせて、評価の高い貴誌の読者の皆様にもご挨拶を申し上げますたい

グスタヴ国王の北海道訪問

スウェーデン王国大使 マグヌス・ヴァールクビスト

大使からのメッセージ

と思います。

北海道とスウェーデンとはこれまでも大変良い関係がありますが、今後もそのつながりがあります。深く深く確信しています。多くの点で北海道とスウェーデンは大変に似ております。遠く隔たっているにもかかわらず、スウェーデンと北海道は、経済においても文化においても相互に与えあえる点が多くあります。

その北海道とスウェーデンとの交流の中でも特筆すべき出来事は、一九九〇年にスウェーデンのカル十六世グスタヴ国王陛下がその年の第十回旭川バーサ・スキー大会に参加されるのを機会に、北海道を訪問されたことでした。この時にはいくつかの科学技術シンポジウムも行われ実りあるご訪問になりました。

新任の駐日大使である私にとりましても、日本に来てから東京以外で最初に訪れた地が旭川市であったことは大変な喜びでございます。今年二月のことで、第十二回旭川バーサ・スキー大会に参加するという素晴らしい機会でした。この訪問の最中、北海道の山々の美しさに打たれ、行く先々での大変なご厚



遇に感銘し、これからも様々な分野でますます交流が進むに違いないとの感を深めました。締めくくりに、今日、「北方圏」誌がスウェーデンと北海道との新たな結び付きに目を向けて下さっていることに感謝を申し上げます。と思います。



まく行けば、極東ロシアの資源、中国、朝鮮の労働力、日本などの資本、技術を組み合わせた環日本海経済圏というものが出来るだろう。その場合最大の問題点は、経済を動かす企業家は何処に居るのかと言うことだと思つた。ソ連帝国が解体し、中央アジアの共和国が独立して、日本は初めてこれらの国々と国家間の関係を結ぶこととなった。この地域は、古来フン、モンゴル、トルコなどの諸民族の作った帝国が興亡を繰り返して、歴史の大変革を起こしたところである。最も新しい帝国がソ連であった。今や帝国というものがない新しい時代となったのである。帝国のない、そしてイデオロギーの対立の薄まりつつある北方圏アジア部では民族間の自由な交流がどんどん進むであろう。その中で演ずべき北海道の役割も必然的に大なるものがある。

北方圏世界全体では、日米欧三極の協調を計ることが今や最も重要である。中でも日米関係が重要である。冷たい戦争では世論に訴えて相手の結束を乱す宣伝、謀略戦のみでなく、結局技術開発、経済発展をめぐる体制間の競争で勝敗が決せられた。共産主義との体制間の競争、対決が終わって、資本主義が勝った現在、次は資本主義対資本主義、資本主義のやり方の違い、資本主義のシステム間の競争、こう言ったことが中心的な問題となる。日本型資本主義と欧米型資本主義の競争、あるいは英米型、欧州大陸型、日本型との競争である。これは更に個人主義的か、集団主

義的か、と言う社会のあり方の問題にもなる。敵対的な対決となる必要は全くなく、友好的な競争であつて、また、競争と言っても勝敗ではなく、お互い折り合いをつけて共生を計ることがポイントである。集団主義的アプローチの方が効率がよいので、さし当たりアジア、東欧の諸国は日本型モデルにならうものが多いのではなからうか。これは日本にとって強みである。しかし、日本自体が将来は英米型に近付いていく可能性は十分有り得る。いづれにせよ、日本型が世界に通用して行くためには、今よりもっと開放的な、ルールのはっきりしたものにならなければならない。

日米欧三極が協調して行うべきことは、先ず世界の平和と安全の維持、そして世界経済の発展である。民主的な先進資本主義国の間では、経済の相互依存が深まって、システム間の競争は有ろうとも、戦争というものはあまりに危険が大きく、戦争を起こすことはもう考えられない。しかし周辺のいわゆる第三世界においては、民族、宗教の対立による地域紛争がむしろ増加の傾向を見せている。安全保障の眼目は、東側の脅威に対するものから地域紛争のリスクに対処することに変わった。紛争の危険に対処しては、国連の仕組みも活用し、共同して対処する、ということとなる。湾岸戦争が、その例である。南の諸国の経済発展は、対立を軽減して平和と安全にも寄与するものである。発展途上国に対する経済援助は、東西イデオロギー対立の絡み

離れて、世界全体の発展と平和のためという観点からとらえられ得るようになった。また、先進国間の経済発展のためには、自由貿易体制を維持することが最も重要である。具体的に言えば、欧州と米国の経済ブロック化を防止することが、日本としてきわめて重要で、さし当たり当面は、ウルグアイ・ラウンドを成功させることである。

冷戦後の北方圏世界の中で大きく変わる地域は、何と言っても欧州であろう。ロシア帝国が解体され、東欧が解放されて、市場経済化が進み、欧州経済の中に組み込まれる。欧州統合はもはや西欧だけの統合ではなく、ある程度東欧もロシアも入ってくる。勿論市場経済化は混乱を伴い、時間もかかる。しかしうまく行けば広い基盤の上に立った欧州の新しい発展が期待し得る。統一されたドイツは、やがて大いに力を加えて来よう。そのドイツを接点に東と西の欧州の統合が進み、経済的にも文化的にも強力な欧州が出来ているのかもしれない。二十一世紀の北方圏では、そういう欧州や、更に発展しつつある中国、再編されたロシアなどとの関係は我々の大きな問題となっているのではなからうか。

(編集部注) なお、堤功一大使はこのほど駐

ハンガリー大使に発令され、最近同国に赴任されました。益々のご活躍をお祈り申し上げます。



大使からのメッセージ

が、北海道に来ると故郷(くに)へ帰ったよ
うな気分になると多くのアメリカ人が感じる理
由であると思ひます。
北海道に行つて感じることは、人々の物事
へのアプローチの新鮮さ、それに、新しいア
イデアを試してみようという自発性です。そ

れはおそらくアメリカ人が「フロンティア・
スピリット」と呼ぶものではないかと思ひま
す。北方圏センターは、世界の北方圏と手を
結び、北アメリカ、アジア北部、そして北
ヨーロッパのフロンティアに住む人々が持つ同
じ様な「フロンティア・スピリット」を求め

ておられるのだと、私は考えています。皆様
のご努力に拍手を送り、北方圏センターと「北
方圏」誌が将来とも成功を収められますよう
に願っています。

冷戦後の北方圏

前外務省北海道担当大使 堤 功一

東西冷戦が終わって、北海道から見る世界も随分これまでとは違った景色となりそうだ。北方圏の世界は相当に変わる。その有り様を考えてみよう。冷戦下のソ連との関係は、きわめて対決的なものであつたし、その前の時代には、日本の大陸政策とロシアの伝統的な膨張政策が極東で衝突することが多く、安定した友好関係を続けることは困難であつた。ところが今や日露両国は、普通の国家関係ともいべき間柄にあり、これは有史以来初めてのことでなからうか。北方領土が返還されて両国間に友好関係が結ばれる、という展望が初めて出てきた。そうならば、北海道とサハリンその他極東ロシアとの関係は大いに緊密となる。北海道とサハリンとの間は五十キロもなく、距離的には極めて近い隣国同士

なのである。交通の便が飛躍的に良くなって、経済、文化、生活の面で、国民レベルの交流が盛んになるのはごく近い将来のことなのかも知れない。しかし、ロシアでは当面は市場経済への移行がもたらす混乱が問題であろう。ロシアの市場経済化が進み、中国でも南部の経済発展が北部や東北に及び、さらに北朝鮮が孤立から脱却して周囲の国々との関係が正常化するならば、東アジア、東北アジアの国々の間に民間レベルで有機的な交流、協力のネットワークが出来るとは違いない。ロシアも中国も大国であり、それぞれとの関係は日本にとって種々難しいことも有り得ようが、何と言つても、見通し困難なのが北朝鮮である。統一の問題を含め朝鮮半島の行く末は日本への影響が取り分け大きく、要注意である。う



道内各界からのメッセージ。

創刊20周年●季刊「北方圏」への期待と要望

創刊二十年の記念号の発刊に際して、道内各界の方々に季刊誌「北方圏」に対する期待やご意見をお願いいたしましたところ、次の方々からいすれも貴重なご意見を頂戴しました。お寄せいただいたご意見を生かし、今後とも、北方圏に関する幅広い情報の提供と「北方圏に暮らす楽しさ」を考える本誌としたいと存じます。

グローバルな活動をめざって

北海道国際婦人協会長 阿部 三恵



昭和四十六年に発足した「北方圏調査会」、四十九年、北海道が主催し札幌で開かれた「北方圏環境会議」そして五十二年に設立された「北方圏センター」。今日までの二十年間におけるこれ等の北方圏構想は、北方圏諸国及びそれ等の都市を中心とした情報収集、調査研究、交流など着実にその役割を果たしてきた。さらに、寒さが厳しく雪の多い北国共通のテーマである衣、食、住など冬の諸問題に対して、積極的となり組がなされてきた。

私共北海道国際婦人協会においても、北方圏センター発足の頃より、センターの会議室にて、北方圏諸国の講師を招いて、国際交流定例懇談会、国際セミナーの継続事業を行ってきた。そのことにより、厳しい自然環境の中で、北欧、カナダ等の人々が、心豊かにそして楽しい生活を営んでいる姿を知り、北国に生きる智慧と術を学ぶことが出来た。女性の立場で、生活に根づいた北国の人々との交流、そしてそこで学んだことが基軸となり、国際ボランティア活動への力強い励みにもなったわけである。

さて、今日「世界的変動」の時代を迎え、国際社会は大きく変った世界地図を手を歩みはじめた。しかし、地域紛争、民族問題、核

兵器大幅廃棄と拡散阻止、環境問題、貧困対策など未解決の問題が山積している。経済発展をとげた日本は、今こそ幅広い国際活動の展開が求められているのではなからうか。

北方圏交流の豊富な実績を踏まえて、北方圏同士の東西交流に南北交流を加えて、新しいクロス交流を推進したい。北方圏構想のプラスの面のうえにたつて、アジア・太平洋諸国、更に全方位的な交流の実現に努めるべき

であろう。

二十一世紀に向って、世界に開かれた北海道として地球規模の構想にたつたグローバルな活動の展開を進めたいものだ。北方圏の活動が、世界の平和への道となるために……。

更なる発展に期待して

北海道婦人団体連絡協議会長 大平トシエ



季刊誌発刊二十年、誠におめでとうございませす。常日頃北方圏諸国に関する情報等につきましても、季刊「北方圏」にて学術、生活、文化等多方面にわたって楽しく見させて頂いておりますが、編集に御苦労されておられることと存じます。

地方における取り組みも今後の課題とは存じますが、北方圏諸国・諸地域に対する認識及び交流につきましても、地方へも広げて頂きたいものと思ひます。

北海道即札幌ではなく道南、道北、道東と、広い北海道の状況には異なるものがあり、また、それぞれに特色ある取り組みも出来るものと思ひますし、意義づけも違ってくると思ひます。国際的な会議等も地方の都市に輪を広げてくだされば、地方の会員にとりましては、身近なものとして関心も持たれ、会員の増強にもつながることと存じます。

近年、国際化の波が急激に進んでおりますが、北方圏諸国と申ししても大変幅広く、私達の窺い知れない面もあり、また、生活・習慣の異なる点もあって、興味深く読ませて頂いております。

今後とも身近な話題を取り上げて下さいますし、より親しみのある季刊誌「北方圏」として発展して下さいますことを、ご期待申し上げます。

北方圏センターにおける年間の事業に致しまして、数多くの事業を限りある予算の中において、各般にわたり計画され、実施されおられますことに、敬意を表する次第です。国際化も急激に地方にも浸透しつつあり、

季刊誌へのメッセージに対しまして、北方圏センターへの日頃の考えの一端を書かせて頂きましたが、どうぞよろしく願ひいたします。

なお、私共の団体の事業に対しまして、国際交流の分野にてお力添えを下さいますよう、また、ご指導方をお願いいたします。北方圏センターのご発展と季刊誌「北方圏」の創刊二十年を心よりお慶び申し上げます。メッセージいたします。

国際化と北国の豊かな生活のために

北海道市長会長 桂 信雄



季刊誌「北方圏」が第八〇号をもって創刊二十周年を迎えるにあたり、関係各位が道民の生活意識の向上と国際理解の推進に長年にわたりご尽力されておりますことに對し、改めて深く敬意を表すところであります。

申し上げるまでもございませんが、季刊誌「北方圏」は昭和四十七年に創刊され、以来北海道と気候、風土の似た北方圏諸国の先進事例を紹介し、北海道における国際理解の推進と道民の生活意識の改革に大きく寄与され、「北方圏」という言葉も着実に道民の間に定着したところであります。

さて、来たるべき二十一世紀に向けて我が国では近年、高齢化、情報化とともに国際化の急激な進展をみており、これに伴って山積

する諸課題に如何に対応すべきかということが、都市行政においても大きな政策課題として取り上げられてきております。

国際化への対応は、まず、人との交流を通じ

ての相互理解を深める必要があることから、地方自治体としても、経済、文化、教育などのさまざまな分野における交流機会の確保や、交流事業に対する協力体制の支援などの各種施策が求められております。このため、多くの都市において世界各都市との間に姉妹都市の提携が結ばれ、それぞれの市民の相互交流が盛んに行われているところであります。

今後更に進展していく国際化に対応するため、また、豊かな北国生活を相互に分ちあうため、自治体としてもますますの自助努力が必要なことは申し上げますが、私どもが、私どもの国際交流施策の検討へ向けて、常に北方圏諸国の限らない情報を提供していただいております。「北方圏」の果たしている役割は計り知れないものがございます。

創刊二十周年を迎えた「北方圏」の発刊にあたり、広く道民に愛読され、豊かな情報誌としてますますその真価を発揮されますことをご期待申し上げお祝いのごことばといたします。

新鮮だった北方圏の提案 物から心への転換を…

北海道新聞代表取締役社長

北川日出治



さからいけば、アツという間の出来事だった感じもある。

ともかく二十年おめでとう。

十年余り前の一九八〇年、大作「北方圏時代」が刊行された。そのなかで「北方圏構想は北海道の歴史を変える」「地球を南北に見るタテ思考から、緯度に沿って輪切りして見るヨコ思考が今求められる。壮大な実験に立ち会い、自分の手で歴史を作ろう」と提案し、その視点の新鮮さに、当時、瞠目したことを覚えてる。

手前ミソながら北海道新聞は創立五十周年記念特集として「地球新街道―北緯43度圏を走る」を本紙に連載中だが、これは札幌の緯度を軸に、世界を輪切りしてみようという

ひとつの実験である。

北方圏の提案と共通する考え方がこの特集の底流となっているのは間違いない。

さて、国際化や国際交流（という言葉）は

北方圏センターの前身、北方圏調査会が設立されたのが一九七一年（昭和四十六年）四月、季刊誌「北方圏」が創刊されたのがその翌年だったから、今年でちょうど二十年になる。

長い道のりだった気もするし、旧ソ連の崩壊、新生ロシアの誕生、そして北方領土がぐんと近づいてきたことなど、最近の変化の速

今花盛りだが、その割に日米、欧など貿易摩擦は減るどころか激しさを増している。日本人の国際感覚の磨き方はどうも感心しない。海外旅行でまず感じるのは日本人のマナーの悪さだ。戦後長い間、外国人に対するコンプレックスがあったが、今はそれが逆転した逆コンプレックスがあるように思う。

物の国際化は進んだが、心の国際化は取り残されている。

「北方圏」にこれから期待したいのは、この「心の国際化」をどう推進するか、だと思う。経済交流は確かに急速に進んだ。心の方は物よりずっとむずかしい。そのことを今、痛切に考えている。

今後の北方圏交流に期待するもの

北海道開発局長 戸部 智弘



北海道の将来、可能性を考えたとき、どのような交流が望まれているのでしょうか。道民生活の質的向上に寄与するというのは当然のこととして、今、世界の中の北海道として、世界での役割を担うことができる産業、生活、文化を築いていくという観点からの交流も求められています。

そうしたなかで、北海道は北方圏地域の拠点として、地域間交流のネットワークの重要な柱としての役割を担う可能性をもっていると思います。

そのためには、文化、経済交流はもとより、技術、研究交流などのあらゆる分野での共同研究、プロジェクト等の日常的接触、目的意

識をもった交流が望まれるし、お互いの地域

の特性、独自性を補完、促進する交流も期待されており、今後、そのイニシアティブを北海道がとっていくことが肝要であると思えます。その意味で、北方圏センターの役割に期待するところ大きいものがあるといえます。これまでの北方圏交流の経験は、我々道民に単なる国際理解という枠を超えて、北方圏諸国の豊かな生活の先進事例を教え、また、冬を友とし豊かな北国生活を営むという意識

改革を我々にもたらしてくれました。北方圏センターを中心としたこうした交流活動は、二十一世紀の北海道を展望したとき、まさに時代の先取りであったといえましょう。北方圏といえば、北米、北欧といった世界の最先進国を含んでおり、さらには、ロシア、東欧、中国といった、今世界の注目をあつめている地域もあります。経済大国日本にとつて、これら地域との交流の重みは増しており、

北海道の置かれている地理的優位性をも考え、たとき、北海道と北方圏諸国との関係緊密化を一層図ることが求められているといえます。こういった状況から、北方圏諸国との交流はより発展した段階を迎えたとと言えるのではないのでしょうか。まさに、いままで培った人脈やネットワークを生かす時でもあります。

町村の国際交流に大切な北方圏情報

北海道町村会長 矢地 広三

北方圏センターの機関誌であります「北方圏」が創刊二十周年を迎えられますことを心からお慶び申し上げます。

貴誌は、昭和四十七年に創刊号が発刊されて以来、北方圏の生活と産業を考える総合誌として、私共町村に北方圏の最新情報や国際交流のための貴重な情報を提供していただいておりますことに心から感謝申し上げます。

北海道町村会も昭和五十四年から北欧、カナダ、アメリカ等北方圏諸国の生活環境、福祉対策等について、その実情をつぶさに視察し、これからの地域振興と行政運営の参考と

するため町村長による視察団を毎年派遣して調査事業を行っているところでありますが、近年その成果が着実に実を結び町村と北方圏の地域との姉妹都市締結や経済交流、学生等の相互交流が活発に行なわれていることは、誠に喜ばしい限りであります。

現在町村においては、国際化の対応が重要な課題とされ、ふるさと創生一億円事業の創設以来多くの町村で「国際交流基金」等を設置し、これを活用した住民の海外研修事業が盛んに行われ、また北方圏諸国からも多くの研修生や留学生が道内の町村に滞在し交流を深めている状況にあります。



今後、国際交流の輪は益々大きく広がることと思いますが、双方が有効かつ有意義な交流を行うためにも的確な情報収集が最も大切であり、私共町村としても貴誌に大きな期待を寄せているところであります。今後、一層の内容充実が図られ、大きく飛躍されますことを心から祈念申し上げます。

北方圏構想に含まれている国際協力の精神

北海道知事 横路 孝弘

季刊誌「北方圏」の創刊二十年を心からお祝い申し上げます。

季刊誌「北方圏」は、北方圏センターの前身である北方圏調査会の機関誌として創刊されて以来、道内の国際交流の情報誌として、会員の皆様はもとより広く国際交流に関心を持つ道民の皆様にも親しまれてきました。

この間、北方圏センターは、北海道を北国らしい豊かでゆとりのある地域社会にするため、民間の北方圏交流の担い手として積極的に交流事業を展開してこられました。

その結果、学術教育、生活文化、スポーツ・レクリエーション、産業経済など多くの分野で交流の成果が表われてきています。特に冬のスポーツ・レクリエーションの普及、各種北方圏シンポジウムや講演会の開催、市民親善使節団の派遣などを通じて、冬や雪に親しむ生活意識の定着や道民の国際性のかん養に大きな貢献をされました。このような地道でねばり強いご努力に対して、深く敬意を表します。



今日、私たちを取り巻く世界情勢は大きく変化してきています。とりわけ、この二、三年の変化は急激で、旧ソ連・東欧の民主化や東西の緊張緩和、さらには各国の地方分権化が進む中で、地域が国境を越えて直接結びつく時代に入ってきています。

このような中で、北方圏地域でも、これまで政治体制の違いなどから交流が遅れがちであったロシア極東地方、中国東北地方、朝鮮

半島などの北東アジア地域との交流を進めやすい条件が整ってきており、寒冷地開発、農林水産業、環境保全などの分野において、北海道が率先して、これらの地域に協力できる機会が拡大してきています。

北方圏構想には、北海道の発展のために、北方圏諸国から知恵や技術を学ぶという面と同時に、北方圏の地域が協力し合い、お互いに豊かな地域社会をつくりあげていくという国際協力の精神も含まれています。

道でも、これまでの姉妹交流などの二地域間の友好親善交流のほか、北方圏の国際的な地域連合ともいえるべき「北方圏フォーラム」への参加などを通じ、環境、運輸通信、科学技術など北方圏地域に共通する課題に取り組みむなど多地域間の交流・協力にも努め、北方圏交流をより厚みのあるものにしていきたいと考えています。

北方圏交流が新たな展開の段階を迎え、北方圏センターの今後の活動への期待と、その果たすべき役割は一層高まってきています。

北方圏センターが活動の範囲や事業内容をさらに充実、発展され、国際的な機関などとも連携、協力を深め、文字どおり「北方圏」における「センター」として幅広い貢献をされるよう心から期待いたします。



二十一世紀へ向けた新しい北海道 づくりに北方圏の情報是不可欠

北海道議会議長 若狭 靖



季刊『北方圏』が創刊以来、二十年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

北方圏センターは、北海道と北方圏諸国との経済、文化、学術等の交流を積極的に推進し、日本経済、文化、学術の発展、振興に寄与するとともに、北海道の開発、繁栄に大きく貢献されておりますが、その中でも、特に、本誌の発刊に際しましては、北方圏諸国、諸地域の先進事例を中心に、道民の生活意識の改革や本道における国際理解の推進など、時勢の動きを幅広く的確にとらえ、読者の立場にたった判り易い誌面づくりに努めてこられ、その成果が今日の発展をもたらしたものであり、関係者のご努力に敬意を表する次第であります。

我が国を取り巻く国際化の波は、近年の経済情勢等を背景に急速に進行しておりますが、その中で北海道は、日本の他の地域に比べてより厳しい気候、風土をもっており、この気候、風土に似た北方圏諸国との交流を深め、生活、文化、産業等の諸分野にわたり工夫や知恵を学び合い、北国にふさわしい生活や文

化を築き、産業を発展させていくことは、来るべき二十一世紀へ向けた新しい北海道づくりにつながるものと考えます。

そのためにも、北方圏諸国の的確な情報は不可欠であり、これらを提供する本誌の果たす役割は、ますます重要なものとなります。

このたびの創刊二十周年を契機に、更なる確かな情報提供をモットーに、より充実した誌面づくりに努められ、読者のニーズにこたえられることを期待するとともに、北方圏センターのますますの発展を祈念いたしましてお祝いのごことばといたします。

北海道銀行

夏のウキウキ。

ボーナスは道銀へ。

300万円を超えたら、自由金利でまとめて大きくやそう。 期間は3ヵ月から。手軽さと自由度がウレシイ。 いつでも何回でも利用できる。

道銀スーパー定期 道銀スーパーMMC 道銀カードローン

もしもし、うれしい、まだまだ安い。0088

安い市外電話は0088なのだ!

くらべて選べば0088なのだ!

お申し込みは ☎0120-088-344 (無料)

お問い合わせは ☎0120-0088-82

受付時間/9:00~20:00(年中無休)

おかげさまで北海道地区開業2周年。日本テレコム

SUPPORT

石狩湾 新港地域

- 立地企業675社、操業企業410社。
- サポートセンタープラザのOPENで、地域はますますグレードアップ。
- 是非1度、現地をご覧下さい。

第3セクター

石狩開発株式会社

本社：石狩市新港中央1丁目サポートセンタープラザ
TEL (0133) 64-1111 FAX (0133) 64-2124

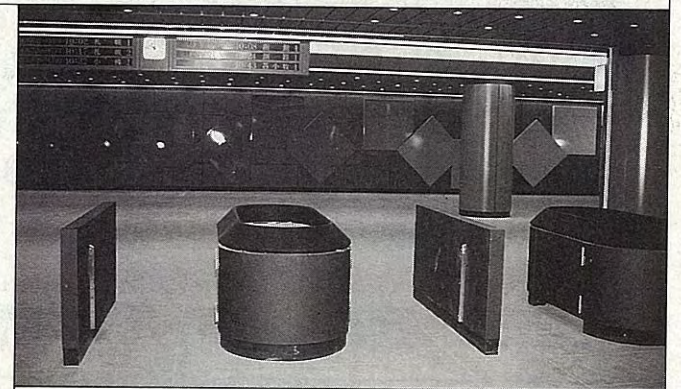
札幌事務所：札幌市中央区北1条西2丁目
TEL (011) 261-0311 FAX (011) 251-8624

北方圏ニュース

●道内版

JR新千歳空港駅
開業

北海道の空の玄関口、新千歳空港に新しいターミナルビルがオープンするに伴い、七月一日、その新空港ターミナルビル直下にJR新千歳空港駅が開業した。新駅のホームは地下一階、地上五階の新ターミナルビルの地下に直結し空港の発着ロビー(各航空会社のロビー)まで約一五〇(一七〇)メートル、到着ロビーとはそれぞれエスカレーターや動く歩道で結ばれ、楽に移動ができる様になっている。



モダンなデザインの改札口

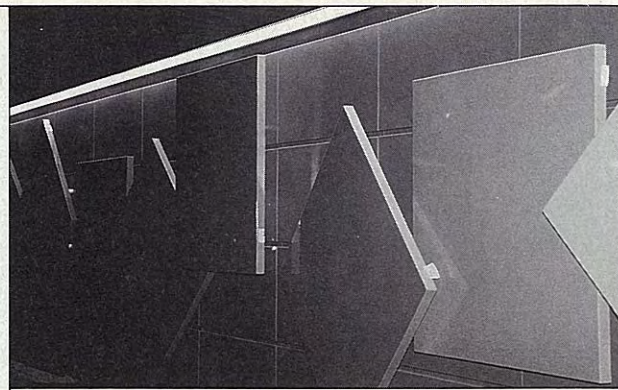
今回の開業に合わせてダイヤ改正も行われ、札幌―新千歳空港間を三十六分で結ぶアクセス列車「快速エアポート」が、午前八時から午後七時までの間、十五分間隔で運転される。札幌駅発「快速エアポート」は概ね、利用しやすい六番ホームから毎時〇四、一九、三四、四九分の発車で、時刻表を見なくてもホームまで行けば待ち時間なしで乗車できる

本数になっている。新千歳空港駅でも、一時間四本、列車が常にホームで利用客を待っている状況になる。旭川方面からは「特急」「ライラック」が、小樽からは快速列車が一時間一本が直通で運行されるし、函館帯広方面からの特急、エクスプレス列車は南千歳駅(旧千歳空港駅)の同一ホームでアクセス列車に乗り換えができる。

料金は、札幌から九四〇円のほか、苫小牧から六一〇円、江別から一〇七〇円、小樽から一五六〇円などでこれまでのエアポートシャトル切符は六月三十日で廃止される。

また、新空港駅構内はプラットホーム、改札口、コンコース、ラウンジなど、これまでも交流を続けてきたJR北海道とデンマーク国鉄との共同プロジェクトによって、天井は北国の透きとおった星空の青、床は雪原を連想させる白、柱は北国の情熱を表す真紅など北海道の雄大な自然美を表現して、洗練され機能あふれるデザインでトータルにまとめられている。

壁面には、デンマークの作家ペア・アーノルド氏のアートワークを施



ペア・アーノルド氏の作品(壁面)

し駅全体がモダンな雰囲気で行き交う乗降客の目を見張らせている。
(写真提供 JR北海道広報課)

北海道開拓記念館
常設展示を全面的に改訂しオープン

昭和四十六年四月に開館以来二十一年間に約五〇万人の来館者を記録した北海道開拓記念館(札幌市厚別区、渡邊左武郎館長)は、施設や展示設備を改善し、学術的成果や調査

研究の成果を紹介、公開すること等を目的に展示内容の一新を図るため、常設展示の全面的な改訂工事を行い、去る四月十五日に常設展示のオープン式を開催し翌十六日から一般公開した。

この常設展示では、先人が北国の環境の中で築き上げてきた北海道の生活文化を追って八つのテーマ(北の大地、アイヌ文化の成立、蝦夷地の頃、近代のはじまり、開けゆく大地、不況から戦争へ、戦後の北海道、新しい北海道)にまとめ、一階には先史時代から明治時代前半の開拓初期まで、二階には明治時代後半の北海道庁による拓殖計画の時期から昭和四十年代の経済の高度成長期まで、および北海道の現状と未来を展示している。展示室では解説員に質問をすることもできる。

今回の展示替えでは、従来の「きびしい北国の自然を乗り越えて、いかに未来を創造していくか」という基本理念を踏襲しつつ、特に戦中、戦後の道民生活、昭和三十年代のエネルギー革命の頃までの時代の展示の拡大を図っている。ヤミ市をはじめ戦後の道民生活を示す展示品が大

幅にふえて一昔前の街灯、貯炭式ストーブ、当時の子供の本や婦人雑誌、懐かしい玩具なども目をひいている。

時代の変化や研究の進展にあわせ展示の内容替えとともに、情報発信また生涯学習の場としても今後活用の幅が飛躍的に拡大していくものと期待されている。



北海道開拓記念館 新常設展示オープン式

内陸部に展開される臨空型生産拠点。 苫東柏原工業地区

お問い合わせは
ナショナルプロジェクトを推進する第三セクター

苫小牧東部開発株式会社

本 店/〒060 札幌市中央区北2条西4丁目2番地(三井ビル別館7階) 電話(011)281-6636(代)
部/〒100 東京都千代田区霞が関3丁目7番1号(大東ビル8階) 電話(03)3580-8581(代)
苫小牧事業本部/〒059-13 苫小牧市柏原211番地の1 電話(0144)55-1131

洗練と羨望と。住友のシティハウスシリーズ分譲物件。

住友
宮の森
シティハウス

●交通/地下鉄東西線「西28丁目」駅徒歩9分。

住友
麻生
シティハウス

●交通/地下鉄南北線「麻生」駅徒歩9分。
JR学園都市線「新琴似」駅徒歩8分。

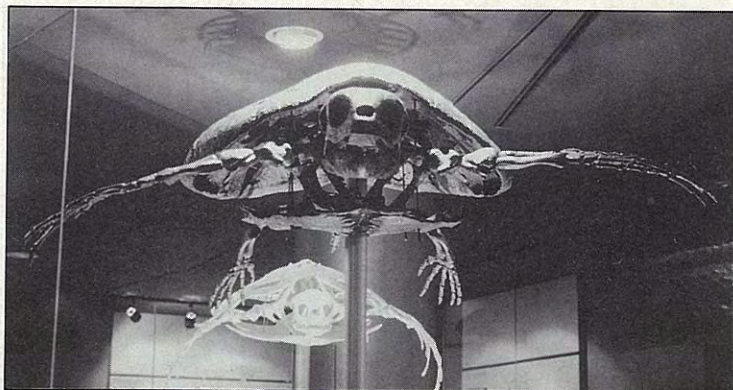
好評分譲中 ■お問い合わせ先/(011)271-3909

住友不動産

住友不動産販売

穂別町立博物館
化石専門館に衣替え

穂別町立博物館が五月、道内でも数少ない「化石博物館」として生まれ変わる。新しい展示品は、世界に類を見ない新種のウミガメなど、十年前の開館以後に研究が進んだ古生物の復元模型をはじめとして盛りだ

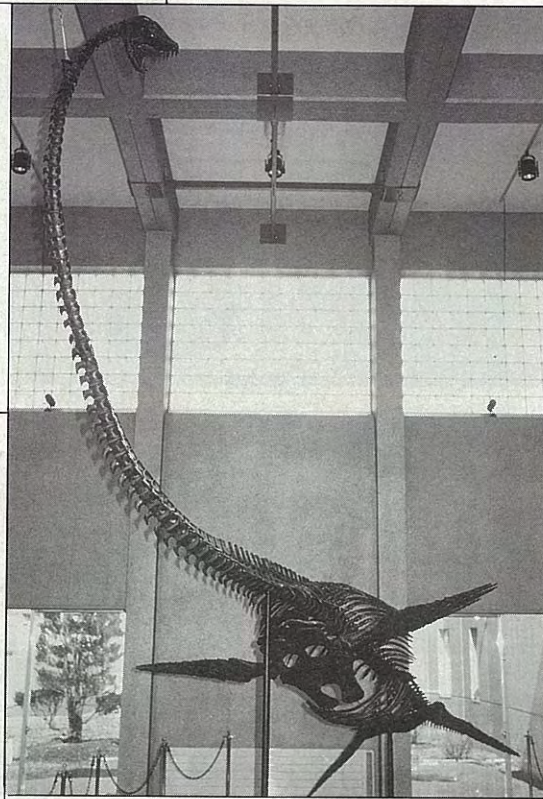


ウミガメ復元骨格(穂別町立博物館)

くさんで興味深い内容だ。

同館は、「開館七十年」を記念して一九八二年に総合博物館として開館したが、当初から町内で出土した化石類も八〇〇点余り展示していたが、今年開館十周年を迎えるのを機に、「自然史関連一本に絞った博物館として大規模な展示替えを行うことにした」と地徳力(ちとく・つとむ)学芸員の説明。

新展示品の第一の目玉は、これまで町内で八個体分の化石が見つかったウミガメの復元骨格。いずれも中生代白亜紀後期にあたる約七千



クビナガリュウ全体模型(穂別町立博物館)

万年前の地層から発見された同一種で、その中の一個体は体長一・二メートルになる全体のうち頭部と尾、甲羅の一部が欠けただけで八割の骨格が揃っている。

この化石はその後、オサガメ科の祖先に近い新種と確認され、発見当時から研究にかかわっている千葉県の帝京技術科学大学の平山廉講師がシクロケリスと名付けた。この成果は四月に地質学会で報告される予定である。

第二の目玉は、シクロケリスと同時期に生息した海トカゲ、モササウ

ルス的一种で全長が六・五メートルになるティロサウルスの復元模型。同町では八五年にあごや前足など一部の化石が出土しており、国内では初めての発見。模型は生きていた時代そのままに色も塗られて登場する。

新しい「化石博物館」で来館者はまず、町のシンボルにもなっているクビナガリュウの迎えを受ける。そのまま進むとモササウルスやアンモナイトなど中生代の生物に出くわし、続いてクジラの骨格やゴマフアザラシの標本など現代にまでつながる新生代に帰るといふ構成である。

また、五月には道と町が三年前から町中心街に整備を進めている化石をモチーフにした「進化の道」が完成するので、町全体が化石のイメージで染まることになる。

(北海道新聞)

(続報)

北海道胆振支庁穂別町の中生代白亜紀の地層で見つかったカメの化石が、原始的なオサガメの仲間だったと、平山廉・帝京技術科学大講師と地徳力・同町立博物館学芸員が、四月中旬熊本市で開かれた日本地質学

会で発表した。オサガメは日本南部にも回遊して来る大型のウミガメだが、中生代の祖先の化石が発見されたのは、初めてという。

発表によると、化石が出たのは約七千万年前の地層。確認できたのは十一個体分で、下あごや首、尾、足甲らなど、ほぼ全身の骨格が見つかった。平山さんは、「ひれ状の足を持つため明らかにウミガメの仲間。骨や甲らの特徴から、原始的なオサガメ科と考えられる」と説明した。

この化石は、大きな個体で甲らの長さが約一・五メートル、全長約二・四メートルと推定され、現在のオサガメ同様に最大級のウミガメだったとみられる。

(四月二十八日 朝日新聞)
(写真提供 穂別町立博物館)

ロシアの研究者を招き講演会―
沿海州と日本の文化交流

去る六月十二日、北方圏センターの国際会議場において日ソ極東・北海道博物館交流協会主催、(財)古代学協会北海道支部共催で「沿海州と日本の文化交流」と題した講演会が開かれた。

これまでも調査、研究上の交流を続けてきた同協会などが、ロシア共和国科学アカデミー極東支部(ウラジオストク市)から三名の研究者を招いて開催したもので、関係団体の会員、各分野の研究者などおよそ八十名が出席し専門分野で意見を交わした。

講演は、ロシア共和国科学アカデミー極東支部の上級研究員であるマルガリータ・パトルシエイヴァ氏による「沿海州と中国・日本の文化交流」、同じく上級研究員ナターリア・ニコライエヴナ氏による「環日本海地域の古代・中世の遺跡」、また、同アカデミー、極東諸民族歴史・考古・民族学研究所長のユーリイ・ワシリエフ氏による「アムール州流域の古代・中世の遺跡」のタイトルでそれぞれの研究成果が発表された。

発表はロシア語から日本語への逐次通訳で行われ、途中、北海道大学北方文化研究施設の天野哲也氏のコメントもあり、出席者は、日本海を間にはさんではいても隣合う国々に見られる近似性に思いをはせながら熱心に耳を傾けていた。

サマージャンボ宝くじ

市町村の住みよい
街づくりに役立てられます

(別称・市町村振興宝くじ)

予約申込期間 7月20日～8月3日 1等・前後賞合わせて 1億円
引換期間 8月19日～9月4日 デラックス・レジャー賞 500万円
抽せん日 9月18日(金) くじは1枚300円です。



財団法人 北海道市町村振興協会



より美しく—より速く



sando printing
山藤印刷

〒063 札幌市西区宮の沢1条4丁目16-1
☎(011)661-7161 FAX661-7173
東京営業所/☎(03)3668-2711 FAX3668-2713
千歳営業所/☎(0123)26-3555 FAX 26-3866

印刷のことなら何でもお気軽に
ご相談ください。

きれいな水を祝う

●第2回ストックホルム・ウォーター・フェスティバル



水に浮ぶ首都・ストックホルム

ルック 北方圏



来る八月七日から十六日までスウェーデンの首都ストックホルムで、第二回ストックホルム・ウォーター・フェスティバルが開催される。

昨年の第一回目には約二百万人が訪れたが、今年はそれ以上の客が見込まれている。ストックホルムの中心街がすべてお祭り会場となるのだ。音楽、美術展、ダンス、オペラ、ヨットやボートのレース、二万人分のざりがにパーティ、世界花火選手権等、今年も七百以上のイベントが予定されている。

また、この期間フェスティバル・ラジオ(Festivalradio)と



ストックホルム・ウォーターフェスティバル(昨年)

呼ばれるラジオを購入すれば、花火の打ち上げに合わせた音楽が流れて、花火を眺めながら音楽放送も楽しめる。このフェスティバル・ラジオを通じてフェスティバル期間中のイベント情報を放送することも予定されている。

さらに、このフェスティバルは、ストックホルムのきれいな水を祝うものでもあり、一九九一年に初めて贈呈された環境賞

(詳細は左記へ)
Stockholm Water Festival
Amiralitetshuset
Skeppsholmen
S-111 49 Stockholm
Sweden
Tel +46-8-6143400
Fax +46-8-6796465
(スカンジナビアン・ニュース)

『白夜の国のまちづくり』 版画家の小池暢子さんが講演

北海道フィンランド協会名寄支部(支部長坂田仁氏)主催の「まちづくり講演会」が六月十九日、十別市在住の版画家小池暢子さんを講師に招いて、開催された。

小池さんは、『白夜の国のまちづくり』と題して、自然とともに暮らす北欧の人々の暮らしぶりをスライドを上映しながらこの地方でも心温まる個性的なまちづくりの必要性を強調した。この講演会は、北欧諸国の生活を学び国際交流を推進しているフィンランド協会名寄支部が、公民館のサークル活動支援事業、ジャックの豆事業を導入して実施した。

講師に招かれた小池さんは日本版画協会会員。十別市に移り住んでから六年になる。現在は独自の創作活動のほか、十別市並景観審議委員なども務める。

開催に先立って坂田支部長はJ.C.主催の市民ジェット、ペサパツロ野球、フィンランド青年招待などの動きを紹介しながら「今回は美術家の目から見た、北国のまちづくりを学

びたい」とあいさつ。

講演で小池さんは北欧五カ国で参加した作品展の様子を交えながら、主にアイルランドとノルウェーの町並みや市民の生活ぶりを語った。海外生活が長い小池さんは北欧諸国の情勢については高額税負担と高福祉、高い失業率なども紹介し、「ある意味であこがれの国とはなっているが現実には厳しい状況」という。

とは言え、アイルランド、ノルウェーの両国ともに個性的で美しい街並みで、日本との価値感の違いも指摘。特に乱雑な日本の看板とシンプルな北欧の看板の違いについて、単に店の名を表示するのではなく、業種や店のシンボルをさりげなく表現する方法にもっと関心を持つべきという。

花がなくともドライフラワーで美しく飾るショウウインドー、倉庫裏まできれいにペンキを塗る感覚、小さいながらも図書館、音楽ホールが機能的にまとまった集合施設。町の中心となる場所にはシンボリックな塔、多くのスライドを使つての説明と、「どこを撮っても絵になる」という言葉が日本のまちづくりの貧

弱さを指摘しているようだった。

(名寄・北都新聞)

『英語で紹介するジス・イズ十勝』 帯広・十勝を

「地域のことがよく分かって、ためになり、そして交流の論が広がる」。そんな楽しい英語の本が発刊された。題して『英語で紹介するジス・イズ十勝』

著者は帯広で働ジョイ・インターナショナルを経営する浦島久氏とイングリッシュハウス・ジョイ代表の原田啓一氏の二人。イングリッシュハウス・ジョイの十五周年の記念に帯広・十勝に深く根を張った仕事を続けたい。そして何かを残したいという発想が執筆のキッカケという。

『ジス・イズ十勝』の特徴は、①十勝という小さな地域にテーマを絞



英語で紹介する
ジス・イズ十勝

浦島久 原田啓一

十勝毎日新聞社

ったこと②ダイアログをやめてすべて使えそうな例文のみを集めたこと③例文は中学三年生程度のやさしい英文を使っていること、の三つがあげられる。項目は六十、食べもの・飲みもの、祭り・イベント、スポーツ・レジャー、観光地、市町村、などテーマは十勝に関する事項はもれなく(?)収録されている。

十勝に住む人には地理や歴史の勉強にもなり、しかも訪れる外国の方への配慮にもつながって、交流の輪も大いに広がるというもの。

「最近帯広・十勝を訪れる外国の方が多くなり、今後はさらに増えると思います。そんな人達に、少しでも自分の口から私たちの帯広・十勝の話をしてあげたいと思う人がいると思うんです。そんな時に役立てて欲しいんです」と浦島さん。

それだけではない、十勝に関する個々の言葉をそれぞれ読者の土地柄に合わせて読み替えれば、英語の知識も、表現の楽しさも広がることは間違いない。発行は十勝毎日新聞社。詳しくは同社企画部(帯広市東一条南八丁目一) ☎〇一五五―二二―二二(一)

のストックホルム・ウォーター・ブライズは、その年、水と環境に顕著な活躍を成し遂げた人に贈られる。今年の賞金は十五万米ドル、カール十六世アスタウ・スウェーデン国王から贈呈される。

なお、これらのイベントには、食べ物や飲みもの、宿泊や交通機関の割引が楽しめるクーポンが発行される。ヴァッテン・パス(Vattentpass)と呼ばれるクーポンは、一組五十クローナ(約千五百円)、スウェーデン国内各地の郵便局とストックホルムのキオスク(Press-byran)で購入できる。

北方圏ニュース

● 海外版

黒竜江省、日本、北米との船舶・航空路開設目指す

中国・東北の黒竜江省が対外的な開放を一段と進め、本道を通じた日本、北米との船舶、航空路などの早期開発を目指していることが明らかになった。中国共産党省委員会と同省がこのほど正式に採択した開放を一段と進め、外向型の経済をさらに発展させる決定」に盛り込まれた。

この決定によると黒河（ハイホー）、綏芬河（スイフンホー）などロシア

との国境河川沿いの主要都市に大幅な権限移譲を行い、ロシアをはじめとする近隣外国との貿易、投資受け入れを積極的に進める。また、ロシアとの貿易、ロシアへの進出を目指す国内事業者に対し、各種の優遇措置を講じる。

基礎整備の一環として、一九九五年までの第八次五年計画と西暦二〇〇〇年までの間に、ロシア国境への鉄道を整備し、省都ハルビンからウラジオストクへの国際旅客列車を運行させる。また、黒河の対岸のブラゴベシチェンスクを結ぶ黒竜江大橋をロシアと共同で建設する。

さらに黒竜江省から松花江、黒竜



黒河から眺む対岸のマチ、ブラゴベシチェンスク

を經由し、北米に至る航空路の早期開設にも取り組む。

同省関係者によると、これらの事業はいずれも膨大な資金と関係国との調整が必要のため、具体的な内容や実現時期などについてはまだ明らかではない。しかし船舶、航空路の整備については太平洋、北米への中継地点として北海道を想定している。また、本道を含めた日本への船舶の運航実験についても検討を進めているという。

（五月十三日 北海道新聞）

（写真提供：北海道大学教授 吉崎 昌一氏）

あらゆる車向けの無鉛ガソリン、スウェーデンで開発される

一月中旬、スウェーデン生協グループのメンバーであるOKペトロリアム（OK Petroleum）が、あらゆる車の仕様に適したニュータイプの無鉛ガソリンを発表した。販売が開始されているのは今のところストックホルム、ヨーテボリ、マルメの三都市で、それらはOK市場の約四〇％を占める。ただし、今世紀末ま

江（アムール川）を經由、日本海やオホーツク海へ抜ける河川航路の整備を目指すほか、ロシア極東と日本

で、新タイプのガソリンのOKオプティマ（OK Optima）が、全国的に使用されるものと見込まれている。オプティマの場合、鉛のかわりに特別開発の添加物が加えられており、これらのうちのひとつは、ソジウムを含み、バルブや弁座といったエンジンに不可欠なパーツの円滑化に役立つ。もう一つの添加物はすすその他の沈着物を除去すると同時に、燃焼を促進する。

包括的なテストはオプティマを使った際のエンジン駆動が効率的で、

有鉛ガソリンと同程度の寿命を持つことを実証した。OKペトロリアムはまた、普通のガソリンの場合にはエンジンから鉛の残滓を取り除くために使われている不純物除去剤を排除したが、これらの添加物は燃焼時にダイオキシンを形成することが知られている。

OKの新ガソリンには、触媒交換装置のついていない車やこれまで有鉛ガソリンを使っていた車向けのオプティマ九六とオプティマ九八の他、触媒交換装置の車や既に無鉛ガソリンを使用している車を含むあらゆる車に適する無鉛九五オクタタンガソリンがある。

現在、有鉛ガソリンを入れているスウェーデンの三六〇万台のガソリン車のうちおよそ一五〇万台は、燃焼をオプティマに変えることが可能であるが、十分に機能させるためには有鉛の添加物を要する旧型エンジンを搭載している車もまだ数多く存在する。なお、他社の九八オクタタンガソリンにはパーツの円滑化効果がないということがある。

鉛やダイオキシンは、長い間、健康や環境に重大な害を及ぼすことが

知られており、とりわけ、子供達は有害な薬剤の影響を受けやすい。ダイオキシンは極めてゆっくり分解するため、妊娠中の女性の体内に入った場合、往々にして胎児にまで影響が及ぶ。ダイオキシンは発ガン性を有し、人間の免疫システムに影響を与える。

（SIP ニュース）

ノルウェーの禁煙運動に対して
ゴールド・メダル授与される

全ヨーロッパ諸国で実施された競争で、ノルウェーは率先して禁煙運動を進めたことに対して世界保健機関（WHO）から金メダルを授与された。

この賞はWHOの欧州部会が毎年喫煙に反対して顕著な業績をあげた国に与えるもので、ノルウェーはこれまで、タバコの害によって病気を招くのを防止するために幅広いキャンペーンを展開して何度も受賞している。

ノルウェー国内では既に一九七五年にタバコの宣伝が禁止され、一八八八年にはノルウェー喫煙法が制定

された。この法律では、職場の公共の場での喫煙は禁止されている。

五月三十一日の世界禁煙デーの催しは、ノルウェーの一地域、最南端の海岸地帯のウエスト・アジェル（Vest-Agder）が選ばれ、集中的にキャンペーンが行われた。地域単位でのこうした努力を行うことにより、禁煙運動のための予算がつけられ、最大限の効果が上げられることが期待されている。小学生たちがこのための歌やスローガンを作ったり、会社や事業所では禁煙を目指すコーズに援助を与え、職員の中に禁煙者が何人いるかその数を競い合うなど、保健関係者で構成する作業委員会は、この催しに向けての準備の段階からすでに地元住民の幅広い支持を得ていた。

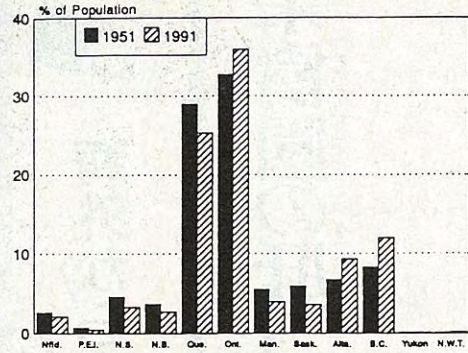
「ノルウェー喫煙と健康評議会」では、こうした地域ぐるみの方法は限られた予算内で禁煙キャンペーンに最大限の効果をあげたいと思っている他の国々にとっても良いお手本になるのではと自信を深めている。

（「ノリンフォルム」第十六号）



ストックホルム市内

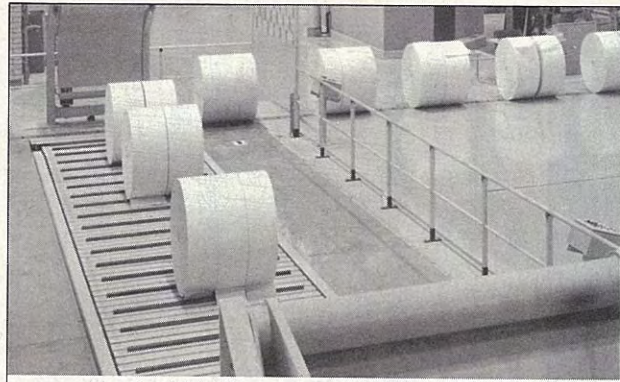
各州の人口シェアの変化



’91年の国勢調査結果
カナダの人口は2730万人

昨年六月に実施されたカナダの第十七回国勢調査の結果が公表され、カナダの人口は二七、二九六、八五九人と、前回調査時の’89年から二〇〇万人増加していることがわかった。また、一九五一年以来年々減り続けていた人口増加率が七・九%と四十年ぶりに増加に転じたことが注目された。

州別でこの五年間の人口増加率をみると、BC州が三・八%と最も高く、オンタリオ州が一〇・八%



フィンランドの製紙工場

塩素をまったく使わない

硫酸塩パルプ工場で塩素化合物を使わずにパルプを漂白する重要な技術突破がフィンランド西岸のメツァーボトニアのカスキネン工場で実現した。この漂白パルプはすでに雑誌用紙の生産に使われた。

メツァーボトニアのユハニ・ユリパーヴォラ専務取締役はそれが計画的投資、研究や工場規模の試験の結果

25都市の人口と5年間の増加率

Canada's top 25 centres*

Toronto	3,893,046 (+13.4%)
Montreal	3,127,242 (+7%)
Vancouver	1,602,502 (+16.1%)
Ottawa-Hull	920,857 (+12.4%)
Edmonton	839,924 (+8.5%)
Calgary	754,033 (+12.3%)
Winnipeg	652,354 (+4.3%)
Quebec	645,550 (+7.0%)
Hamilton	599,760 (+7.7%)
London	381,522 (+11.5%)
St. Catharines/Niagara	364,552 (+6.2%)
Kitchener	356,421 (+14.5%)
Halifax	320,501 (+8.3%)
Victoria	287,897 (+12.8%)
Windsor	262,075 (+3.2%)
Oshawa	240,104 (+18%)
Saskatoon	210,023 (+4.7%)
Regina	191,692 (+2.8%)
St. John's	171,859 (+6.2%)
Chicoutimi/Jonquière	160,928 (+1.6%)
Sudbury	157,613 (+5.9%)
Sherbrooke	139,194 (+7.1%)
Trois-Rivières	136,303 (+5.8%)
Saint John	124,981 (+3.1%)
Thunder Bay	124,427 (+1.8%)

Based on the 1991 census
*includes adjacent municipalities

アルバータ州七・六%、ケベック州五・六%とつづき、人口が減少したのはサスカチュワン州のマイナス二%だけであった。

ここ四十年の各州の人口シェアをみると、オンタリオ州、アルバータ州、BC州の三州で増加がみられるが、他の七州ではシェアが低下、特にケベック州は51年の二八・九%から’91年には二五・三%とかなり低下し、オンタリオ州の三六・九%との間に一〇%以上の開きが生じたことも注目された。

主要都市別では、一〇〇万人を超えたのはトロント、モントリオール、

バンクーバーの三都市で、オタワ、ハル首都圏も一〇〇万都市に迫っている。ここ五年間の増加率では、バンクーバーとオンタリオ州の諸都市で二けたの増加がみられ、人口一〇万人を超えているのは二十五都市となっている。

(カナダ・ビジネス・レビュー誌)

果だとして「成果が近く需要の拡大という形で目に見えるようになる」と語っている。

塩素や二酸化塩素を使わないでパルプを漂白する技術は、メツァーボトニアの顧客が以前から求めていた課題の一つであった。成功はアーネコスキ工場での酵素漂白やカスキネンで多段式酸素処理試験の結果もたらされ、製品の紙の光沢という点で雑誌用紙の顧客の要望に答えられる製品の生産が可能になった。

新しいパルプの製造コストは明らかに一般のパルプの場合より高くなるが、顧客は一般にそのコストを受け入れている。

新漂白法は「クロード・システム」に向けての重要な一歩で、この方法を使うと有害な廃水は一切放出されない。それにもかかわらずなお大量の開発作業や投資が必要である。

研究開発の次の目標は同様な方法で上質紙に不可欠な原料であるバーチパルプを漂白して、十分な光沢をもたせることにある。ユリーパーヴォラ専務取締役は「私は成功を確信している。私たちはいまや年間百万トン近い生産を通じて顧客の最新の

90-91年の各州の実質経済成長率の変化

	Annual rate of change (%) in gross domestic product, not adjusted for inflation	
	1990	1991
Newfoundland	+4.1	+1.5
Prince Edward Island	+5.0	+1.1
Nova Scotia	+5.9	+1.8
New Brunswick	+5.0	+2.1
Atlantic Canada	+5.1	+1.8
Quebec	+3.2	+0.1
Ontario	+2.1	-0.8
Central Canada	+2.6	-0.5
Manitoba	+3.7	-1.6
Saskatchewan	+4.8	0.0
Alberta	+7.4	-0.3
British Columbia	+5.5	+1.6
Yukon	+4.6	-5.5
Northwest Territories	+2.8	-0.8
Western Canada	+5.8	+0.3
CANADA	+3.7	-0.1

Source: Statistics Canada

要望にこたえる用意がある」と語った。「finfacts」一九九一年第三号

’91年のカナダ経済

BC州と大西洋岸諸州プラス成長

カナダ各州の’91年の経済成長実績が、カナダ統計局から報告され、大西洋に面したニューブランズウィック州が二・一%の実質成長を示し、成長率でトップだったことが明らかになった。また、この他の大西洋岸各州がいずれもプラス成長を維持した。

BC州も一・六%と着実に伸びているものの、その他の西部諸州は、

サスカチュワン州がゼロ成長、また、アルバータ、マニトバの両州はマイナス成長であった。

カナダ経済の六三%を占める中央カナダでは、ケベック州が〇・一%となんとか成長を維持したが、シェア四〇%のオンタリオ州は〇・八%のマイナス成長であった。

(カナダ・ビジネス・レビュー誌)

■機械関連の総合企業体

中道機械株式会社

住所/札幌市東区北26条東8丁目 郵便番号/065
電話/代表(241) 4191・(231) 8611

東北支社/仙台市宮城野区榴岡2丁目2番15号セントールビル5F TEL(022)293-2171
支店/旭川・苫小牧・釧路・函館・帯広・北見・滝川・江別・仙台・山形・青森・東京
営業所/稚内・名寄・静内・倶知安・千歳・留萌・八戸・大曲・大館・いわき
郡山・原町・会津若松・盛岡・一の関・宮古・新庄・弘前・古川

出張所/網走・紋別・八雲・中標津・むつ・釜石・石巻
管理本部・建設機械営業本部・産業機械営業部・製作事業部・建設事業部・システム開発部・開発部



海外からの便り



果樹園の肝っ玉があさん

在カナダ・オンタリオ州セントキャサリンズ市

田中 勉

■カナダ版 「明治村」

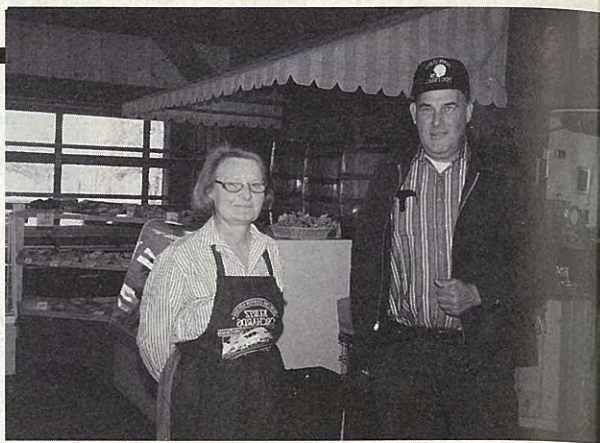
太古の大氷河が削った渓谷を豊かな水量を湛えたナイヤガラ河が流れる。米加国境に横たわる五大湖の一つ、エリー湖を流れ出てオンタリオ湖に注ぐこの水流は、やがてセントローレンス水路を下り、旅路の果ては大西洋に注いで七つの海に合流する。

そのナイヤガラ河の中ほどにあつて轟然と落下する大瀑布は年間千四百万人もの観光客を引きつける大景観で有名だが、その河沿いに下流へと遠ざかるにしたがつて、あたりは

のどかな田園の趣きを濃くする。特に薫風が果樹園の花の香りを運ぶ初夏の水辺はすばらしい。

ナイヤガラ河の流れがオンタリオ湖に注ぐ河口に近くナイヤガラ・オン・ザ・レイクという長い名前の町がある。そのまま訳すと「湖の上のナイヤガラ」ということになるが、今から二百年の昔には当時アパー・カナダと呼ばれていた現オンタリオ州の州都がおかれた由緒のある都市で、十九世紀の初頭には対岸のアメリカを向こうに回して度々戦火を交じた古戦場が今も街のそこかしこに散在する歴史の町でもある。

街角に昔の面影を遺したホテル、銀行、喫茶店、美容院、金物屋、靴



コンビで歩んだこの道25年。エドさんとジーンさんのカップル

ポーランドから移住してきた両親が始めた零細規模の露店の果物屋を引き継いだのが二十五年前のこと、エンジニア出身のエドさんは当初戸惑うことも多かったが、ジーンさんの方は農業の経験もあり、また人一倍の働き者でもあった。それでも現在地に立派な店舗を構えるまでに十五年の歳月を費している。粒々辛苦の成功物語と言えるだろう。

ナイヤガラ滝観光の行き帰りに車で立ち寄る客も多いが、何と云っても最大の顧客は大型観光バスでやってくる団体客だ。中でもカナダ観光ブームに乗って年々増える日本人団体客はドル箱だ。日本で発行されて

いるカナダ旅行案内書にも店が紹介されるようになりメルルオーダーも飛び込むようになった。とにかく売上げの約三十パーセントは日本人観光客とあつて従業員も日英両語に流暢でないとは勤まらない。当然カーツ一家の日本そのものに寄せる関心も並々ではない。

■勉強になった 日本訪問

今日のカーツ果樹園の隆盛は日本人客に負うところ大とあつて五年前には夫婦で二週間の日本視察旅行に出かけた。現在店開店五年目のことである。日本の生鮮食品の流通システムに目を注いだ。

旅行中、最も印象に残ったのは高価な果物がまるで宝物のように包装されて店頭に並んでいることだった。デパートをはじめ、日本の小売店のパッケージの丁寧なことは果実類に限ったことではない。二重三重の豪華包装などカナダでは考えられないこと、たいていはビニールの袋に入れておしまい。贈物に使いたければギフト用の包装紙を別に買いたければカナダ式ということになって



四季折々に美しい果樹林が広がる

■果樹園の 成功物語

店に乾物屋といった建造物や家屋が軒を列ね、前世紀がそっくりそのまま現代に息づく、さしずめカナダ版「明治村」といった趣きがある。歴史をたずねて緑陰にタイムトンネルをくぐるのもいい。が、今日は的を一つにしぼろう。たずねる先はこの界限で最大のカーツ・オーチャード(果樹園)である。

果樹園直営のこのフルーツマーケットには収穫したばかりの新鮮な季節の果実が店頭を彩る。店の背後に

いる。

小売店の接客サービスにも感心した。訪れた大手の一流デパートではたまたま開店時間に行き合わせた。女性店員がズラリと並んで一斉に最敬礼で迎えてくれるのは驚いたが、その整列の中にいた二人の中年紳士が店長と店次長だと聞いて二度ビツクリ。百聞は何とやらで実りの多い日本行だったとジーンさんは語る。

■ほんとも 日本資本が…

夏のピークシーズンには本店だけで十名以上の従業員を擁し、果樹園の収穫期にはジャマイカからの出稼ぎ労働者を雇い入れる。加えてジャ

は広大な果樹林が広がっている。桃四十一エーカー、チェリー十五エーカー、梨十一エーカー、リンゴ五エーカー、その他すももにイチゴ、野菜まで加えると計七十五エーカーにも及ぶという。一望はるか遠景はうす紫色にかすんで地平線にとけこんでいる。経営者はエドさん(56才)とジーンさん(52才)の夫婦で、娘のアンさん(28才)とマイクさん(25才)を加えて純然たるファミリービジネスだが、果実だけでなく、メープルシロップ、ジャム等の加工品も揃え、今年からは地元ナイヤガラワインも仲間入りしてバラエティーが豊かになった。もちろん、店頭小売りの他に全国のチェーンストアへの卸売りも手がけている。

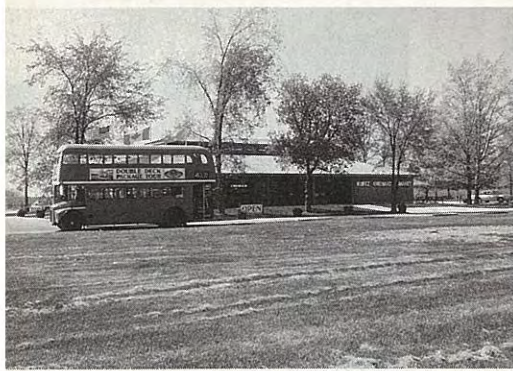


果樹園からもぎたてのフルーツが店頭

ム工場の操業と年中忙しく立ち働くジーンさんは観光ガイドやバス運転手の間で、オン・ザ・レイクの名物おばさん”になってしまった。雲を突く大男のエドさんがむしろ目立たない存在なのが面白い。

娘のアンさん、息子のマイクさんもこの肝っ玉かあさんにみっちり仕込まれ、後継者としてたくましく育ちつつある。二、三年前には両親に次いで「日本まいり」も果たした。アンさんはやがて店の経営を任せられることになるが、マイクさんの方は近くでフルーツアイスクリームの専門店をこの春開店した。アメリカの農科大学でアイスクリーム製造のコースを修了しての開業だからただのアイスクリーム屋さんではない。最後に、「将来の夢は？」という私の問いに対するジーンさんの答えは意外だった。

「私にとっていちばん大切なものはファミリー。それ以外のものは全て売り物ですよ。このビジネスもね。」このところ、このカーツ果樹園に触手を伸ばす日本の資本があるという。「日本人なら喜んで…」というジーンさん、「果樹園がゴルフコースになつてしまふかも…ね。」と肩をすくめてみせた。



観光コースにも入っているカーツ・フルーツマーケットにはいつも大型バスが駐車している



海外からの便り



セーフティ・パトロール

在カナダ・サスカトゥーン市 主婦 高谷 尚子

末娘が 交通整理

カナダ生まれの末娘が『交通整理』の学校代表として、オタワのジャンボリーに行くことになりました。ここでは、登校、下校時の交通整理は小学五年生か六年生の役目です。有志が三〜四人でチームを組み、一週一日、朝・昼・下校時の生徒達の安全を守るのです。



チョコレートが飲めるんだよ。それに、選ばれてオタワに行けるかもしれないんだよ」と、風・雪・雨もものかわ、頑張ってきて、本当にオタワへの「ごほうび旅行」が実現したのです。

四十一校の代表のうち、十二校がオタワへ、二十九校がリジャイナへということ、飛行機とバスとは随分と差があつて、どんな規定で選んだのか、いささか興味もあります。が、予算の都合で、全員オタワへというのは、古き良き時代の賜物になつてしまつたということです。

子供達に身近な 警察官

この『交通整理』は、セーフティ・パトロールといつて、スクール・パトロール・オフィサーの肩書きを持つ

警察官の管轄下にあります。その警察官の心得書きを見せてもらいましたが、曰く「パトロール・オフィサーは、自らもまた、結婚、離婚、子供、スポーツ等の問題をかかえる一市民であり、住民と同じ悩みを持ちながら、役割も果たしていることを良く理解してもらい、証人、防犯法の厳守等で住民の協力を仰ぎながら、共により良い人間社会を求めて進む。」とあります。

その心得と態度が浸透しているせいか、子供達にとって警察官は身近な存在で、ダイヤル「911」で呼び出して、親子喧嘩の仲裁を求めたり、借りていったまま返さない隣の子に、三輪車を返すように頼んだりしています。新移住者の親が「子供を叱るとすぐ電話して警察を呼ぶので、うっかり怒鳴ることもできない」とぼやいているのもまた、事実です。親は、それぞれ故国での思い出もあり、何も悪いことはしていないのに、制服を見ただけでドキドキしたりしているのです。

子供達の友人 “オスカー”

このセーフティ・パトロール制度は、一九二三年、アメリカのシカゴに始まり、カナダ・サスカトゥーン市には、一九六四年に入ってきました。スポンサーはカナダ自動車協会と企業や個人です。

パトロール・オフィサーはほかに、二人一組で「オスカー」と呼ばれるミニバンで幼稚園を巡り、交通安全の教育をしています。もう一人の警察官が車の中に隠れていて、子供達

幼いうちから 交通ルール

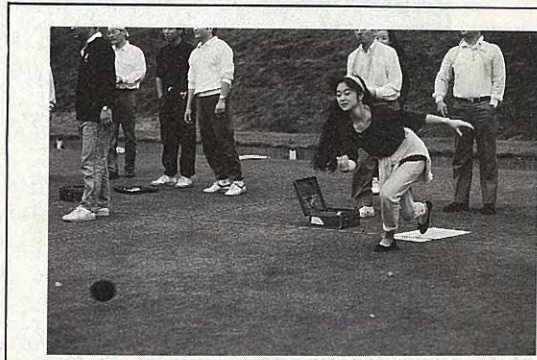
現在、学校の近くに住む子には、親の許可願が必要という条件があるのですが、学校から三町以上の距離に住む生徒には、無条件で自転車通学が許可されます。このような子供達に向けて、パトロール・オフィサーの警察官は他にも、自転車乗り方、鍵のかけ方も教えています。



ローラーブレード、ヘルメットをかぶり舗道をスケートします

スケートボードとローラースケートは、校庭では禁止です。その代わりに、警察と市役所が監督して、市役所の庭や、駐車場の一角を解放しています。いずれもスピードを競うものですが、その本来の醍醐味を考慮した対策と言えましょう。今はそれに加えてローラーブレードが盛んです。まさに夏のスケートです。歩道を滑ることが許可されていますし、自転車よりも運動量があり、手軽に楽しめるとあって、幼児からお年寄りまで、ジョギングをしのぐ人気です。その指導もまた、パトロール・オフィサーの役目です。

交通事故から人命を守るため、また、幼いうちから交通ルールをしっかり覚えさせ、さらには、警察官への親しみを感ぜさせるなんて、素晴らしいことだと思いませんか？



RECREATION WORLD NIKOKO キロロリゾート

〒046-06 北海道余市郡赤井川村字常盤

総合案内 ☎(0135)34-7111(代)
お問合わせ 札幌営業所 ☎(011)512-4333

スポーツクラブハウスやレクハウスでは、プレイの受付や総合案内を行っています。お気軽にご利用ください。

海外からの便り



私の地元、NOVI市

在アメリカ・デトロイト市
鈴木・マイヤーズ&アソシエーツ社長

鈴木いづみ

バス停、ナンバーVI

今春のミシガンの天気は、こちらの成績表流に言えばCマイナス。ミシガン州に住んで合計十二年になりますが、こんなに天気の悪い春の訪れは初めてでした。まあ三月末までは北国だから観念しているのですが、四月に入れば気温が上がり、晴れの日が増えて楓が芽をふき、水仙が咲いて皆オーバーから薄手のコートに着換えるのが普通なわけです。ところが今年はどういうわけか、最低気温が零度以下になる日が四月に入っても何日もあり、五月に入ってやっ

と木々がうつすらと緑づく有様。地球の温暖化、温室効果などといわれる中で、ミシガンだけは温室のビニールが破れてすさまじい風が入ってきているのではないかと疑いたくなる日が続きました。この何よりの証拠は、いつも三月末から二カ月ほどにわたる息子のアレルギー（花粉症）がついこの前の五月初旬に始まったことです。スーパードラッグでもこのアレルギー症状を抑える薬が目立つところに並べられ、売れるようになったのは五月の声を聞いてからでした。天気の話が長くなってしまいました。が今回は私共のオフィスがあり、また住民としてお世話になっている

地元のNOVI市についてお話ししたいと思えます。この町は実際の発音はノウヴァイなのですがこのあたりの日本人はノバイと書いています。あまり英語らしくない名前とお思いかもしませんが、一説によるとこの名前は、昔この地がデトロイト発の乗合バスの通るグラッド・リバー通りに沿った六番目の停留所であるNO. (ナンバー) VI (ローマ数字の六) という所から来た、ということ。本当かどうかはわかりませんが、バスの停留所として始まったことは確かですから、かなり新しい町と言っているようです。私の家族がここに引越したのは五年前のことですが、十五年位前にはこのあたりはこれと言つてなにもない所だったと聞いています。

郊外都市の一つ 高い教育レベル

この町はデトロイトの北西約四十kmに位置しており、国際空港から約二十分北上した所です。ミシガンの州都ランシング市はさらに西へ一時間余りのドライブ時間です。I-75、696、I-96、102という四つの主要道

路がノバイを通ってどこに出るにも大変便利です。大デトロイト圏でも他の多くの大都市と同様にドーナツ化現象が顕著に見られ、安全で教育程度の高い周辺都市へ人々が移り住んで行くのは一九七〇年前後のデトロイト市の暴動以来の傾向になっています。日系企業とそこで働く日本の方達も御多聞にもれず、デトロイト市をぐるぐると取り巻いた各市に会社や工場を構え、住居を持つというのが実状です。

そう言った郊外都市の一つであるノバイ市の日本人にとっての何よりの魅力は、教育レベルの高さだと言えます。ミシガン州全州の学校で年一回行なわれるMEAP (ミシガン教育評価プログラム) テストの結果を見ると、各学年で習ったことの九〇%以上を理解している生徒率がノバイでは大変高いのです。ノバイ市の学校制度は日本の六・三・三制とは大分違って、幼稚園から四年生までが低級小学校、五、六年生が上級小学校、七、八年生がミドル・スクールと呼ばれる中学校で九、十二年生がハイ・スクール、いわゆる高校です。私がここで気に入ったのは、上級小学校の外国語プログラムです。これは子供達が外国語に対して恐れ

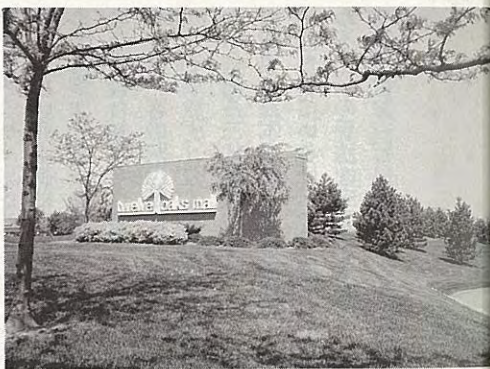


私の家族と会社ぐるみのケーブルテレビ番組「ジュニア・ジャパニーズ」スタッフ
前列右から、夫のスティーブ、娘のジュン、息子のケン、そして私

をいだかないようにという主旨で組まれた入門コースで、日本語、スペイン語、ドイツ語、フランス語などを子供達に馴染ませようという選択科目です。上の息子は日本語のクラスは先生のアシスタントとして手伝い、スペイン語が一番気に入ったのもっと学びたいと言いだし、ふた夏続けて三カ月づつメキシコでスペイン語を勉強しました。下の娘は、このコースでフランス語に接し、こ

の夏はフランス語圏カナダで過ごす事になっていきます。日本とは違い、外国語の必要性を痛感していないアメリカにおいて、このノバイの語学に対するアプローチはユニークなもので素晴らしいことだと思います。ただ残念なのは中学校にこれを引き続くコースがまだないことです。

その代わり、とは言えませんが、私どもは家族ぐるみ、会社ぐるみで「ジュニア・ジャパニーズ」というローカルのケーブルテレビ番組を三年前から始めました。これは地元の子供達に「日本語は決して怖いものではない、同じ年の子供達と話しているんだ」ということをわかって貰うため、八、十三歳位の子供達を対象に行なっているもので、主人がプロデューサー、子供一人がラングエジリダー、私がカリキュラム・ディレクター、と言った具合です。これに会社のオペレーション・ディレクターの日本人の若い女性がサポート役で唯一の大人として出ています。月一回、スタジオに子供達が集まり撮影を行ない、子供の会話、日本のことわざや昔話、文化の紹介などをしています。お世話になっている地元の方へ、私共で、できるさやかな恩返しと思っています。



「キング」ダニー・ヴァン。
彼の演技はまるで巻き貝のように目まぐるしく、エルヴィスを再現(写真©SOCK HOP.)



ビジネスでもユニークな発展

さて、ビジネスの方はどうかと言いますと、ここ数年のノバイ市の発展ぶりは目を見張るものがあります。ここには大デトロイト圏、恐らくミシガン州全体を見ても一番大きく賑やかなトウエルブ・オークス・モールという商店街があり、そのすぐ隣にノバイ・タウン・センター、向い側にウエスト・オークス・モールと半径半マイルに何百軒もの小売店が集まっています。交通の便の良さといえ、ミシガン中からまた、北部オハイオからも買い物客がやって来ます。地元の商工会議所も盛んに活動を行なっており、専務理事の

コニー・マレットさんによると、会員数はここ二、三年で劇的に増えたということ。四年前から始まった、ノバイ五〇年代フェスティバルはコニーさんが中心となり多くの人の協力を得て周辺の観光客をひきつけています。これは古き良きアメリカを再現したお祭り。七月の中旬の五日間催されますが、年毎に盛んになってきています。

もう一つ、ノバイの新しい魅力は、ノバイ・エキスポ・センター。今全米でトレッド・ショーが新しいビジネスとして注目を集めています。元ポトル工場であった建物、敷地を利用したこのエキスポ・センターの規模は大デトロイトのコーポ・センター（収容能力五十万人）に続いて二番目に大きく申込が殺到しているそうです。ノバイ市は自動車産業色一辺倒の大デトロイト圏の中でユニークな発展を続けている町と言えます。



海外からの便り



在デンマーク・ヘルシンガーマ市・主婦 小野寺綾子

ヘルシンガー案内

「住めば都」 海峡の町

早いものでして、この夏でヘルシンガーに住んで四年目になります。俗に「住めば都」と言いますように、随分この土地に愛着が湧いてきました。特に自転車通学で市街地へ行く途中、眼下に広がる町の中心部にある聖オライ教会の青銅色の尖塔が、ウアソン海峡を背景にそびえ立つ風景が一番好きです。

この町の人口は五万六千人。コペンハーゲンの北五〇kmにあり、年間一千八百万人がノルウェー、スウェーデンへ渡る中継地として通過して行きます。

アイスクリーム と家並みの魅力

商店はスウェーデン人に依存度が非常に高く、彼等のお目当てである酒類や肉、チーズを売る店が、さほど広くない商店街に三十軒近くあります。フェリー乗り場近くの横町で酒店を営む知り合いのケネスさんの店では、客の八〇％はスウェーデン人だそう。彼の本業は店の真向かいにある三代続くアイスクリーム屋です。日本のある旅行案内書にも紹介されているほどで、操業以来伝わる秘伝の手法を守り、デンマークで一番おいしいアイスクリーム



広場で名物のアイスクリームを食べるスウェーデンからの買い物客



市街地の古い家並み。家の中は現代風に修理してある

と書かれています。観光案内所のリタさんは、ヘルシンガーの魅力が「人や船が往来する所は活気があり、一種独特の雰囲気がありますね。海は日によって多様な顔を見せてくれますもの。クロンボー城の他にも、市内に残る古い家並みや一五世紀の修道院など、見るべき所がたくさんありますわ」と語っています。日本人に限らず、観光バスやクロンボー城へ来る団体客は、見学時間が終了すると市内に足を延ばさず、忙しく次の目的地へと移動してしまします。市街地には一六、一七世紀の建物をはじめとして、古い住宅が当時のままの姿で保存され、その建物に人が住んでいます。古い

石畳が残る狭い路地には赤や黒、黄土色の壁や骨組みのやや傾いた軒(のき)が並び、それがしっくりしたたたくまを醸し出しています。

クロンボー城と ハムレットの町

読者の中には、この町で一番の名所であるクロンボー城を訪れた方がたくさんいらっしゃるでしょうね。この城は、海峡の最狭部に要塞のごとくそびえ立つ青銅色の屋根が美しいルネッサンス様式の城です。シエクスピアがユトランド半島に伝わる「ハムレット伝説」を戯曲化した

て、主人公の名前をハムレットに、場所をこの町に設定したのは有名な話です。世界各地から年間約五十万人の観光客が訪れます。

この城の歴史は一四二〇年頃、デンマークのエリック王が最初クロンボー(KROGGEN)と呼ばれた要塞を建設したことから始まります。王はウアソン海峡を航行する船を保護する代償として、海峡を通過する外国船から通行税(一八五七年まで存続)を取り立てました。各代の王によって城の建物や塔が増築され、一五七七年頃に「クロンボー城」と名付けられました。一六二九年、城は火災にあい、クリスチャンIV世が再建。しかし、一六五七年スウェーデンと

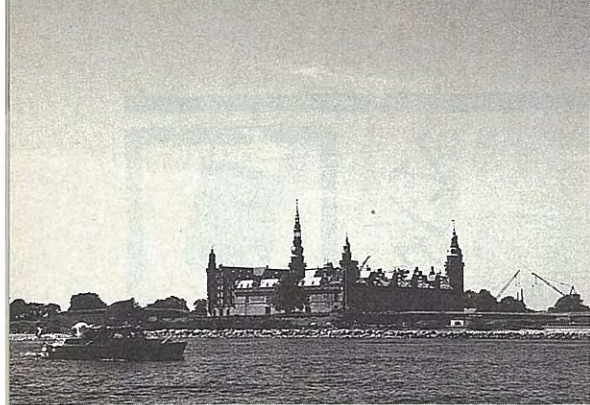
の戦いで城内の貴重品は略奪され、その後は一九二四年まで軍隊の兵舎として使用されてきました。時間があれば是非、海上から城を眺めることをお勧めいたします。

二十年前から城の外では毎年、デンマークや英国の俳優によりハムレットの野外劇が行われていました。この数年間、劇は気まぐれな天気であれ無しになり、今年は残念ながら中止です。余談ですが、あの映画「ダンス・ウィズ・ウルブス」のケビン・コスナーが、ここでハムレットを演じる話もあるのです。

そして、六月十日にめでたく銀婚式を迎えるマルガレーテ女王夫妻の銀婚式行事の一環として、六月九日にはクロンボー城の舞台広間で、ヨーロッパの王族や元首を招待して晩餐会が開かれます。ヘルシンガーマ市から御二人へ銀婚式の贈り物がありますが、それは城で晩餐会のある夜にクロンボー城を照明で浮かび上がらせようというアイデアです。今、その募金が行われています。

六月に控えた女王の銀婚式の話は、秋の号にお送りいたしますね。

【編集部から】本原稿は五月二十二日に届いたものです。



海上から眺めたクロンボー城。国内にあるルネッサンス様式の建築の中で、一番美しい城



北ヨーロッパ最大の舞台広間、ここで6月9日女王の銀婚式を祝う晩餐会がある



ホテルアルファ・サッポロは世界をもてなすホテルオークラチェーンのひとつとして満ちたりた時をお約束します。ゆったりと広い客室、多彩なレストラン、スイミングクラブ、プレイボーイクラブ札幌など充実した施設と真心こめたおもてなしで、お迎えいたします。

ホテルオークラチェーン
Alpha
ホテルアルファサッポロ
060 札幌市中央区南1条西5丁目
ご予約・お問い合わせ / TEL (011) 221-2333

最高のくつろぎを、
札幌で

海外からの便り



ムンクと彼の生きた時代

在ノルウェー・オスロ市

木村博子・イェルセツト

ムンクの生い立ち

この四月四日から五月十日までの間、札幌市の郊外の「芸術の森美術館」でムンクの作品展が開催されたのですが、皆様は御覧になられたでしょうか。今日は、ムンクと彼の生きた時代についてお便りしようと思います。

エドヴァルド・ムンク（一八六三～一九四四）は、五人兄弟の長男として生まれましたが、五歳にして母を結核で失い、その母亡きあと、子供達の面倒をみてくれた叔母と、由緒ある良家の出でありながら貧しく

厳しかった軍医の父のもとに育ちました。父の希望で技術専門学校へ行っていたのも退学し、一八八一年には美術専門学校に入學、その翌年には、当時の芸術界に新風を吹き込みそのトップレベルにあった画家のクリスチャン・クログのもとに学び、二年後から「秋展」に出展しだしました。

彼の才能を認めた当時のクリスチヤニア（現在のオスロ）の文化人の計らいで、最初、一八八五年に三週間ほどフランスに留學し、その後次々と何回も外遊し海外を転々としたことが、そのことで一部の人間から文句が出たというエピソードもあります。

繊細で無口 孤独な芸術家

国会議事堂の隣にある「ブランド・カフェ」の西側の壁画は、洗礼の儀式にムンクも立ち会った、その息子のペール・クログによって一九二八年に描かれたものですが、ここは一八九〇年代には「クリスチヤニア・ボヘミアン」と呼ばれたインテリグループのたまり場で、社会批判・反体制的で、退廃的で自由主義でラディカルな人達が集まっていた、「良家の子女の来ない所」だったそうです。

ちよろど戯曲家のヘンリック・イ

プセンが入口から入ってくるところが描かれています。当時の国際的な文化人であったイプセンのために、この入口に近い窓際に彼専用の席が設けられていたそうです。窓にもたれかかって、目をつむっている若者がムンクですが、ここでも、繊細で無口で、あまりつきあいのない孤独な芸術家だった彼の性格が、よく表われています。

世紀末と ジャポニズム

ムンクの描く世界は、暗くて陰鬱で、愛と死と病氣と狂気のみだと言われます。当時肺結核はノルウェーの国民病といわれていたそうですが、五歳にして母を、十四歳の時には大好きだった姉も同じ病気で、後には弟のアンドレアスもそれで失った彼の生い立ち、死と病への絶え間ない恐れ、父の陰鬱な性格と厳しさ、内向的な性格と不幸だった女性との関係等を考慮してみると、うなづけるものがあるように私には思えるのですが……。

それに忘れてならないのは、当時のノルウェーおよびヨーロッパにお



ける文学・芸術界の動向、「世紀末」(fin-de-siècle)と呼ばれた当時独特の思潮も彼の思想的環境として多大な影響を与えています。

また、ちよろど先世紀末の頃から、「オリエンタリズム」に続いて「ジャポニズム」と呼ばれた東洋ブームが一世を風びして、西欧とあまりにも掛け離れた、エキゾチックで新しく開かれた東洋への興味が爆発していました。浮世絵収集や着物や扇子への興味は、芸術家の間では当然で自然であったようです。

パリにはそのような古美術品の輸入を専門にしていた商人もいて、なかでも、岡倉天心が校長であった東京美術専門学校で後に西洋画科を開いた黒田清輝を法律の勉強から絵画に転向させた林忠正は有名です。かのヴァン・ゴッホも、一八八五年頃から浮世絵を収集しだして、翌

年にはパリでロートレックやベルナールや印象派の人達にも会っており、その頃から浮世絵のモチーフに基づいた「ジャポネズリー」の油彩を描きだしていますが、広重のモチーフに基づき、漢字の真似までしている『ジャポネズリー・花咲く梅の木』（一八八七年）はあまりにも有名でご存知の方も多いと思います。

文化人との交流 と彼の作品

また、当時の文化人達は一つの分野に限定しないで、芸術家・作家・文学者の間の交流もあつて間接的ではあつても相互に影響し合っています。クログは絵を描き本を出版し、イプセンも絵を描き、ムンクも自分で短編小説や自伝的文学とも日記ともいえるようなものを多くのこしています。

ムンクが作家や思想家等から受けた影響は、一般にはあまり知られていませんが、イプセン、C・クログ、イェーゲル、ストリンドベリ、プシビシエフスキー等との交流がありましたし、北欧やドイツの文化人やフランスの芸術家、作家からも強



ムンク美術館(オスロ市)

い影響を受けています。彼は油彩でニーチェの肖像画を一九〇六年に描いていますが、彫刻家のロダンをはじめ、ドストエフスキーやニーチェに対するムンクの敬意も多大なものだったそうです。

ムンクの絵は暗くて陰鬱だとよく言われます。けれども、彼には色々な面があり、ドイツ・ゲルマン的な重苦しさだけでなく、フランス印象派独特の繊細な光のニュアンスと明るい外光の扱い方とあの軽い筆のタッチ、それにフォーヴィズム的な面もあります。パリ時代の作品もあれば、あのキラキラする海面を見るかのような錯覚を与えるオスロ大学講堂の『太陽』もあります。

表現主義の先駆といわれるムンク。そして後期の作品に見られる独特な落ち着いた諦観と、自己をも、対象をもある種の距離をおいて凝視できるゆとり。その枠や形式こそ違いますが、私にとってムンクの絵は、グレート、シエイクスピア、ドストエフスキー、ニーチェ、イプセン等の作品を読むときと似た、生命の凝視、あるいは「人間の存在の条件」とでもいうものを見せてくれるように思えます。

心のかよう広告づくり

企業と生活者の究極の利益は、正しい情報の伝達と、思いやりのある心のかよい合いから生まれます。博報堂の願いも、正しい情報を伝え、心のかよい合う広告をつくることです。

博報堂

広告相談室 (03) 3240-7777 / 電話番号案内 (03) 3240-8111
東京・大阪・名古屋・福岡・札幌・仙台・新潟・静岡・広島
高松・那覇・金沢・京都・鹿児島・松山・岡山・神戸・富山



読みましよう郷土紙

北海タイムス

カラー紙面で

グンと充実

560万道民と

密着する

タイムス

いま!

熱い視線を

あびている

月決め朝・夕刊セット
3,100円(消費税込)



北海タイムス社

札幌本社：札幌市中央区南1条西10丁目 ☎代231-0131
旭川本社：旭川市6条13丁目 ☎代23-4171
東京支社：東京都中央区銀座5丁目10番2号銀座中央ビル7階 ☎代572-1101
大阪支社：大阪市西区江戸堀北通1丁目岡田ビル4階 ☎代443-4221
道内支社：小樽、石狩、苫小牧、函館、岩見沢、倶知安、滝川、帯広、深川、北見
道内支局：江別、余市、岩内、千歳、静内、浦河、根室、士別、名寄、稚内、紋別、富良野、留萌

北の花

ハリギリ

製材名はセンノキ



(写真は朝日百科「世界の植物」から)

新芽を生でかむと特有の機械油臭さが舌に残り、何とも嫌な味がする。英語でフリクリ・コスター・ツリーつまり「刺のあるヒマシ油の木」と呼ばれるのも故なしとしない。が、これも山菜の一つ。山菜愛好者はほろ苦さや歯ごたえを好むものだし、他人の舌のことはとやかくいえないが、ゆで方が弱いと油臭さが抜けない時もある。属は異なるが、山菜の王者とされるタランボやウドとは同じウコギ科の木。ハリギリも人の口にされながら、そのにおいからかイヌダラ、クソダラ、アクダラなどと芳しくない名前が並んでいる。

対し、ハリギリは樹皮が黒に近い褐色で、深い裂け目が走り、かなり荒々しい姿。高さも二五センチ、太さ二センチになる。枝は太く、鋭い刺がつくが、この刺は当年枝が中心で二〜三年もすると脆(もろ)くなり、棒でこすつたりすると簡単に落ちる。葉は大きく、天狗の団扇(うちわ)のようにつくり。花は淡黄色なうえ、高い当年枝の先につくのと小さいので余り見栄えもしない。果実は径五センチほどの液果で、ウド、タランボとほとんど変わらない。しかし、材は大きな寸法がとれるし、なかなか有用。少し黄色味と光沢を持ち、それに柔らかく、軽く、木目も美しく、キリに似ている。このためハリギリの名がある。また、センノキ

とも呼ばれる。これは材にした時の名前、ウダイカンバの製材をマカバというのと同じ伝である。使い道も建築、土木材のほか家具、建具、船具、楽器、彫刻材と幅広い。アイヌもこの木をアイウシュニ、刺のある木といい、大は丸木舟、臼、杵から小は盆、木鉢など日用品づくり利用した。

ところで、センには二種あるようだ。イシセンとヌカセン。戦後の物資不足時の昭和二十三年、石不足を補うため営林署から部落単位に自力伐採、搬出を条件に薪山払い下げがあり、部落民とともに二カ月ほど北竜町和奥の小豆沢にこもり、伐採作業をしたことがある。その折、部落民や地元の人、この両者

を明白に区別していた。ナラ、ホウノキにもイシとヌカがあるそうだ。何分まだ学生時代なので、どこが違うのか、その用もなかったが、イシセンは材が白く、固く、重く、木目が荒く、板にしても割れたり、反つたりするので土木材、枕木程度にしかならないとの話。江戸時代の古川古松見の『東遊記』に「この木は石になりやすい。このため踏石にする」とあるのはイシセンの方か。これに対しヌカセンはカンナをかけるにキリに似たツヤが出るといっていた。特殊用途を持った木でもある。合板用材としては世界の一級品。つい昭和三〇年代までホワイト・アッシュの名でこの合板が高級ドア材として盛んに欧米に輸出された。塗料をかけると一段と美しさ増す特技の持ち主だからである。

下駄材としても見逃せない。明治末年から大正半ばには、その需要も大変なものであったようだ。業者の間ではヤマギリの名。帯広営林局編の『東北北海道の林業』によると、明治四二年には本道から丸太や幅三・五寸、厚さ一・七寸、長さ六〜九尺のいわゆる下駄樫規格で八二万八

四〇〇石が移出されたといっている。キリよりも重いのはやむを得ないとして、丈夫さの点では段違いとの評価だったようだ。同時に、生長が早く、天を衝くほど大きくなるのに尊敬が薄かった木でもある。材のきれいなところは別に旧藩時代留木にしたところもない。柳田國男の『遠野物語』でも神木(杉)の裏切者だし、東北地方一般でもその大きさから天狗の休み木といいたが木炭用程度に伐り倒された。材が柔らかく、薪にしても、炭にしても火保ちが悪いためだ。

(寛)

「北方圏」誌執筆者等一覧 (創刊号～第79号まで・数字は掲載号数)

高田 洋子...44
高津 信行...19
高野 和則...43
高野 俊夫...50
高橋 昭夫...59
高橋 揆一郎...62
高橋 賢一...5
高橋 三太郎...39, 73
高橋 茂...45
高橋 進...35
高橋 長雄...34~37
高橋 寿一...54
高橋 英雄...18, 67
高橋 英紀...14~16, 30, 38, 51~52
高橋 松吉...46
高畑 滋...45
高谷 邦夫...34
高谷 尚子...23~79
滝本 幸雄...21
キーステン・田口...22
田口 多恵...39
竹井 清...創
武石 正雄...45
武井 正直...42, 49, 62
竹尾 昌己...30
竹園 尊...21
武田 竜夫...24~25
武田 暹...16
武田 文也...48, 50
竹鶴 威...30
竹中 敏洋...26
竹中 豊...37
武山 弘...12
竹谷 良一...31
竹吉 妙子...41
遠本 外喜治...12, 25
立野 太刀雄...39
立石 リータ...32~33
建部 直文...39, 63
館脇 操...3, 10
棚井 敏雅...13
田中 一郎...39
田中 勝也...33
田中 祥三...45
田中 勉...44~79
田中 鐵雄...69
田中 久...29, 31, 43~45, 50~53, 60, 67
田中 瑞穂...14~17
田中 実...14
田中 稔...35
田中 洋之助...3
谷内 勝子...59
谷口 静司...40
谷口 一芳...37
谷口 博...20
谷山 自子...36
種田 省造...41
種田 諄三...42~53
田上 義也...創, 9, 40
田畑 忠司...17
玉井 武...63
玉井 裕志...15
玉置 肆朗...62
田村 勝利...46~49
田本 憲吾...16
丹野 和彦...25

千代 肇...36
趙 煥 宸...45
辻井 達一...2, 15, 23, 28, 38, 41~45, 49, 51
辻 秀子...13
対馬 勝年...34
津田 光夫...30
津田 美穂子...46
土田 保穂...72
土谷 茂樹...51~53
筒井 京子...31
功 一...78
坪谷 京子...35
手取 貞夫...38
寺内 榮...36
寺内 靖治...46
寺島 栄...43
寺田 一寿男...21
寺田 周史...19
寺西 久遠...5
寺山 省三...25
天下井 清...36
天間 征...9, 16
アイリーン・トイバー...2
土屋 博昭...72
堂垣内 尚弘...創, 2, 6, 8, 9, 14, 18, 22, 24, 26, 38, 50, 51, 57, 東条 猛猪...3, 6, 26, 35, 38, 46, 50, 54, 58, 62, 63, 66, 70, 74
東峰 元次...18, 27
P・トルステンソン...58
富樫 康夫...47
所 哲也...17, 66
戸坂 恵美子...48~49
寿原 九郎...18
柄内 忠男...27
戸部アナ・マリア...10
戸部 智弘...74
富永 慶一...11, 17
富山 和子...9
鳥居 省三...27
鳥山 輝郎...45
トロヤノフスキー...2
中泉 繁...45
永井 秀夫...30
中内 武五朗...7, 18
中川 了之...50
中川 音治...59
中川 信吾...42
中川 敏...11
中川 正男...76
中川 義雄...17
中條 新三...27
仲世古 正之...21, 56
中田 由紀...23
中西 章一...60
中西 真弓...76
長野 京子...40
永野 重雄...3
長野 正...5
中野 達雄...54

中野 北溟...46
中野 正彦...18, 24
中野 美代子...創, 9, 37
長橋 美津子...23
長浜 金太郎...21
中港 嗣哉...52
中村 剛...57~66
中村 悟...19
中村 参郎...32, 75
中村 乃武夫...9
中村 昇...24, 39
中村 美代...9
長屋 和雄...48
波岡 淑子...75
檜山 秀明...77
成田 芳子...25
名和 昌介...51
南部 忠平...29
新妻 昭夫...44
新沼 章...16
サダコ・ニールセン...65
ヤーン・B・ニールセン...65
西川 弘...41
西 淳二...68, 78
西田 良子...28
西村 正一...39
西 安信...31, 37
新田 浩司...2
二瓶 英雄...17
乳井 洋一...32, 26, 44
丹羽 弘吉...41
丹羽 祐而...69
根岸 敏雄...28
根本 隆文...13
グン・ノイマン...72
能條 伸樹...72
能村 優子...51
平野 昌人...31
野田 牧聖...18
能登谷 玲子...3
野々垣 錦一...20
野々垣 哲夫...79
野村 儀行...32
野本 醇...33
芳賀 敏夫...14
芳賀 孝郎...34
芳賀 良一...9, 11, 28
橋場 文俊...37
橋本 進...37
橋本 正雄...5
橋本 禮三...42
ステファン・ハスブルック...15
マーシャ・ハスブルック...43
長谷川 慎一...19
長谷川 正治...6
畠山 武...47
波多野 勲...28
服部 睦作...28
花田 昂樹...50
羽仁 信人...36~37
埴原 和郎...創

馬場 徹代...22
浜垣 実...45
浜坂 優之...13
浜田 正...13
浜波 優...44
浜本 均...77
浜森 辰雄...創
アイバン・バムステッド...55, 65, 70
早川 泰正...13, 16
早川 幸男...39
早川 淑人...40, 44, 45
早坂 不二雄...6
早坂 正吉...16
林 紘司...29
林 耕輔...10
林 茂保...61
林 嘉男...58
原 修...44
原田 泉...61
原田 一典...31, 42
原 美智子...32
ウラジスラフ・バランチューク...43
播磨屋 敏生...20, 22, 27, 32, 36, 39, 47, 55, 71
ステイーグ・バルグ...29
坂東 孝平...27
坂東 徹...50
朴 東琪...43
細井 信宏...30
細川 真理子...74
細田 貴...52
細田 豊...17
細谷 豊之助...18
堀内 敏子...65
堀内 満智子...創
本郷 新...26, 29
本多 貢...37, 46
本堂 藤昭...76
本間 貞雄...16
本間 保...5
前川 姫子...20
前田 政克...47
前田 泰宏...47
牧野 高吉...48
増田 忠之...74
増田 博...36
松井 恒幸...4, 25
松浦 堯...24
有祐...9, 14
松田 一好...5
松田 憲幸...30
松並 順子...59
松原 成樹...36
松原 久雄...77
松本 勇...13
松本 純一...50
松本 博一...5
松家 正...7
真鍋 辰夫...23
馬庭 辰雄...41
圓山 彬雄...50
丸山 敏彦...33
丸山 道子...32
マイケル・J・マンズフィールド...50
ヘンリエデ・ファーウェマン...68
ローレンス・F・ファラー...18
ビーター・フィルコラ...71
深石 一夫...28
深作 浩一...49
福沢 源一...25
福島 尚二...33
福田 徹...46
福田 俊彦...43
福原 眺...5
福原 富士男...76

藤井 英嘉...19, 24, 34
伏木田 光夫...32
藤倉 英幸...39, 71, 79
藤澤 良正...27
藤島 美佐子...47
藤野 俊雄...21
藤野 のり子...26
藤巻 裕蔵...14~17, 25
布施 正...6
二橋 八郎...32
舟木 長蔵...37
古居 智子...67, 69
古川 誠...20, 27, 29, 30~33
古田 敏三...35
古谷 将...42
古屋 伝三...60
ホーコン・W・フレイホウ...50, 67
シャシティ・ヘルクビスト...74
ペーター・ヘルクビスト...74
グドラン・ペンテン...65
ラース・ポウエツトスティン...68
朴 東琪...43
細井 信宏...30
細川 真理子...74
細田 貴...52
細田 豊...17
細谷 豊之助...18
堀内 敏子...65
堀内 満智子...創
本郷 新...26, 29
本多 貢...37, 46
本堂 藤昭...76
本間 貞雄...16
本間 保...5
前川 姫子...20
前田 政克...47
前田 泰宏...47
牧野 高吉...48
増田 忠之...74
増田 博...36
松井 恒幸...4, 25
松浦 堯...24
有祐...9, 14
松田 一好...5
松田 憲幸...30
松並 順子...59
松原 成樹...36
松原 久雄...77
松本 勇...13
松本 純一...50
松本 博一...5
松家 正...7
真鍋 辰夫...23
馬庭 辰雄...41
圓山 彬雄...50
丸山 敏彦...33
丸山 道子...32
マイケル・J・マンズフィールド...50

三浦 辰彦...19
三浦 統子...27
三浦 寅夫...5
三浦 裕...44, 50
三浦 弘...34
三神 章...57
三上 郁子...56
三上 勇...50
三上 一郎...16
三上 賢一...77
三上 顕一郎...20
三上 正一...12~17, 30
水島 健三...43
水野 裕宣...43
水野 守雄...58
水戸 和郎...12
南 順二...30, 52
南 慎一...35
宮岡 伯人...創~3
宮尾 松江...45
宮城 涼...63~69
宮崎 富美...53
宮嶋 勲...8, 14, 16, 21, 23, 38, 41, 46, 50
宮島 忠幸...26
宮嶋 美智子...31
宮野 嘉吉...7
宮本 義勝...12
明珍 美紀...73
三輪 健治...29
向当 良司...7
村井 浩一...18
村上 久美子...40
村上 利雄...76
村崎 恭子...69
村田 吾一...8
村田 早苗...35, 39
村田 博...15
村田 文夫...38
村田 吉雄...28
村野 新助...49
村山 大記...7, 21
妻鳥 守夫...15
持田 潤...45
望月 喜市...25, 31, 40, 60
本村 蒼祠義...12, 16
本山 節也...40
森 巖...7, 13, 30
守口 恵子...37, 53~54
森田 穰...25
森 直樹...17
森鼻 武芳...2, 7, 24, 36, 50
森 二三男...10
森 松治...25
森本 正夫...12, 54
森 義忠...24
イェッタ・ヤコブセン...51
矢島 睿...68

矢島 武...4, 17
安井 正夫...17
安田 公彦...22, 53
八十島 信之助...43, 45, 51
柳沼 高杉...14
矢野 博...2
矢野 康...創, 4
矢野 牧夫...17, 39, 61, 76
八幡 匠...53
八幡 敬子...57
藪中 紘一...41, 49
藪中 寿治...25
山内 一...33
山内 英世...28, 47, 69
山上 重吉...52~53
山岸 敦子...24
山岸 育代...50
山岸 喬...17, 24
山口 八壽夫...37
山口 直根...15
山口 昭...16
山口 久之助...8
山口 哲夫...2
山口 牧子...61
山口 正直...5
山崎 栄二...23
山崎 孝一...15, 46, 49
山下 章...26
山代 昭三...7
山田 正...17, 36
山田 利雄...20
山田 正憲...48
山田 吉一...13, 22, 23, 53
イングリット・山中...22
山中 燁子...41, 46, 49, 57, 69~70
山中 文夫...2, 13~25, 41~49, 52~53, 58, 75~77
山本 愛子...41
山本 克郎...23
山本 敏...創
山本 信...13, 22
山本 真一郎...16
山本 進...8
山元 直也...21
山本 信雄...27
山本 真智子...21
山本 勇一...34
山谷 幸之助...2
ペア・ヤンセン...56
ヘンリー・ヨー...71
横市 昌昂...19
横川 寛二...9~14, 19, 20~24
横沢 誠一...20
横田 康一...12
マルガレータ・横市...22
横路 孝弘...50, 54
横山 俊久...38
横山 光雄...9
吉井 宜則...32
吉岡 清栄...65
吉岡 忠雄...2
吉岡 道夫...26
吉岡 朗...7
吉崎 恵子...32~34, 38~39, 42
吉崎 昌一...26, 34~37, 42, 48, 53
吉田 耕作...73
吉田 雄次...15
吉野 大仁...46, 54

吉村 亮三...17
四ツ柳 高茂...19
スザンヌ・米坂...70
米坂 ヒデノリ...30
米田 政明...37
米村 喜男衛...4
米村 哲英...7
米谷 哲夫...73
アンリ・ラクロワ...46
ポップ・ラッキー...62
ユゲット・ラブリーズ...58
ブライアン・リッチー...41
龍円 惠喜二...23~25, 29, 32~36, 38, 40, 43~44, 51, 53, 56
グンナー・N・ロネウス...50
チャールズ・ロビンズ...3
リリヤ・イ・ロマノフ...2
若江 雅子...78
若濱 五郎...34, 71
若林 大鬼智...8
若山 誠治...32
和田 定一...60~61
渡辺 貢一...30
渡辺 以智四郎...40
渡辺 左武郎...20
渡辺 信...59
渡辺 善一郎...2, 3, 6, 8, 18, 20, 26
渡辺 主税...64
渡辺 琢磨...41
和田 裕...25
和田 深雪...43
渡部 光男...47
和田 雅之...71
鰐淵 俊之...23
和田内 崇弘...28

【編集部から】
本当にたくさんの方々にご執筆、ご登場をいただきました。厚くお礼を申し上げます。



5月13日

Hon. Titus Alloloo

カナダ、ノースウェスト準州、
州政府大臣（文部、運輸、文化・通信）。



Mr. Craig Hall

同 準州、州政府経済開発・観光省、ア
ート・ディレクター。他2名。表敬訪問。

「ノースウェスト準州の最大の産業は何だ
と思いますか、石油や森林などの天熱資源？
違います。実はイヌイットが創作する美術工
芸品なんですよ」。アルルー大臣はイヌイット
出身。「イヌイット・アートは日本人にも興味
を持ってもらえると思う。札幌でも紹介物産
展を開催したい」と交流促進に意欲的。

5月21日

Dr. Vladimir Nickolaevichi Astafiev

サハリン石油天然ガス工業研究所々長。



Dr. Nikolai Vasilievich Kulikov
同部長。



Dr. Valeri Pavlovich Gnezdov
同主任研究員。
表敬訪問。

「北海道はどんな季節に来てても本当に素晴

らしい」。2月、紋別で行われた国際シンポジ
ウムに続いて今年2度目の来訪。「北海道との
交流促進はサハリンにとって今一番必要なこ
とだと思います。北海道をより理解するため
に同僚を連れて来ました」とアスタフィエフ
氏。北海道への思い入れは相当深い。

「両地域の子供たち同士の交流を実現させ
たい。私たちの研究所が中心となって北海道
の子供たちの受け入れを考えている。これか
ら北海道とサハリンはもっと近くなると思う。
未来の交流の担い手達は子供たちなのだから
…」。

5月27日

H. E. Mr. Magnus Vahlquist

駐日スウェーデン大使。



（財）スウェーデン交流センターの理事会に招
かれ、『最近のスウェーデン事情』と題して記
念講演。

「スウェーデンと日本。伝統と現代を大切
にするという点でとても良く似ています。両
国の良好な関係が一層促進されるよう望んで
います。特に、北海道にはスウェーデン交流
センター、スウェーデン協会、北方圏センタ
ーなどが中心となって、相互に両国の文化の
紹介や交流の推進をされています。この多大
な貢献をして下さっていることに感謝を申し
上げたいと思います。」

6月3日



Dr. Aryeh Blumberg

アメリカ、マサチューセッツ州、ハーバ
ード大学経済学部助教授。経済学サマー・プ
ログラム担当。

表敬訪問。北海学園大学と担当する経済学
サマー・プログラムを推進するため来道。

6月12日

Mr. and Mrs. Jean-Pierre Leng

駐日EC委員会代表部大使ご夫妻。



北方圏国際理解特別講演会「北海道とEC
—これからの展望」の講師として初来道。

「私がEC委員会に勤務しようと思ったき
っかけは、第2次世界大戦でヨーロッパの国々
が互いに戦い、そして傷つけ合ったことを少
年の目で眺めていたことにありました。大学
を卒業してある企業に勤めたこともありまし
たが、ヨーロッパ全体の平和と経済的な復興、
繁栄を思った時、私の歩む道はこれだと決心
したのです」。講演会を終えて、別室での会見
で、「何故EC委員会に身を置かれるようになったか」
の質問に対して、当時を思い出すか
のように、時に厳しく、そして優しく答えて
くれた。

6月16日

Mr. and Mrs. Joakim Hertsgberg

スウェーデン、ノルランド基金前総裁ご夫
妻。
表敬訪問。

6月19日



Prof. Carl G. Fredriksson

スウェーデン、ユーロ・フューチャー社々
長。ウメオ大学国際ビジネス並びに構造変
革講座教授。産業、地域開発の専門家。

Ms. Malena Gyllensward

長谷川和子さん

駐日スウェーデン大使館商務部商務官。

表敬訪問。スウェーデン通産省は海外から
の投資の奨励に伴って早期の情報入手のため
に、昨年ストックホルム以外では初めて東京
に「スウェーデン投資事務所」を開設した。

フレデリクソン氏は、今回スウェーデン政
府によって、スウェーデン側の問いかけに対
する反応、また、他の諸国の現況を調査し、
比較検討するため来道。

読売文化センター札幌講座ご案内 受講者募集

講座名	講師	曜日・時間	受講料	講座名	講師	曜日・時間	受講料
池坊いけ花	池坊札幌支部長 杉原青坡	月 10:00~20:00	4,000円	大正琴	琴名流指導師範 三村徹	金 13:00~15:00	3,000円
専正池坊いけ花	専正池坊教授 長谷川景仙	火 13:00~20:00	3,000円	現代尺八教室	竹峰会会主 峯喜勇好	月 18:00~20:00	3,000円
小原流いけ花	小原流一般家元教授 武田妙華	土 14:00~16:00	3,000円	民謡・三絃	日本民謡協会札幌平成支部日民助教授 山口タカ	水 13:00~15:00	3,500円
草月流いけ花	草月会 田島正放・田島草放	木 18:00~20:00	3,000円	詩吟教室	日本詩吟学院師範 相沢遥岳	木 18:00~20:00	2,000円
古流松籬いけ花	松籬会札幌支部長 沼辺理汀	水 13:00~15:00	3,000円	江差追分教室	ビクターレコード 松木知一	月 18:00~20:00	5,500円
古流松籬いけ花	松籬会札幌副支部長 田村理鶴	水 18:00~20:00	3,000円	戸塚刺繍	戸塚刺繍一級師範 吉田恵久子	水 10:00~12:00	3,500円
茶道・裏千家	裏千家準教授 堀野宗美	水 13:00~15:00	3,000円	手編み	大蔵編物学院 高橋ムツ子・林玲子	月・木 18:00~20:00	2,500円
茶道・大和遠州流	大和遠州流教授 大谷紫光	水 18:00~20:00	3,000円	機械編み・手編み	幸あみもの教室 矢野目幸子	水 18:00~20:00	3,000円
フラワーデザイン	日本フラワーデザイナー協会本部講師 佐々木芳子	木 13:00~20:00	4,000円	レザークラフト	野ばら会主宰 内山桂子	金 10:00~15:00	3,000円
アメリカンフラワー	アメリカンフラワー協会教授 佐藤ハル子	金 10:00~15:00	3,000円	創作人形	エレガンスドール 藤本玲子	月 10:00~12:00	3,000円
リビングフラワー	評議員 佐藤恵子	火 18:00~20:00 木 13:00~20:00	3,000円	創作人形	エレガンスドール 武野昭子	金 18:00~20:00	3,000円
漢字書道	全道書道展委員 山根昭鳳	火 10:00~12:00	3,000円	深雪アートフラワー	飯田深雪門下師範 三谷礼子	金 18:00~20:00	3,000円
漢字書道	道書道展審査委員 石田壺城	木 18:00~20:00	3,000円	和紙ちぎり絵	彩の会主宰 北川香彩	木 18:00~20:00	3,500円
総合書道	書道院理事・道展全道展審査委員 小黒秋峯	火 18:00~20:00 木 13:00~15:00	4,000円	パンの花	JFS支部長代理 中口裕子	火 10:00~20:00	3,000円
ペン・毛筆かな書道	道書道展委員 奥村素紅	水 10:00~15:00	2,000~4,000円	囲碁	札幌囲碁センター 村上公昭	月 13:00~20:00	3,800円
ペン習字	日本現代書道ペン学会指導員 斎藤快	火 13:00~15:00	3,000円	カラオケ教室	ハル音楽院 ジョージ広田 山村優子	水 13:00~15:00	4,000円
水墨画	池内流常任理事 黒川采花・宮石恵舟	月 13:00~15:00	4,500円	きもの着付	京都着物コンサルタント 上村敬子	木 18:00~20:00	3,000円
油絵教室	新道展委員 小林暁	水 18:00~20:00	3,000円	洋裁(ドレメ式)	長部モード・サークル主宰 長部芳子	水 10:00~12:00	2,500円
特効女性ヨーガ	特効女性ヨーガ教室 イトウキョウコ	火 10:00~12:00 水 18:00~20:00	4,000円	チャイルドウエア	長部モード・サークル主宰 長部芳子	火 10:00~12:00	2,500円
健康ストレッチヨーガ	日本健康ヨーガ協会 理事 永沼秀章 師範 渡谷和子	木 10:30~12:00 木 13:00~14:30	4,000円	心理分析入門	交流分析士准教授 鈴木久子	金 10:00~12:00	4,500円
太極拳	全日本太極拳協会本部公認コーチ 森豊貴	水 18:00~20:00 土 16:00~18:00	3,500円				
十文字式健康体操	指導員 斎藤昇	火 13:00~15:00	3,000円				
社交ダンス	しもとりダンス教室 しもとりただし	月 10:30~12:00 木 18:30~20:00	4,500円				
社交ダンス	H.A.T.D.会員 塚田正三	金 13:00~15:00	4,500円				
音羽流菊乃会日本舞踊	北海道本部教授 音羽菊年	水 13:00~17:00	3,500円				
音羽流新舞踊教室	菊巴会舞踊研究所教授 音羽菊巳	火 10:00~12:00	3,500円				
花柳流日本舞踊	花柳流喜衛文会主宰 花柳喜衛文	月 13:00~20:00	3,500円				
幼児・子ども日本舞踊教室	花柳流喜衛文会主宰 花柳喜衛文	土 14:00~16:00	3,500円				

■入会手続/入会金1,200円、消費税30円の計1,230円を添えお申し込み下さい。いつでも受講できますが、講座が満員の場合は途中からの受講はできません。なお、常設講座の開設及び会場などでの会議室利用の相談にも応じます。

お問い合わせ・お申込み先
読売文化センター札幌事務局
 札幌市中央区北4条西4丁目
 読売新聞北海道支社内
☎(011)231-7611 内線268

4月8日



Mr. Daniel F. Burton, Jr.
 アメリカ競争力評議会副会長



Mr. Howard F. Rosen
 アメリカ競争力政策評議会理事

道経営者協会、札幌アメリカン・センター及び北方圏センターの共催で開催された「日米競争力セミナー」の講師として来道。
 「アメリカにおいて競争力が論じられ始めたのは日本たたきのためではなく、国内資源をもっと有効に生かそうという考えからだ。そして「この問題では市場開放を含め、日米がもっと話し合い、相互理解を深める必要がある」と二人は力説した。

4月14日

Mrs. Laverna Salloum
 カナダ、アルバータ州エドモントン在住。
 訪日コンサルタント
 親善使節団团长として一行27名と来訪、表敬訪問。

4月17日

高風太氏
 中国黒竜江省国際旅行社ハルビン分社社長。
 同分社日本部長、職員と来訪、表敬訪問。

4月20日

楊偉氏
 中国黒竜江省海外旅游総公司副社長。

石興龍氏
 同総公司日本部々長。

表敬訪問。黒竜江省からの相次いで来訪は、「国交回復20周年を記念して喜んでいただけるコースをたくさん用意しました。北海道の方々にもっと中国、黒竜江省に来ていただきたいのです」。

Dr. Tjeerd de Graaf
 オランダ、フローニンゲン大学言語学部助教授、表敬訪問。

5月1日

Mr. Artto Pelander
 フィンランド日本トレーディング・コンサルタント。札幌在住。表敬訪問。

前フィンランド大使館商務官。日本とフィンランドとの貿易拡大の調査に携わってきたが、この程札幌に貿易コンサルタント事務所を開き、フィンランド大使館商務部や本国のフィンランド貿易協会のために両国間貿易の拡大に努めている。10月に札幌で開催する「フィンランド・トレード・ショー」などについて説明のため再訪。



在札幌カナダ名誉通商代表
(北海道銀行取締役相談役)

森鼻 武芳

今年、フランスのアルペール・ビルで開催された冬季オリンピック大会カーリング競技に、帯広の女子チームが日本代表として出場、各国の強豪を相手に健闘した。まだ正式種目にはなっていないが、参加国チームのプレーをテレビで観ながら、その高い技術と頭脳戦略の見事さにあらためて驚きを感じた。

カナダで老若を問わず盛んなこのスポーツは、重さ約二十kgの花崗岩でできた円盤型の石（ストーン）を四十mほど前方のリンクの端にある円（ハウス）の中に入れ、得点を競う。ストーンがクルクルと回転（カール）しながら氷上を滑っていく様子から「カーリング」と呼ばれている。アメリカで初めて紹介された時は、髪をカールする美容大会と間違われ、女性達が押し寄せたという話を聞いたことがある。そのせいでもあるまいが、今のところアメリカはあまり強くはない。カーリングは歴史的にも古く、十六世紀初頭にスコットランドで始まり、カナダで花開いた。

このカーリングを道内に普及させようと考えられたのは、前知事の堂垣内さんである。気候、風土がカナダと似ている北海道に取り入れたいので、中心になってほしいとのお話を私にされた。昭和五十年代の前半である。その時は、戸外の氷の上で簡単に出来るだろうぐらいに軽く考えていた。

ところが実際に取り組んでみると、これがなかなか難しい。今でこそ常呂町に立派な屋内専用リンクが作られているが、当初はリンク作りの技術も未熟で、しかも屋外。ストー

カーリング今昔

ンがガタガタと揺られて波打ち、コースから跳び出したり、気温が上がると氷がとけてプレーが不能という有様だった。カナダでは、設備の整った室内リンクで一週間も続けて大会が開かれ、前売券が飛ぶように売れる。日本も早くそうなるってほしいと、しみじみ思った。

新しいスポーツだけに、ルールの普及にも苦労した。昭和五十五年、初めての指導者講習会には、アルバータ州政府から元世界チャンピオンのウォーリー・ウースリアック氏を派遣してもらい、基本から教えを受けた。受講者は六十歳を越えた方から若い人まで幅広く、カーリングが老若男女を問わず楽しめるスポーツであることを物語る顔ぶれであった。

また、アルバータ州政府からは、昭和五十六年に見事な優勝カップが寄贈された。高さが一・一mもあり、優勝チーム名を刻むプレートが四十枚もある。一年一チームとして、全部埋まるのに四十年もかかるというカナダならではのスケールの大きさに、すっかり感心してしまった。この優勝カップを目指しての大会は、今年で十一回を数える。

道内の競技者（カーラー）も三千人を超えた。競技レベルも最初の頃から見ると、格段の進歩だ。六年後の長野オリンピックでは、カーリングが正式種目になる可能性もある。そうなれば、道内のチームがオリンピック・メダルを獲得するというのも夢ではない。道庁や北方圏センターのご指導をはじめ、各地のカーリング協会のご協力があったから、ここまで来られたと感謝している。



在札幌フィンランド名誉領事

中野 正彦

フィンランドを訪れた方々からいつも聞くことは「街のたたずまいが、いつ行っても変わっていない」ということである。私も二十年前に初めて訪れて以来立場上十数回訪れる機会があったが、本当に同感出来る。フィンランドは激変する世界情勢の中で国民性として培われたバランス感覚として、変えてはいけない何物かをしっかりと把握して国是としていようと思われる。

フィンランドは一千二百六十九年の長い国境で旧ソ連邦と接していたこともあって、第二次大戦、そしてその後の冷戦状態という厳しい現実と東西陣営の狭間で、国土の安全、国民の自由独立を守り続けてきた。そして地理的条件を踏まえつつ、世界の平和と安全のため積極的に東西対話の促進に努めてきた。とはいえ、どちらかというソ連寄りのフィンランドを指して「フィンランド化」なる言葉が諸国間に流れ、心あるフィンランド人の純な魂を傷つけていた時代もあった。

今日、フィンランドと日本の関係は、民間の活発な親善交流に加え、両国のトップレベルの相互訪問も行われており喜ばしい限りである。

天皇が皇太子のおりに御夫妻で親しくご訪問され、現地の友人達から大好評を得たのも嬉しい。この答礼の意味もあって一九八六年十月にコイビイスト大統領御夫妻のご訪日を実現した。このことは両国の七十年に及ぶ国交の中で初の元首による公式訪問であった。その後、平成二年昭和天皇の御大葬の際、再

フィンランドとの友好親善

度訪日され、大葬の前日忙しい公式日程を割いて、御夫妻で北海道を御視察戴いたのも異例な光栄である。

最初の公式訪問の際、中曾根総理主催の午宴会翌日は大統領主催の午宴会が催された。私も出席の光栄に浴したが、その時の総理の挨拶は心に残るものであった。

ヘルシンキ・オリンピックの際、第二次大戦直後初めて国際的なスポーツの祭典に参加した我が国代表団に対するフィンランド国民の心のこもった歓迎は、国際社会で孤立化していた日本人の国民感情を優しく癒してくれた深い恩に言及した。さらに、世界五大叙事詩の一つであるカレワラを引用し、両国民の心情の中に潜む共通性があることを訴え、シベリウスの素晴らしさ、そして彼を育んだフィンランド人の逞しく、しかも優しい国民性を讃えた格調の高いスピーチであった。

大統領の答辞も、両国民の将来にわたる困難な問題が平和的に解決されることを願い、その目的達成のために共に努力を重ねて行かねばならないという決意を示す、意義深い言葉であった。

今、両国は友好親善の素晴らしい関係が保たれており、非常に喜ばしい限りである。さらに、本年はフィンランド建国七十五周年の記念すべき年に当たり、フィンランドでも、そして北海道フィンランド協会でも有意義なイベントが企画されている。これらの行事を成功させるためのご協力をお願いする次第である。

スウェーデンは日本と同じように、南北に長い国であるが、その凡そ中央部(北緯六十三度)にソレフテオ(Solleftea)という市がある。多くの日本人には耳慣れない名であるが、人口約一万人、美しい渓谷と森林に恵まれた文化都市と聞いている。そのソレフテオ市と、北海道の北の町、オホーツク海に面した枝幸町との間に、現在、温かい友情の交流が進行中で、近く正式に姉妹都市の調印が行われようとしている。真に喜ばしいことである、この国際交流が今後一層の進展をみるよう期待して止まないのであるが、この交流がどのような経緯で始まったか、その最初の出会いの模様について、エピソードをご紹介します。

去る昭和六十三年、私は、かねてから一度スウェーデンの北部で白夜のゴルフを楽しんでみたいと思っていたので、日頃のゴルフ仲間と相語り、訪瑞ゴルフツアーを計画した。旅行社に依頼して調査したところ六、七月であればソレフテオという市まで北上すれば白夜ゴルフが可能ということで、それでは、余り聞いたことのない町ではあるがゴルフは同市にしようということになった。そして帰途は、ストックホルムを観光し、次いでイギリスに渡り、ゴルフの発祥地セントアンドリュウスのコースに挑戦しようという楽しい旅行日程が出来上がった。

幸い、参加者も十名を超えたので、旅行社から特別に添乗員も派遣されることになった。

自発的国際交流 枝幸町とソレフテオ市の出会い

参加者はいずれも私の友人、知人達で、気の置けないグループが出来上がったことを私は喜んだ。その参加者の中に枝幸町の観光協会会長である安田建設の安田正社長がおられた。ところが、出発間際になって、突然、入院中の私の母の容態が悪化したため、残念ながら私は旅行を見合わせる事になってしまった。七月上旬、グループは予定どおり出発した。ソレフテオ市に到着した一行十三人は、市民の関心を惹いたらしい。一行がゴルフを楽しんでいるところへ当地の新聞記者が現われてインタビューを行ったのである。翌日の新聞に「日本人ゴルファー来る」と写真入りで大きく報道がなされた。実は、枝幸町とソレフテオ市との交流の源泉は、この新聞記者とのインタビューにあるのである。

新聞記者の「ゴルフをするためにわざわざここまで来たのか」という質問に、すかさず対応したのが前記の安田社長であった。「いや、ゴルフもさることながら、私は北海道の枝幸町の住民であるが、わが枝幸町とスウェーデンの然るべき都市との間に、姉妹提携を結びたいと思ってここまでやって来たのだ」と、安田社長は極めて自然に、而も、熱気を込めて答えた。この一言は相手を驚かし、また動かした。記者は「御意向を市長に伝える」と約束して去ったが、翌日、実際に、ソレフテオ市長が随員一名を伴って、ホテルに安田社長を訪ねてきたのである。安田社長はこの会見で「これは行ける」と確信したという。

「帰国したら枝幸町長にこのことを報告し、町から何分の連絡をするように取り計らう」と約束し、相手市長も「承知した。連絡を待つ」ということで会見は終わった。安田社長は見事に年来の願望成就のチャンスをつかんだのであった。

実は、私は、安田社長が枝幸町観光協会会長として、カニ祭りなどの郷土行事に国際色を添える意味から、かねてから外国都市との交流を望んでおり、また、枝幸町も日本の国際化の潮流の中で一役を果たしたいと考えていることを聞いていたので、過去において、東京のスウェーデン大使館に姉妹都市の斡旋について打診したことがあった。しかし、大使館当局は「自発的に姉妹都市が誕生することとは望ましいが、官製の姉妹提携をすることはどうかと思う」と、やや消極的な態度であった。従って、私も何かよい機会があればとは思っていたが、ゴルフツアーが現地直接交渉の場になろうとは正直なところ予想していなかった。

安田社長はひそかにチャンスを窺っていたのかも知れない。あるいは、とっさの機転で日頃の願望を思い出したのかも知れない。いずれにしても、枝幸・ソレフテオ間の国際交流の糸口をしっかりと掴んだことは事実である。機を見るに敏、同社長の出処進退の妙は賞讃に値する。

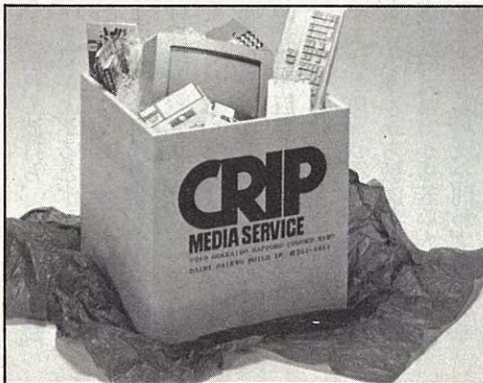
ソレフテオ市長と安田社長との会見の通訳を務めたのは、ソレフテオ市の住民である島

スウェーデン王国名誉領事 平瀬 徹也



本さんという日本人であった。スウェーデンに永住権を持ち、たまたまゴルフツアー一行が宿泊したホテルに現在も勤務しているとのことである。この人がソレフテオに住んでおり、而も、一行が偶然に宿泊したこのホテルで働いていたということも大きな幸運であった。現地語を話し、現地の事情に通じている日本人の存在は地方同士の国際交流には貴重な不可欠とも言える存在である。枝幸町とソレフテオ市との交流が、その後も順調に進んだのは、この人に負うところが大きいのではないかと想像する。

平成元年四月、枝幸町から最初の友好使節がソレフテオ市を訪問した。安田社長もその一員となった。同年六月、ソレフテオ市の使節団が枝幸町を訪問した。団長は同市議会の女性議長エングストロムさんであった。この往来が、両町交流の基礎となり、その後は小中高校生を含む多彩な親善交流が続いており、この七月にはソレフテオ市のオーケストラが枝幸町で演奏会を催すという。また、その機会に正式な姉妹都市提携の調印も行われると聞いている。枝幸町は三浦町長から島山町長に変わったが、交流推進の姿勢には些かの変化もないと承っている。レクサント市と提携している当別町に次いで、枝幸町はスウェーデンに姉妹都市を持つ二番目の町となるが、日瑞両国親善、ひいては世界平和のため、この国際交流のますますの発展を祈って止まないところである。



- 可能性をパッケージングしたメディアボックス。それが私たち。今年もまた新しいデータが、ノウハウが、システムが仲間入りします。よろしく願っています。
- 出版 (定期発行) さっぽろタウン情報(月刊/25日発売) スキー&宿(年刊/11月発売) LEAD(年刊/企業ガイドブック/5月発売) MESH(年刊/シティガイドマップ/2月発売) ●サクセスロード(月刊/繁盛店ルポ(単行本) みんなヒーローだった(発売中)
 - 文字処理ソフト開発と出力サービス ●ニューメディアの番組企画プランニングと編集・データ提供 ●会社案内・営業案内等印刷物ツールの企画・制作 ●ネオライト(発光POP)札幌地区取扱代理店 ●サクセスロード(月刊/繁盛店ルポ・ビデオテープ)札幌地区取扱代理店

CRIPメディアサービス

岩橋印刷株式会社開発事業部
〒060 札幌市中央区南1条西7丁目 第2大京ビル1F
☎(011)261-6011 タウン281-1855 FAX261-6013

スポーツに、新しい意味を加えます。ウェルビー。

WELL BE

フィットネス

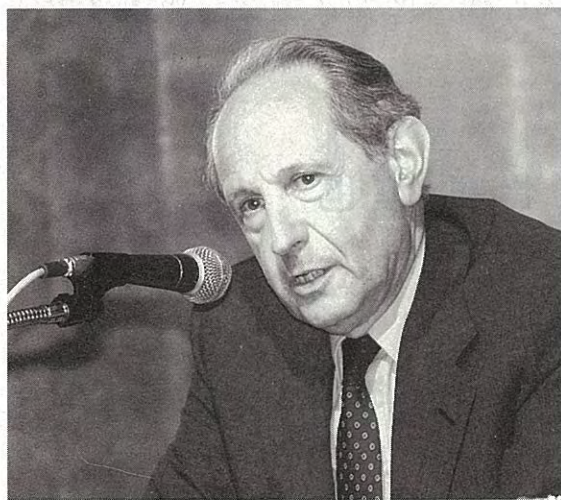
リラクシング

ITAYA SPORTS CLUB

板谷スポーツクラブ・ウェルビー 小樽市花園4丁目17番3号 〒047 TEL.0134(22)3100
本社 板谷商船株式会社 小樽市色内1丁目5番3号 〒047 TEL.0134(34)1118

北海道とEC これからの展望

Hokkaido and the EC-Heading for the future



講師●駐日EC委員会代表部大使

ジャン・ピエール レング氏

通訳●友田真理さん(駐日EC委員会代表部)

主催●北方圏センター 北海道経済連合会

北方圏経済交流協会 札幌国際プラザ

【1992年6月11日(札幌グランドホテル)】

既に皆様ご承知のところでございますが、ECにおいては、今年、一九九二年に市場統合をすべく準備を進めています。この統合が成りますと、国際的に非常に大きな組織体になり、世界史上にとっても大きな出来事です。ECと日本、アメリカの三極の関係は国際経済にとっても大変大きな影響を持つものと考えられます。本日は、EC駐日委員会代表部大使でいらっしゃるジャン・ピエール・レング閣下に当地までおいでを頂き、お話を聞く機会を得ました。

大使は、EC委員会の要職を歴任され、ECについてのエキスパートであるだけでなく、各国間の交渉にも数多く臨まれた経験をお持ちです。国際レベルでのこのように経験豊富な方を、駐日大使としてお迎えしていることは、今後、有意義なアドバイスを頂けるものと喜んでおります。

(主催者を代表して北方圏センター榎原泰明会長の挨拶から)

榎原会長 温かいご歓迎のおこたばを頂きましてありがとうございます。私はEC駐日委員会の大使としております。大使職に就任しまして二年が経ちます。一九九〇年七月、天皇陛下に信託状を奉呈させて頂きました。

しかし、今回初めて北海道に参りましたが、こんなに遅くなったのはミスだったと思っております。今回の私の訪問を、私が北海道を知らないことを埋めるのではなく、皆様にECのことに一層ご理解を深めて頂く機会にしたいと考えております。

実は、私共のEC加盟十二カ国の大使の中には、かなり多くの方が北海道を訪れていることを知っております。そして、各国と北海道の間に、交流のための協会ができています。私も知っています。まず、フランス、

イギリス、イタリア、デンマーク、この国々との間に協会があることを承知しています。

札幌市は、ドイツのミュンヘン市と姉妹都市関係を持っておられることから、ヨーロッパ各都市、各国との交流は進んでいます。しかし、ECと北海道との交流は、私の前任までを含めて十分じゃなかったことは残念に思っております。

日本とECの間には、実は日EC友好議員連盟がありまして、日本の国会議員と欧州議会の議員が毎年会って友好を深める機会があります。それが昨年は東京で開かれました。東京でこの会合が開かれる場合には、東京以外の地域を必ず一カ所訪れることを恒例にしています。それが実は北海道だったのですが、私は事情で来ることができませんでした。また、ECの研修者が北海道に滞

在して、北海道について学んでいることも知っています。これは、欧州ビジネスプラン研修計画というもので、この研修の実施に当たっては、北海道庁や北海道の各企業の方々からご支援を頂いており、この機会に厚くお礼申し上げたいと存じます。

国と国、地域と地域を比較して、どこに類似点があり、どこが異なっているかを見つけて出す作業は必ずしも容易ではないわけですが、北海道と欧州は多くの共通点があります。今回の訪問で私は、千歳空港から札幌まで、ハイウェイを利用し、そこから眺めたのですが、両地域には地形上の共通点があると感じました。そして両地域の二つめの共通点は、全労働人口に占める農業人口の高さにあると思います。ご承知の通り、欧州の多くの国で農業人口はかなり比率が高くなっています。

この共通点は、私と同様、皆様もあまり好ましくないと思われるのかも知れませんが、北海道は対世界で、ECは対日本で、大きな貿易赤字を持っているのも共通点でしょう。また、将来に向けて長期的な展望から、世界の一環を担うべく、経済の成長を計画しているというそのアプローチ、これが両地域の共通点でないかと思えます。ECは、世界でワールド・パートナーとなるべく準備を進めています。

この席では、ECが結束を強化しようとしている、欧州の創設、一つのヨーロッパの創設についてのお話をさせて頂きたいと存じます。どうスタートをして、何がゴールなのかというお話をさせて頂きたいと思うのです。そのあと、ECと世界の他地域との関係、日本とECの関係についてお話ししたいと思います。

財、人、資金が何の障害もなく交流し、機能できることが、

九十二年の明日のECの姿です。

まず、欧州が一つになるため、何をしているのか、これから何をやるのかについてご理解頂くためには、歴史的背景を知る必要があるかと

思います。第二次世界大戦後、何もってECが発足する経緯となったのかについてです。ECの創設は、経済的なプロセスであると同時に政

治的なプロセスです。この経済政治が併設される理由は何でしょうか。第二次世界大戦によって、欧州の大部分の国が、日本と同様戦禍に見

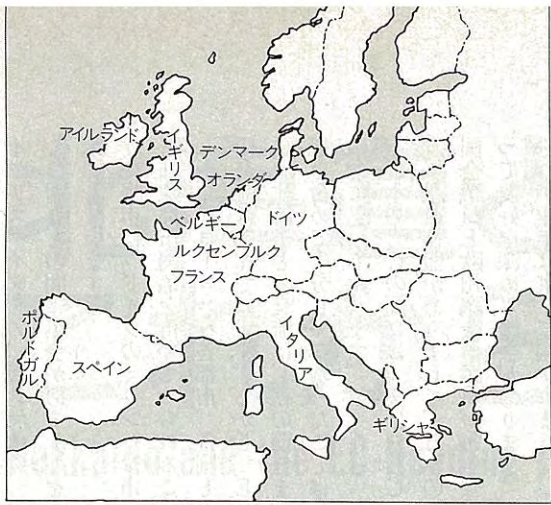
舞われ、荒廃しました。ですから、そこから立ち直る再建のプロセスが必要でした。欧州の戦争は隣国間で行われ、短かい期間に引き続き戦禍に見舞われました。

一九五〇年代に人生を終った方は、フランスとドイツが、この短期間に三度にわたって戦火を交える姿を見ました。そして、日本に対してと同様、欧州に対してもアメリカが再建援助の手を差し伸べてくれました。アメリカは、欧州人の援助について条件を出してきませんでした。それは、マシーナルプランという援助を欧州各国がフランスよく分かち合うこと。そして、各国が経済を開放するということでした。

欧州を再建し、競争力ある経済力を構築するというエレメント、さらに政治的には、欧州の中で永久に戦争を起してはならないという共通の意識が芽ばえました。これによって想像力たくみなアイデアが生まれました。これは、欧州にとってなくてはならないリソースをひとつとところにプールしようということでした。まず、武器製造に必要な鉄、石炭を欧州規模でプールすること。これが基礎になって、より広範な経済的なりソースのプールにつながっていきま

した。そして、プールのものを共通の機関で管理運営する方法が生まれました。現在では経済分野で、将来的には政治的なものを統合しようという動きがこの独立した機関で始まったのです。この機関がEC委員会です。政策を作って取り組む仕事を、各国から独立して行うのです。EC委員会が検討して行う政策を、交渉し、採択するのが閣僚理事会です。これは、各国の利益を保護しながら調整されます。

EC委員会と閣僚理事会に加えて欧州議会があります。これが、EC加盟各国国民の声を代表する機関で



存続して、この形を変えようという声はありません。この三つの機関の存在が、いかに成功裡に運営されてきたかの表われです。

ECの機関は一部のテクノクラートだけじゃなく、各国民一致した考えて推進されてきました。当時は、世界で何か有効な、そして大きなことをやろうと思えば、大陸規模の国



ECのほかにもう一つ民主主義の安定勢力があります。それは日本とアメリカです。

その一つの理由は、歴史的バックグラウンドと関係があります。若い世代、特に二十代―四十代の人々は、

す。このようなECの機関は現在も存続して、この形を変えようという声はありません。この三つの機関の存在が、いかに成功裡に運営されてきたかの表われです。

でなければできなかったという事情がありました。このため、欧州各国が一つになって動くことが始まったのです。

このプロセスは成功を収め、関税同盟ができるのにも時間がかかりませんでした。この同盟を支える農業政策や科学技術などが出来上がって来ました。そして、未加盟の国も関心を示し始め、二十二年間にわたって三回、加盟国が増えてきました。七〇年代には、イギリス、アイルランド、デンマークが加わりました。その後、ギリシヤ、スペイン、ポルトガルが加わり、現在は十二の国でECを形成しているのです。

ECが進展し前進するほど、各国の主権に踏み込む度合は大きくなっていきます。加盟国が増えるほど、主権に踏み込むほど、われわれの仕事はむずかしくなっています。そして、明日のECの課題は、機能でき

それ以上の世代が持つ戦争体験を持つていまいから、欧州を一つにする目的、動機を肌で感じることで

きません。二つめは、「日本を再建する」という言葉がなまじないように、「欧州を再建する」という言葉が実

を伴わなくなっていることです。欧州は、ある程度リッチになりました。先進国ですから、経済を一つにまとめる必要性について強く響いてこないのです。

ECの新しい動きは、人々にさまざまな反応を呼び起しています。

つまり、ECの動きが人々の暮らしに深く関わってくる、そして各国の主権に深く踏み込んでくると、これが必要なことかどうか、人々が自問自答し始めたのです。例えば、通貨の問題とか、自分の国の選挙に外

国人が投票することについて、果たして自分たちが望んでいるのかどうかという事です。マーストリヒト条約において、ECの将来の設計図ができましたが、これは突っ込んだものです。例えば、現在の通貨、フランスのフラン、ドイツのマルク、イタリアのリラ、オランダのギルダーが、近い将来、ECの新しい通貨にとって替わられるわけですね。

また、シチズンシップにも関わってきます。外国人も他国に住んでいる場合、欧州の共通の国民として、その国の選挙に参加することがこの条約に盛り込まれています。これらのことが、自分たちにとって必要なか問うことが起きているのです。非常に興味深く、力を得られることには、これら難しいことがコミッ

トメントされることを承知していながら、多くの国が新たに加盟を求めて、ECのドアの前に並んでいることです。オーストリア、スイス、スウェーデン、フィンランド、キプロス、そしてトルコなどです。

もちろん、一党独裁を排し、共産主義を捨てた中東の諸国もEC加盟に興味を示しています。また、重要な東欧諸国としては、チェコ、ポーランド、ハンガリーがあげられるでしょう。引き続き、ルーマニア、ブルガリア、バルト三国も加盟の可能性は残されています。EC設立の動機は過去のものになりましたが、EC共同体の持つ魅力が薄れないのは間違いない事実です。

一九八九年、ベルリンの壁が崩れ落ちた時に、東欧においてこれほど

の大変革が起きることはだれも想像できませんでした。続く旧ソ連の崩壊もそうです。その後、ドイツがNATOの枠組に留まった形で統一しましたし、その後の東欧諸国の激変もここまでは予想できませんでした。無秩序になった世界の中で、ECは秩序ある安定した勢力として役割を果たして来たのです。

そして、ECのほかにもう一つ民主主義の安定勢力があります。それは、日本とアメリカです。この三極は、より強い結束を持っていかねばなりません。産業の強い基盤、民主主義の制度を生かして、世界に貢献していかなければなりません。そして、日本とECが協力して何をしていくべきかについて、これからお話しをしていきたいと思います。

北方領土の問題についてはECとしても介入する準備がありませんし、その立場を表明してきました...

まず、両地域は相互理解を深めなければなりません。大使に就任以来私は日本の政局をフォローしてきました。世界の動きに日本の国民がどんな反応を示すか勉強してきました。そこでわかったことは、日本が何か

を決める時、最初に念頭に置く国はアメリカということでした。これは、日本に対して、苦情や批判を言おうとしているではありません。

日米関係の強化は有意義なことです。と同時に、日本は、ECとよい

関係を築く努力が必要であることを申し上げたいのです。私は日本駐在の大使として実は大変運のいい大使でした。就任して一年足らずの間に二つのことがありました。一つは、就任直後に、ドローレルEC委員長を訪



日が実現したこと、もう一つは、就任後一年でありませんが、日本とECとの間に共同宣言の調印が実現したことです。これによって、双方が具体的にどのような形でよい関係を創造していくのか、そのメカニズムが作られました。具体的にどの分野で協力していくのが有効かということも、この宣言の中でリストアップされました。宣言で述べられているだけでなく、その中味が具体的に実施に移されていることを申し添えたいと思います。

もちろん現状で満足するということではありません。この七月には、宮沢首相、ドロールEC委員長、そしてEC議長国のメジャー・イギリス首相の三者会談がロンドンで開かれることになっています。このロンドン・サミットでは、両地域の関係がさらに強化されると期待しております。

では、今後において、日本とECが具体的に協力できるものとして、次の五つをあげたいと思います。

第一は、経済、通商面においてバランスを改善することです。これは、北海道だけの問題としてはあてはまりませんが、ECの対日赤字は増大しており、これを改善しなければな



りません。

二つめは、多国間の貿易強化です。二国間の貿易、保護主義を排除していくために、現在交渉中のウルグアイラウンドを成功させなければなりません。ECは、この交渉成功のために多大のエネルギーを費してきました。その一つが、共通農業政策の改革の在り方です。多国間貿易、自由貿易を維持、発展させるために、各国が出血を伴った犠牲を覚悟しなければなりません。こう申し上げたわけではあります。北海道の方、特に農業従事者の方の私に対する歓迎がわからないことを望みます。

三つめは、これも非常に大事なのですが、旧ソ連に対する支援、対策

です。これがプラスに働か、マイナスに働かずに日本、ECの関係にも大きな影響を持っています。旧ソ連からいくつの独立国が生れるかわかりませんが、独裁国家に戻らず、政局を安定させることが必要です。これに失敗すれば日本、そしてECにとっても好ましくない状態が生れると思います。この点から、ECは、対中東、対ソ連への支援の九〇%を負担しています。日本、アメリカの協力を期待したいと思っています。

日本、特に北海道の皆様にとつては、北方領土という歴史的課題を抱えています。旧ソ連の再建に力を貸すことは両地域にとって重要なことだと思います。ご存知のように、北方領土の問題については、ECとしても介入する準備がありますし、その立場を表明してきた経緯があります。

四つめは環境です。環境問題については、すでに多くの貢献をされ、その意志を表明されています。リオデジャネイロの地球サミットでも、両地域は協力して貢献していますが、そのリーダーシップで大きな成果を期待したいと思っています。

最後は、開発途上国への援助の問題です。これまで、日本、EC、アメリカ、中東のことに触れましたが、

アフリカ、アジアの一部については触れておりません。しかし、これらの国々に援助する必要があると感じております。特にECとしては、南隣の国々、つまり北アフリカ、南アフリカの国々のことが気になります。日本にとってはアジアが気になる地域でありましょう。昨今、日本は開発援助のプログラムを大幅に強化してきました。その結果、日本は世界に冠たる開発援助の拠出国になりました。でも、あえていえば、GNP比率においてのODA比率は遅れています。日本はGNPの〇・二五%くらいでしょう。ECは一・〇%を目標に掲げています。金額でいえば日本のODA援助は九十億米ドルで、EC全体の百八十億米ドルに比べて小さいです。努力して開いて頂いた道をさらに広げて頂きたいと思っております。

一時間ほどでしたが、ECが何からスタートし、何をいま行い、何を目指しているかを網羅させて頂きました。ご出席されているビジネス界を代表されている方々、大学、アカデミアの代表の方々、私に今日の機会を与えて頂いたことに感謝致します。ありがとうございました。

新登場

貯蓄預金

おトクに運用される

いつものまにか

貯蓄預金20
貯蓄預金40

信頼と情報の
北洋銀行

Anniversary
EVE DINNER
7月イヴディナー

札幌プリンスホテル開業20周年記念
アニバーサリーイヴディナー

オードブル達の語らい
帆立貝と小海老のセルフエヌソース
魚貝のパイ包み
シヤベット
仔牛のクレピネット包み野菜のバトン添え
デザート
パン、コーヒー

20周年記念価格 ¥3,000
(税・サービス料を含みます。)

8月のイヴディナー	地中海の旅 スペシャルイヴディナーを開催 ¥3,500
-----------	-----------------------------------



お問合せ・ご予約はお電話で、
第2、4土曜・日曜・祝日は休ませていただきます。
TEL.(011)271-6857

札幌プリンスホテル直営
RESTAURANT
PRINCE
レストラン・プリンス

札幌市中央区北3条西7丁目
北海道庁別館12階(北方圏センター内)
営業時間(11:00am~9:00pm)



季刊「北方圏」 20年の歩み

季刊「北方圏」が北方圏調査会によって発行されてから20年が経ち、誌齢も80号を数えるに至った。北方圏構想の具体的な推進に向けて、北海道の持つ課題の解決への提言、北方圏諸国の紹介、そして、各地で繰り広げられる北方圏交流を紹介しての20年の歩みは、北方圏センターの活動の歩みでもある。

本誌では、この発行20年を機会に歴代の事務局長にお集まり願ひ、北方圏構想の推進と発展、さらに歴史と役割について語り合う座談会を企画した。



●出席

- 山中 文夫氏 (北方圏調査会事務局長・在任昭46.4～同50.5)
- 宮嶋 勲氏 (北方圏調査会事務局長・在任昭50.5～同53.5)
- 橋本 禮三氏 (北方圏センター事務局長・在任昭53.5～同54.5)
- 佐藤 直一氏 (北方圏センター事務局長・在任昭54.5～平2.5)
- 司会
山本 孝 (北方圏センター事務局長・在任成2.5～)



山中文夫氏

オイルショックがあった時で、……そんな中で、北海道をどう発展させていくかという(山中)

山本 本誌が創刊されたのは昭和四十七年で、早いもので二十年が経ちました。昭和四十七年という年は、日本では札幌で、アジアで初めての冬季オリンピックの開催、沖縄返還、世界ではストックホルムでの国連人

間環境会議の開催、中国で林彪事件といったことが挙げられます。

そうした状況の中で北海道の新しいビジョンといえる、『北方圏構想』が登場し、動き始めた年でもあったわけですが、当時の北海道の置かれ

北海道をどう発展させていくかということであつたんですね。

宮嶋 毎日新聞北海道発行所の新代表として渡辺善一郎氏が着任された際、地域に貢献するため、北海道の新しい姿をどんな風に形作っていくか、形作つたらよいかということ、社内で話し合いが持たれたのですが、北海道の持つ地理的、地域的な特性である、気候、風土、自然等を基本として人々の生活のあり方や経済のあり方を考えてみよう、これを中心据えて北海道を発展させようとなりました。

当時、北海道経済の微弱さの認識とそこからの脱却を考えますとね、日本の最北の地である北海道の優位性は、海を隔ててすぐ近くにソ連、アラスカ、カナダといった北方圏の国々があることです。その隣国との間で、経済交流、文化交流を通じて北海道の発展を図ろうと考えたわけですね。基本は北海道の発展のために視点を改めてみようというところにあつたわけですね。

山本 地理的条件の優位性を思考しながら、しかも今日まで色あせていない、時代を先取りした発想だったと思いますね。

このようなことをやるには、紙面でのキャンペーンが通例でして、「北方圏へのかけ橋」と題してやりました。しかし、キャンペーンだけで終わらせるのではなく、社団法人という組織を作らなければならぬ。この組織づくりの努力があつて、また、様々の方々の共感共鳴があつて基盤が確立し、北方圏調査会がスタートしたわけですが、初代の事務局長として、山中さんにはいろいろご苦労があつたのではないですか。

当時はスタートして間もないし、何で北海道が、という感じていたからね。(宮嶋)

山本 多くの方々の組織づくりの努力があつて、また、様々の方々の共感共鳴があつて基盤が確立し、北方圏調査会がスタートしたわけですが、

初代の事務局長として、山中さんにはいろいろご苦労があつたのではないですか。

山中 社団法人の北方圏調査会として組織、定款、会員、会費集めなど、本当に多くのことを、短い期間に決めたり、実行したわけですね。今にしてみれば思い出していますね。やはり大変でしたね。それから、先程ちょっと言いましたが、今の時代を見ますとね、北海道はもちろん、日本、世界でエネルギーと環境が問題になっていくと思いますが、二十年前に似ているんですね。二十一世紀に向けて世界のエネルギーをどうするかが頻りに話し合われているし、リオ・デ・ジャネイロで世界環境会議が行われている。よく似ていますね。

織を作り、それを通して道民運動を起したのが、今日の北方圏構想、北方圏センターにつながってきたのではないかと思いますね。

山本 北方圏環境会議が北海道で初めて行われたのも画期的なことでした。

宮嶋 参加国を集めるのが大変だった。今こそ北方圏構想は各国に知られているもの、当時はスタートして間もないし、何で北海道が、という感じていたからね(笑)。

山中 この北方圏環境会議という国際会議の開催は、本当に有意義なことでした。北方圏の各国からの参加者が同じテーブルに着いた。このことは、その後の北方圏交流に大いに役立ったし、内外に北方圏構想の存在と北方圏調査会の存在をアピールしたものでした。



宮嶋 勲氏

ルしたものになったわけですね。

宮嶋 後して私達はさらに、環境会議の後をどうするか、道庁を交えて考えた。会議に出たテーマや提案を現実の道の施策にどう生かすか、道民生活にどう反映させるか、ということについて道の北方圏調査室と協議を続けていたのです。

山本 なるほど、大切なことですね。橋本 そうでしたね。行政の中で北方圏調査室だけが声を大にすることも、道庁全体がこの会議で提案されたことを、例えばスパイクタイヤの問題などはこの時に既に出されていましたが、いかに施策に反映させるかにありましたね。それが、若手学識経験者の集まりである、北方圏交流推進委員会、の設立につながっていました。

佐藤 設立は五十一年ですね。その推進委員会の提言、活躍ぶりは語り草になっていますね。最終的に出された意見書、報告書は、その後の北方圏構想の推進に生かされ、北方圏センターの活動の下敷きになっていますし、推進方針にもなっていますね。

橋本 様々な提言やアプローチがありました。この頃のテーマとして語られたことは、今日においても新



しい北の問題ですね。そして、推進委員会の提言などを、どうやって具体的に進めるかということで、調査会をセンターに移行し、拡大したわ

思い出深いのは「北方圏」誌の表紙の装いを現在のように変えたことですね。(橋本)

山本 北方圏調査会から北方圏センターへの過渡期ということなのですが、大英断だったわけですね。宮嶋 そうですね。北方圏構想の広がりと同時に、具体的な北方圏交流の広がりが相まって、一新聞社所有の機関とするのではなく、さらに大きく全道的な広がりが必要だと考えたのです。

橋本 毎日新聞社の努力をはじめ、渡辺さん、そして山中さん、宮嶋さんの調査会事務局長としての七年間の構想の推進と、組織としての土台



橋本禮三氏

けですが、北方圏構想の推進のために実に多くの方々との結束が図られてきたと言えるでしょうね。

づくりがなされていたことも、大きなことでしたね。道政の柱も「北方圏構想」、本道発展の柱も「北方圏構想」とあるという認識、そして「北方圏」という言葉は、新しいことをやる情熱と北海道の将来の懸かった構想なんだ、という認識が高まり、そして深まってきたと言えます。

山本 そこから、社団法人北方圏センターの発足ということになるわけですが、さて、橋本さんは北方圏センターが発足した時の一年間の在任だったのですが、大変苦労されたとうかがっていますか。

橋本 東条さんをセンターの会長にお迎えしたこと、北方圏センターの新施設オープン、その柿落としての北方圏ジャーナリスト交流会の開催といった行事が続いて、あつと言期間の一年でしたね。ただ、ジャーナリスト交流会は北海道の北方圏構想をアピールするよい機会でもあり、そこで語られた内容も非常に意義深

的な地域にする。三つは、経済交流を含めた広範な交流をテコに北海道を活性化させる。これを柱として活動して来たんですね。

「北方圏」誌の流れを見ても、北方圏センターの活動が時代とともにあった。(佐藤)

山本 確かにそうですね。北海道に暮らす人々の意識が、北方圏センターの活動や協力者の方々の努力によって、大きく変化して来たと言えますね。

佐藤 北方圏調査会、北方圏センターの推進事業については、「北方圏」誌の特集に時代の流れを見ることが出来ます。発刊当初は、先程お話にあったようにサハリン天然ガスの導入、シベリア開発といった対ロシア、またカナダ、アラスカとの経済交流に対する期待があった。北海道の発展に必要な資源の導入に強い視点があつたと思うんです。そして、橋本さんの時代になる頃から、生活に関連する問題が取り上げられるようになった。

橋本 そうです。そのとおりです。佐藤 北方圏諸国には、北海道の抱える問題解決のための知恵や工夫といったヒントがたくさんあります。



佐藤直一氏

そこで「北方圏」誌では、北国に住むという意識と気候風土に合った生活の徹底を図るため、また、交流を通して得られたその知恵と工夫を道民生活に直接還元する、北国としての道民生活の改善のために提言する必要がありますと感じました。まず、寒地住宅とその周辺の問題を取り上げました。次いで道内の衣料産業を巻き込んでの防寒衣料への取り組み、これは協議会や展示、本誌を合わせた展開でした。以降、本道経済活性化の問題、本道の国際化や心の国際化の問題、高齢化社会の問題、等々を取り上げてきました。このように

いものでしたね。それと思い出深いのは「北方圏」誌の表紙の装いを現在のように変えたことですね。それは調査会では機関誌としての位置付けだった本誌を、総合誌として一般への広がりを目指したものでしょう。創刊号から読み直してみても、北方圏に関する問題はかなり研究されている。さらに一層、構想を推進するために、一般道民に理解される必要があると思ひましたね。

山本 何年間分に凝縮したようで大変な毎日でしたね。新施設のオープンや総合誌として「北方圏」誌の発行や組織としても体系付けられ、さらに、道民の北に住むという意識はかなり啓発され、北方圏センターも第二段階に入ったと思うんですが、前任の方々の努力にさらに力を加えてこられたのが、佐藤さんですね。

佐藤 いえいえ、ただ私が着任した時には、北方圏の活動も既に八年が経っていましたから、歴代の皆さんの努力で、建物でいえば土台ができ、棟上げも終わり、外装もできあがっていた。これからはどういいう調度品を揃え、どういう住まい方をするかといったところだったんです。当時の気境専務と何を実践しなければならぬかを色々話し合った結果、三

「北方圏」誌の流れを見ても、北方圏センターの活動が時代とともにあったと言えると思ひますね。

山本 そして山中さんには、サハリン天然ガスとエネルギーの問題について、「北方圏」誌に執筆をお願いしながら、サハリン州オハから天然ガス研究所の所長を毎年招いてセミナーやシンポジウムなども開催しています。

佐藤 そうです、山中さんは調査研究の仕事でもう十年にわたって、エネルギーの問題について報告書執筆の御苦労をお願いしていますが。

山本 そして、この調査研究は、各方面から高い評価をいただいています。橋本 今、サハリン天然ガスの導入問題がクローズアップされていますけれど、北方圏調査会が発足したときの二十年も前のテーマですよ。しかも具体的に、導入のためのパイプラインの付設やパイプの口径まで計算していたんですね。

山中 導入委員会の委託を受けて研究調査をしたのですが、よくやれましたね。(笑) 佐藤 今になって、あの時のパイプの口径はどの位でしたかという、問い合わせもあるんですよ(笑)。大変な先見性です。

OAの未来を提案する

OA情報機器を一室にそろえ、セミナー・スクールを常設。インストラクターがフルサポートするプロショップです。

NEC マイコンショップ
COMPUTER SHOP
Polaris
TEL(011)232-0241

マックファインにおまかせ!

- ★各雑誌、専門誌、各種ソフトも豊富に取りそろえています。
- ★初心者の方でも安心、専任インストラクターがお教えします。
- ★メンテナンススタッフがどんなときにもすぐ対応します。ぜひ御来店下さいませ。

マッキントッシュ専門店
Macfine
TEL(011)233-1402

北海道オフィス・マシン株式会社
札幌市中央区北1条西6丁目(西向)辰星大通ビル

創造的コミュニケーション

情報やモノがハランしすぎるなかで確かなもの新しい価値を発見すること...それが私たちの大切な役割です。広告の投げかけるメッセージ...多様なコミュニケーションニーズに的確にこたえ、私たちは「創造的」なすべてのコミュニケーションをたもちたいと考えています。

SATO PRINTING
佐藤印刷株式会社

本社/札幌市西区八軒1条東5丁目 ☎642-2611
工場/札幌市手稲区曙2条5丁目2番40号 ☎682-5221



山本 まさにその通りでして、二十年の大きなサイクルの中で、今日

本とロシアでやっと思現のきざしが生まれていますものね。

東京から見た北方圏センターの活動、北海道の姿といふのはいかがでしょうか。(山本)

山本 確かに北方圏センターの活動は、その時代々に沿った活動でしたし、「北方圏」誌もその活動に合わせで発刊されてきたと言えますね。橋本 二十年を過ぎてみると、交流そのものは確かに非常に拡大した。北方圏構想は当たり前のことになった。しかし、まだまだ根が深く、北海道には解決しなくてはならない課題も多いですよ。

山中 北方圏構想の当初の目的は、北海道の発展を推進することになりました。課題は多いけれど徐々に進展して来ました。人の交流は確かに拡大しました。しかし、物の交流、つまり経済交流が進展していません。やはり、これを拡大して行かなければなりませんね。

山本 ところで、宮嶋さんは現在東京在住ですが、東京から見た北方圏センターの活動、北海道の姿といふのはいかがでしょうか。

宮嶋 東京では、北海道への期待感是非常に大きなものを感じますね。環境も自然も、これこそ日本に残さ



山本 孝(司会)

れた最後の楽園というイメージですね。それを大切にして開発を進めることでしょうか。しかし、北方圏構想、北方圏センターについてはご存知ない。ですから、これは二十年の歴史を刻んでいると言っていると、皆ビックリ仰天ですよ(笑)。

山本 そうでしょうか。

宮嶋 機会があつて北方圏についてよく話すのですが、企業特に商社の人達が、興味を示しますね。これもやはり北海道への期待感と同時に、地方での国際交流に対する驚きと実績への評価といえるでしょうか。北方圏センターは東京へ積極的にアプ

ローチをする必要を痛切に感じますね。それは会員の拡大にも通じますし、また、情報は東京に集中しています。北方圏に関する情報も北海道だけでは限界がある。そういうアンテナの意味も含めて、東京へ積極的にアプローチすべきではないでしょうか。

道内の大学に単位の取れる北方圏講座を設置して欲しい。(山中)

山本 今、宮嶋さんから北方圏センターへの具体的な提言がありました。が、今後の北方圏構想、北方圏センターについては、お話しただけだと思っております。山中さんはいかがですか。

山中 私は北方圏情報の収集や発信については「北方圏マニユアル」を作つてはどうかと思つてます。輸入や輸出についての質問、住宅についての質問など、経済、生活、文化等々、センターに来る様々な質問に答えるための、マニユアルを作る。加除式にして新しい情報が入ったら差し替えるようにすればいい。最初は大変だが必ず役に立ちます。

山本 北方圏に対する情報センターとしても考えなければならぬことだと思つています。

山中 次に思ひますのは、道内の大

うか。東京には北方圏構想や北方圏センターに興味を示している企業や人々がたくさんおられます。北方圏センターの東京支部を作るのはいかがですか。

山本 なるほど、真剣に検討する必要があるですね。

学に単位の取れる北方圏講座を設置して欲しいということ。色々方法はあると思いますが、一年に三十人が受講すれば十年で三百人、五十年で一千五百人の「北方圏学」のエキスパートが生まれます。しかも全国から若者を集めることができる。格言に「二年の計は穀を植えるにあり、十年の計は木を植えるにあり、百年の計は人を植えるにあり」とありますが、こうして、新しい世代に植えられた「北方圏」の意識は、将来において北方圏交流、北方圏構想を支えていると思つていますね。

山本 極めて斬新的な、興味深い発想だと思つています。北方圏構想の将来を考えますと、本当に必要なことですね。橋本さん、どうでしょうか。

橋本 私は将来に向けて、北海道の課題、北方圏の課題を語るのには、

今一度、第一次産業から考え直すべきなのではないか、また、その時に

来ているのではないかと思つています。北方圏センターがダイナミックなアクションを起こすことを含め、北方圏諸国を、北海道を様々な角度から、視点から見直してみると、第一次産業が浮かんできます。例えば農業問題、これはテーマになると思つていますね。

宮嶋 今の話題に関連するのですが、実は私は、北海道開発懇話会の幹事だったので、北海道の将来に必要な調査研究は何かをテーマに、道内の国公立の研究機関の長の方々に集まっていたとき、二年間の討議で得た結論が、やはり第一次産業、農業の転換で、北海道のこれまでの歴史、自然環境、風土、日本におけ

る役割、全部踏まえて農業基盤を確立する、ということだったのでね。

橋本 やはり、北海道は第一次産業の発展なくしては成り立たない。原点にかえるということですね。それ

グローバルな国際的な協調・協力のあり方について、官民一体となつて努力しなければならぬ時(山本)

宮嶋 橋本さんが言われたように、原点にかえるということですね。二十年を経過し、二十年の蓄積はあるけれど、それが一〇〇%生かされていなくて、現状がある、もう一度、北海道に何が必要なのか、北国の生活の課題をどうしたら解決できるかを考える時ですね。

佐藤 皆さんが言われたことは全く同感です。北方圏交流は北方圏センターのみの仕事ではなくなりました。

と同様に北方圏センターも、設立の原点にかえて、北海道の課題は何か、その課題解決のための方策は何か、を改めて考える時なのではないでしょうか。

道内の市町村、各交流団体の活動も活発になって来ています。北方圏センターでなければやれない、北方圏センターだけが為し得ることをやるとするならば、今日における時代的課題をどう、道庁でもやれない地域的な国際会議とか、調査研究を行い、さらには課題を整理し、時代を先取りしてテーマを掲げて活動していく必要があるですね。そして、北方圏の情報センターとしての機能を

徹底して充実させることだと思つています。

山本 色々示唆に富んだ提案をいただきました。

今、世界に目を向けますと、経済摩擦や民族紛争、環境や難民、そして飢餓の問題などますます混乱を深めています。北海道は、これらの問題を含めて、国際化のための基本計画を策定しております。

北方圏センターとしても、北方圏構想の推進機関として、今後グローバルな国際的な協調・協力のあり方について、官民一体となつて努力しなければならぬ時と考えております。

本日は長時間ありがとうございました。

For Your TravelLife JTB

夏の自由型ギフト。

全国のデパートで顔のひろい商品券。

デパート共通商品券 ナイスショップ



①もらうも便利

全国330店以上のデパートで自由に使える/

②贈るも便利

全国どこでも、お近くにJTBで手軽に買える/
★500円券★1,000円券★5,000円券の3種類がございます。

あの方の最寄りのデパートとは、迷うことなくお贈りいただける「ナイスショップ」。全国330以上の有名デパートで使える、新しいタイプの商品券です。贈られたあの方はこの使い勝手のよさに、細やかなまごころをきっと感じとるはず。愛情豊かな暮らしの贈りものとして、どなたにも大変喜ばれることでしょう。

お買い求めは、JTB、ジェイティービー北海道又は、JTBトラベランド各店へ

日本交通公社

祝「北方圏」創刊20年記念 暑中御見舞申し上げます

社団法人 釧路水産協会
会長理事
大滝重美
事務所 釧路市浜町三番十八号
くしろ水産センター1階
電話〇二五四三二九九七〇番

株式会社 石井組
代表取締役
石井久雄
斜里郡清里町羽衣町三十番地

花と味覚と
歴史のまち
厚岸町

青木建設株式会社
代表取締役
青木辰夫
河西郡芽室町東十一条十丁目一番地

特定建設業
株式会社 大竹組
代表取締役
大竹幸次郎
亀田郡七飯町字桜町一八八
電話〇一三八六五二〇二五

朝日新聞北海道支社
支社長
佐竹昭美
〒〇六〇 札幌市中央区北一条西一丁目一番地
電話大代表 〇〇〇〇〇〇
直通 〇〇〇〇〇〇
FAX 〇〇〇〇〇〇
八八八番番番番

緑と湖海と心のふれあう町
虻田町

株式会社 秋山愛生館
代表取締役会長
秋山喜代

社団法人 新日本建築家協会北海道支部
理事 支部長
大竹昭三郎
〒060 札幌市中央区南一条東三丁目
TEL 〇〇〇〇〇〇
FAX 〇〇〇〇〇〇
二二五二一四八六六

植村建設株式会社
代表取締役社長
植村正志
赤平市東文京町二丁目一番地

北海道青少年科学文化財団
理事長
有江幹男
〒〇六〇 札幌市中央区北一条西三丁目
札幌時計台文化会館五階

富士ゼロックス株式会社
北海道支店長
秋山美晴
北海道支店 札幌市中央区北一条西四丁目
〒060 三井ビル5階
電話代表(〇二二四)一七三二

聖大建設株式会社
代表取締役
大沼栄
網走市大曲一丁目十一番七号

ふれあいあふれる森のまち
遠軽町

丸駒建設株式会社
取締役社長
生駒武
旭川市四条西五丁目

学校法人 浅井学園
北海道女子短期大学
理事長
浅井幹夫
学長
渡邊進
〒〇六九 江別市文京台千三番地
電話 三六八〇一

ダーラナ地方へようこそ

ルック
北方圏



ダーラナ地方はスウェーデンの人々の心のふるさとといわれている。スウェーデンの中部に位置し、シリアン湖を包み込んで、豊かな自然とスウェーデンらしい伝統が最も濃く残っている地方でもあり、国内はもとより、世界の北欧ファンが訪れるスウェーデン有数の観光リゾート地となっている。シリアン湖を囲んでモーラ (Mora)、レットヴィーク (Rättvik)、レック

サンド (Leksand) などの美しい町々が並んでいる。そんな中にひとときわひなびた感じで、それでいて、スウェーデン人でなくとも心の安らぎを感じさせるテリベリーの村がどこかに広がっている。この地方独特の赤錆色の家壁に白い梁はり(窓飾りの家々、そして白い雲と森の緑が美しく映える青い水面のシリアン湖が、訪れる人を優しく迎えてくれる。そこに、テリベリーゴードンという名のホテルがある。ホテルといっても、いわゆるビルが建っているわけではないし、華美な装飾もない。ゆつたりとした敷地内に、オフイスとレストランのある本館を囲むように花嫁のコテージ、鳥の巣の庭、醸造所の庭と名付けられた、この地方の何処でもある昔ながらの家々が建てられ、それがそれぞれ客室となっている。本館の前に、ダーラナ地方の伝統的木工製品の「ダーラ・ハウス」が三頭設置され、国旗掲揚ポールがある。朝六時、民俗



Hotell Tällbergsgården
S-793 70 Tällberg
Sweden • Schweden
Tel 0247-508 50 • Fax 0247-502 00

衣装を着込んだご主人がスウェーデン国旗を掲揚すると一日の始まりとなる。三々五々、朝食のためにお客が本館にやってくる。レストランをききっているのが、やはり民俗衣装を着けた夫人。それぞれのテーブルには独特のスウェーデン刺しゅうが施されたテーブルクロス、梁も天井も木の温もりでいっぱい。『グ・モロン』とこやかに朝の挨拶。
レストランの中央に盛られた伝統料理をそれぞれのテーブルに運んで舌鼓を打つ。窓辺から見えるシリアン湖が美しい。食事を終えると、人々は思い思いに楽しい出会いを期待して観光に出掛けていく。

祝・「北方圏」創刊20年記念 暑中御見舞申し上げます

株式会社 六書堂
代表取締役社長
島田 純一
札幌市北区北三十六条西二丁目

まごころこめた印刷づくり
山藤印刷
札幌市西区宮の沢一条四丁目十六
TEL六六六一七七一六
FAX六六一七七一七三

女満別空港ビル(株)
代表取締役社長
近藤 博
女満別町字中央二〇一

訓子府町
札幌市中央区北六条西十七丁目

JTB 海外旅行札幌支店
支店長
清水 俊一
札幌市中央区北三条西三丁目
大同生命ビル一階

株式会社 博報堂
札幌支社長
塩原 真人
札幌市中央区北一条西一丁目
安田生命札幌ビル

日本道路株式会社 北海道支店
常務取締役
支店長 齋藤 道雄
支店 札幌市豊区水車町三丁目番四号
電話代表〇〇一八三三三番
FAX〇〇一八三三三番
本社 105東京都港区新橋一丁目六番五号
電話代表〇三三五七四八九番

株式会社 河面組
代表取締役社長
河面 富雄
代表取締役専務
河面 孝三
札幌市中央区北六条西十七丁目

占冠村
札幌市

北海道日口友好交流会館会長
(社)北海道日口貿易協会理事長
(株)日ノ貿易会長
筆名 安三
札幌市

北電興業株式会社
取締役社長
酒井 賢一
札幌市中央区北一条東三丁目一番地

フクワ工業 鐵
代表取締役
小仲 直樹
千〇三札幌市白石区南郷通三丁目北二番一
電話〇〇一一八六三三 第三大岡ビル
FAX〇〇一一八六四一 四〇二二

株式会社 道新サービスセンター
代表取締役社長
下田 経
札幌市中央区大通西十八丁目一三〇
道新ビル二階

サフオーランド
札幌市

株式会社 道南土木
代表取締役
佐藤 義春
札幌市東区東山六二五番地

北海道土地開発公社
理事長
今 昭一
札幌市中央区北四条西六丁目
毎日札幌会館九階

祝・「北方圏」創刊20年記念 暑中御見舞申し上げます

愛情豊かな創造的
文化都市をめざして
北見市

株式会社 山二工業
代表取締役
川岸 温
古宇郡泊村大字茅沼村字南坂ノ上五番地六

株式会社 釧路新聞社
取締役社長
片山 睦三
釧路市黒金町七の三

社団法人 北海道私立幼稚園協会
会長
大林 宏文
事務局千〇〇札幌市中央区北一条西六丁目三番一
北海道会館内
電話〇一一二七一四四一四番

株式会社 田中組
代表取締役社長
倉橋 力雄
札幌市中央区北六条西十七丁目

株式会社 東急コミュニティー
取締役社長
川崎 達之
東京都渋谷区道玄坂二丁目
二一 番十四号
渋谷TODビル

花と漫画・SKIかみゆうべつ
上湧別町

株式会社 小川組
代表取締役
小川 為之
北見市幸町六丁目五番七号

北海道造形デザイン専門学校
学校長
栗谷川 健一
札幌市中央区北二条西二十丁目
電話〇一一六四四一三二一(代)

北海道アイスホッケー連盟
会長
河渕 務
苫小牧市新明町三丁目五番九号
TEL〇一四四一五五九一七六

神恵内村
古宇郡神恵内村大字神恵内村八十二番地

空知商工信用組合
理事長
奥山 俊男

株式会社 高木組
代表取締役社長
黒田 憲治
函館市東雲町十九番地十三号

株式会社 北海道新聞社
代表取締役社長
北川 日出治
札幌市中央区大通西三丁目六

開発に開拓の心を
北辰土建株式会社
代表取締役社長
鴨下 公一
北見市北十条東四丁目一番地
電話〇二五七二四一八六二番
FAX〇二五七六一二〇九七番

株式会社 伊藤組
取締役会長
榎原 泰明
取締役社長
伊藤 義郎
本社 札幌市中央区北四条西四丁目
電話〇一一二六一六一二二番

祝・「北方圏」創刊20年記念 暑中御見舞申し上げます

東邦建設株式会社
代表取締役
平位直
本社 帯広市西九条北一丁目八番二号
札幌支店 札幌市中央区北八条西二丁目一

萩原建設工業株式会社
取締役社長
萩原一男
帯広市東七条南八丁目一
〇一五五(〇四)三〇三〇

道新オフセット株式会社
取締役社長
西山光
札幌市西区宮の沢一条四丁目十五番五号
電話(06)六六四一七七七一

旭川商工信用組合
理事長
道本清幸
旭川市三条通七丁目四三番地の三

特定建設業許可
一級建築士事務所
株式会社
広谷五務店
代表取締役
廣谷貢
本社 札幌市東区南一条西八丁目八番一
TEL代表(011)377-3454
FAX (011)377-5069
札幌支店 札幌市中央区北3条西2丁目1番地
カミヤマビル6F

カナディアン航空
日本・韓国支社長
トニー・バックリー
東京都千代田区有楽町一丁目八番一
電話(03)3211-5811(代表)
FAX(03)3211-7677
札幌支店 札幌市中央区北3条西2丁目1番地
電話(011)377-5069

ニセコ町

センチユリー監査法人
代表社員
徳田勲

ホクレン農業協同組合連合会
会長理事
藤野貞雄

日本最北の国定公園
「天売島・焼尻島」
羽幌町

◎岩倉建設株式会社
代表取締役社長
二瓶好美
札幌市豊平区平岸一条十三丁目
アイシービル
電話(011)821-2435

道路工業株式会社
代表取締役社長
中田良孝
〒064 札幌市中央区南八条西十五丁目
電話(011)561-2351

北都道路株式会社
代表取締役社長
藤村洋一
稚内市潮見三丁目六三三
電話〇一六一三三三三三三

東藻琴村

北興工業株式会社
代表取締役
萩 濟
室蘭市入江町一番地の六三

株式会社 新妻組
代表取締役
新妻嵩
帯広市東三條南八丁目一番地
代表電話二一四〇五〇番

祝・「北方圏」創刊20年記念 暑中御見舞申し上げます

愛林のまち
津別町

北海道ノルウェー協会
会長
高橋松吉
札幌市中央区北七条西二十二丁目
高橋水産株式会社社内

東邦生命保険相互会社
札幌支社長
鈴木勲
札幌市中央区北一条西四丁目

社団法人北海道建築士事務所協会
会長
庄司希代彦
札幌市中央区北四条西五丁目
三井生命札幌共同ビル三階

津本宅建開発株式会社
代表取締役
津本増雄
帯広市西二条北一丁目二十番地
電話代表22局二七一一番

東洋電機製造株式会社
北海道支店
支店長
高橋幹哉
札幌市中央区大通西五丁目
(昭和ビル)

株式会社 須田製版
代表取締役社長
須田幸男
札幌市西区二十四軒二条六丁目

初山別村

財団法人 スウェーデン交流センター
理事長
手取貞夫
〒061-37 石狩郡当別町スウェーデンビルズ
ヒレッジ二丁目三番一
電話(011)333-6136

田中医院
院長 **田中章二**
副院長 **田中サイ子**
音更町

ダウ化学株式会社
札幌事務所
所長
高岡義郎
札幌市中央区北一条西三丁目
電話(011)251-3825
大和銀行札幌ビル10F
電話(011)251-3825

北海道にある元気まち
しらおい 白老町

社団法人 北海道開発技術センター
会長
堂垣内尚弘

千歳市

学校法人 美専学園
北海道総合美術専門学校
理事長
高橋英雄
札幌市北区北二十七条西八丁目
電話(011)756-0777

二十一世紀に飛翔する
ふれあいの里
新篠津村

北海道が求めたクオリティです。

北の暮らしの快適性を防寒性や断熱性はもちろん、さまざまな視点で総合的に追求した住まいを——。
 VIVACE[ビバーチェ]は、ミサワホームの考える北方型住宅の新たな基準です。
 たとえば、安全性や経済性ととも高められた居住性。
 そして、長い冬の生活を考慮した、
 開放感あふれる空間設計。さらに街並みと調和しながら、勾配屋根が印象的な外観など。
 北海道の自然環境が、街が、人が求める厳しい条件を、[ビバーチェ]はすべて高水準でクリア。
 このトータル・クオリティこそが、あなたに本当に快適な暮らしをお届けします。



高規格
 [ビバーチェ]は、より快適性を高めるために面積はもちろん、天井やドア、階段にも大きさとゆとりを確保。各室に設けた収納スペースや乾燥室、1・2階のトイレなど利便性の高い空間も盛り込んでいます。これからの北方型住宅の指針となる、暮らしやすさを追求しました。

高性能
 北国で住性能の高さは暖房面や安全性、エコ・エネルギーなどの総合力で決まります。[ビバーチェ]は120mm厚パネルやLOEガラスなどを採用した高断熱・高气密工法。独自のセントラル換気暖房システムの標準設定などで、よりクリーンで安全な温熱環境を実現しました。

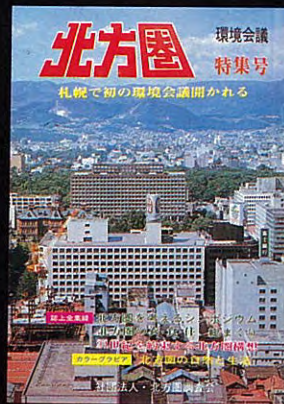
高品位
 勾配屋根とレンガタイル&オリジナルカラーサイディングが織りなすシックな意匠。ブラック破風のアクセント。[ビバーチェ]は、街の景観としても広くアピールする。品位あふれる美しい外観をカタチにしました。街並みのイメージリーダーとしてもふさわしい、ハイグレードな佇まいです。

MISAWA
ミサワホーム
 〒000 札幌市中央区北二条西六丁目三番ビル 011-281-5521
 〒059 札幌市中央区南一条西117番ビル 011-281-5527
 [ビバーチェ]の資料をご希望の方は、おハガキで上記ミサワホームへどうぞ。
 資料請求券「北方圏」第80号 VIVACE

<p>豊かで活力あふれるふるさとをめざす町</p> <p>利尻町</p>	<p>船橋日本旅行 札幌支店長</p> <p>村上昭夫</p> <p>札幌市中央区北二条西二丁目 札幌東京生命館二階 電話代表(011)241-1504番</p>	<p>松本建工株式会社 代表取締役</p> <p>松本節也</p> <p>札幌市東区北八条東一丁目二一</p>	<p>北海道黒竜江省科学技術交流協会 会長</p> <p>古谷将</p>
<p>北海道製罐株式会社 取締役社長</p> <p>輪島嘉視</p> <p>東京都千代田区丸の内二丁目二番二号</p>	<p>花と音楽の町</p> <p>女満別町</p>	<p>一般測量・調査設計・測量調査申請株式会社 ヒロノ測建 代表取締役社長</p> <p>水無瀬明男</p> <p>旭川市五条十丁目右八号・廣和ビル内 電話(0166)251-0012</p>	<p>財団法人</p> <p>北海道河川防災研究センター</p> <p>札幌市中央区南一条西一丁目第二有楽ビル九階</p>
<p>日ノ極東・北海道博物館交流協会 会長</p> <p>渡邊左武郎</p> <p>札幌市北区北六条西六丁目 栗井ビル2F 電話(011)737-1622</p>	<p>千歳土建株式会社 取締役社長</p> <p>山崎紘一</p> <p>〒066 千歳市錦町一丁目一番地 電話(0123)331-9191</p>	<p>太陽と森と湖のまち</p> <p>南富良野町</p>	<p>幌村建設株式会社 代表取締役 専務取締役</p> <p>幌村春雄 司</p> <p>三石郡三石町字蓬栄二二六</p>
<p>株式会社 山三ふじや 代表取締役社長</p> <p>渡部茂</p> <p>千歳市真々地三一一二</p>	<p>社団法人 北海道医師会 会長</p> <p>吉田信</p> <p>札幌市中央区大通西六丁目六番地</p>	<p>毎日新聞社 取締役</p> <p>北海道支社長 宮嶋 勲</p> <p>代表取締役 広多正栄</p> <p>札幌市中央区北四条西六丁目</p>	<p>札幌ヤクルト販売株式会社 代表取締役</p> <p>松園直史</p> <p>札幌市中央区大通西六丁目大通公園ビル</p>

季刊「北方圏」創刊20周年 ● 表紙コレクション

八〇号を迎えた「北方圏」誌。北国の課題解決のために様々なテーマを取り上げてきました。また、北方圏諸国の様々な表情を紹介してきました。この「北方圏」誌の表紙にも様々な表情があります。八〇号のうちの四分の一ですが、「北方圏」の表紙コレクションです。



'74環境会議特集(第9号)昭49.9



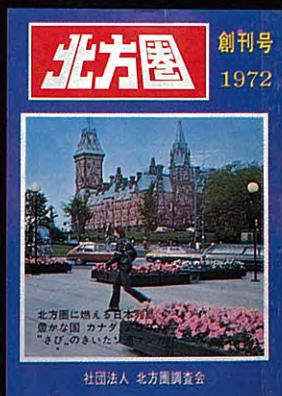
'76第15号 昭51.4



'78SPRING VOL.23 昭53.5



'78SUMMER VOL.24 昭53.8



'72創刊号 昭47.11



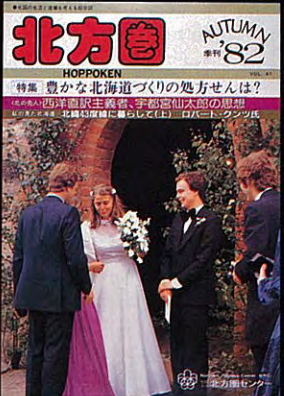
'73新年特大号(第2号)昭48.1



'79WINTER VOL.26 昭54.1



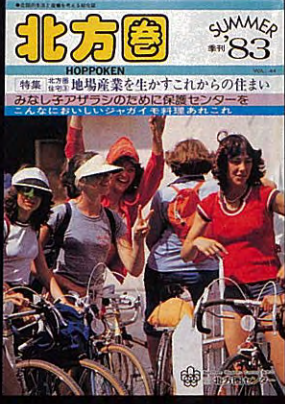
'80AUTUMN VOL.33 昭55.10



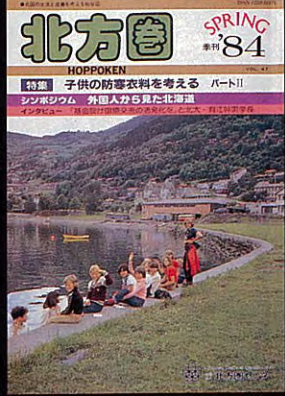
'82AUTUMN VOL.41 昭57.9



'83WINTER VOL.42 昭58.1



'83SUMMER VOL.44 昭58.7



'84SPRING VOL.47 昭59.4



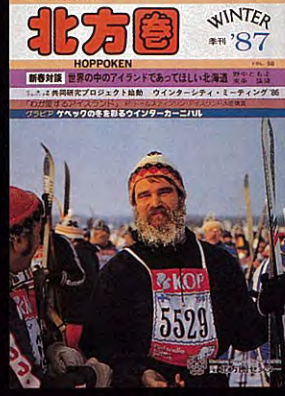
'85SUMMER VOL.52 昭60.7



'86SUMMER VOL.56 昭61.7



'86AUTUMN VOL.57 昭61.10



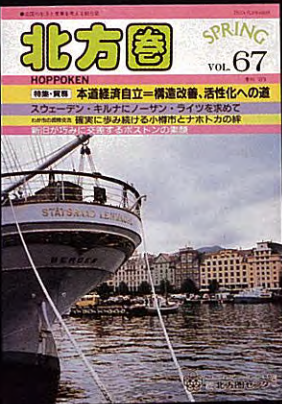
'87WINTER VOL.58 昭62.1



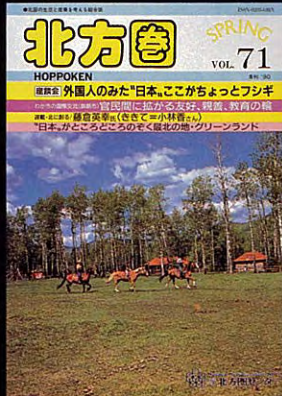
'87AUTUMN VOL.61 昭62.10



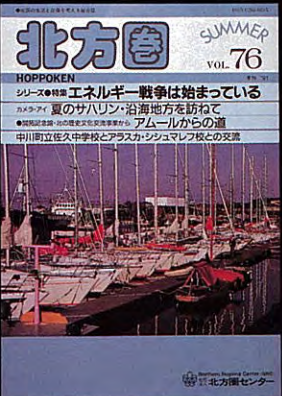
'88WINTER VOL.62 昭63.1



'89SPRING VOL.67 1989.4



'90SPRING VOL.71 1990.4



'91SUMMER VOL.76 1991.7



'92SPRING VOL.79 1992.4

季刊「北方圏」創刊20周年 ● 表紙コレクション



アオサギ

鳥の巣は本来、シークレット(秘密)なものである。外敵に発見されない場所を選んで営巣するもののだが、わざわざ集団で目立つ所に作る種類もいる。海鳥にこのタイプが多い。陸にすむ鳥ではサギ類が代表であろう。アオサギは北海道で繁殖する唯一の種である。また日本産の鳥では最大級の大きさもち、大木の上に集団で営巣する。このタイプの営巣地がコロニーと呼ばれるもので、道内では野幌森林公園、勇払原野、釧路湿原など合せて十カ所ほどのコロニーが知られている。一カ所につき二、三十から百を超える巣が集中している。

コロニー周辺の人たちは、アオサギが春になるとすぐ渡来してきて、冬が間近になると越冬地に渡る事実を知っている。ところがそうでない地域では、まさかサギとは思わず、ツルと信じてしまう人が出て不思議でない。だからタンチョウのすむ道東以外からツル発見の情報が寄せられた時は、「まずアオサギを疑え」が私たちの合言葉になっている。

文・小川 巖
写真・安部 誠典

祝・「北方圏」創刊20年記念 暑中御見舞申し上げます

大北土建工業株式会社
代表取締役社長

荒木 毅

富良野市本町8番1号

旭川北方圏交流協会
会長

小檜山 亨

旭川市常盤通一丁目

財団法人 北海道体育協会
会長

堂垣内 尚弘

札幌市中央区中島公園一番五号
北海道立札幌中島体育センター内
電話(011)5218691番

北海道建築設計監理株式会社
取締役会長

広田 基彦
代表取締役

札幌市中央区南一条西七丁目十五番地
電話(011)2611255

北海道農業土木技術指導協同組合
理事長

石上 勇

札幌市中央区北五条西六丁目
北海道農地開発センター内

北海道開発コンサルタント株式会社
代表取締役社長

佐藤 幸男

本社 札幌市中央区北4条西5丁目1番地
アステ145ビル
〒060-0001 011-0516311

社団法人 北海道舗装事業協会
会長

中田 良孝

札幌市中央区南一条西五丁目六番地
メゾン本府四階

株式会社 北海技研工業
代表取締役

藤原 理

札幌市西区発寒十六条十三丁目 番一 号

北海道インターナショナル
ダンスシアター

小沢輝佐子舞踊団

札幌市白石区南郷通二丁目北三十三
電話 八六一一五九四五
八六三一〇七九五

北海道フィンランド協会
会長

武井 正直

札幌市中央区大通西三丁目十一番地
札幌時計台文化会館五階

医療法人 医仁会 理事長
中村記念病院 院長
財団法人北海道脳神経疾患研究所 理事長
医学博士 中 中 順一

(日本脳神経外科学会専門医)

札幌市中央区南一条西四丁目
電話(011)3218555番代

フナコシヤ産商(株)
ユニオンエステイト(株)
会長 (証券・船舶・土地・建物)

船越谷 浩衛門

札幌市南区川岸六条二丁目二二二番
電話(011)5711220番
FAX(011)5711273番

外科・内科・消化器科・整形外科・放射線科
札幌北橋病院院長
人工臓器・移植研究所

川村 明夫

札幌市白石区東札幌六条六丁目
電話(011)8651011

帯広地方卸売市場
帯広地方卸売市場株式会社
取締役社長

樽見 實男

帯広市西二十一条北一丁目五番地一
電話(011)5543713

株式会社 札幌都市開発公社
代表取締役社長

平瀬 徹也

札幌市中央区南一条西四丁目
(日の出ビル)

歌登産業株式会社
代表取締役

吉田 憲和

枝幸郡歌登町南町四一三番地

「北方圏」の 文明論的定位置は 可能か？

「北方圏に関する基礎研究」から●佐藤直一(旭北方圏センター参与)

はじめに

北方圏構想が道の第三期北海道総合開発計画に登場してから二十一年を経て、北方圏諸国との交流が道内全般に定着する一方、同構想が目指す北方の気候風土に即応する生活、文化、学術、産業の発展は着実な歩みを見せつつある。この構想推進の中核をなす北方圏センターは、この間に多種多様な事業を展開しつつ道民意識の啓発や産業経済の活性化等に資するよう努めてきたが、その活動機能の中で中核的な役割を果たし

てきたのは季刊誌「北方圏」である。この夏同誌は八十号を刊行し、創刊以来二十一年の歴史を画そうとしていく。これまでに同誌が読者に伝えた北方圏諸国や国際交流に関する情報、識者の見解、主張などは多様な分野にわたり、またその量もぼう大なものであるが、残念なことに、「北方圏」を文明論的にとり上げた記事を掲載したことがなかった。北方圏構想について論ずるときは、その理念にふれることは不可欠なことであるが、

これまでのほとんどの見解は「気候風土の類似する北方圏諸地域が交流することによる相互メリットの分かち合い」という目的論から出るものであって、この北方的気候風土において、温帯的文化である日本文化を受けついで北海道がどのような文化を構築するのか、さらには、北方圏諸国、特に北海道が不可避的に目指さなければならぬ西歐的近代化に必要な欧米諸国との交流によって、どのようなものを受け、どのように変容することになるのかという、文化の本質に迫る論議がなされたことはなかった。

いま、ここに紹介しようとするものは、北方圏構想が始動した初期に、旧道立総合経済研究所のある研究員が著した論文「北方圏に関する基礎研究」の要約である。この論文は、以下に紹介するように、「北方圏」がはたして文明論においていくばくかの地歩を築き得るものであるかどうかを究明し、これに一応の解答を与えようとしたものであり、本道の内外を問わずこのような趣旨の論文はほかに存在しない。

ないが、このたび特別の許可を得て、このような形で紹介することになった。前述の「北方圏」誌二十年の記念号に最初の部分を掲載できることは、大きな意義があることと考える。論文は、論旨がきわめて論理的に組み立てられ、その総体が二百八十ページのポリウムをもつものであるため、紹介は、論旨にとって重要と思われる部分を要点的に述べることにしたい。また、この論文には、内外の専門家による理論を紹介し、かつ、それを論旨の展開に借用しているし、論旨もかなり断定的と思われる点も少なくないが、それらの当否、または全体的な論文の評価につ

いては、すべて読者の判断にゆだねることにした。この論文の存在、内容ともに、今回初めて一般に紹介されることになるのであるが、北方圏構想が始動して二十一年間、この種の論議が全くなされなかつたという、文明論不在の時代に幕を引いて、今後の北海道発展の重要な理論的基礎となるこの種の論議が巻き起こるために、この論文紹介が起爆剤の役割を果たすことを願うものである。

序論(論文のねらいと研究の方法)

この研究はつぎの三編の論文で構成されている。第一編「北方圏の文明的成立」(第一章「文明論による基礎的ワク組み」、第二章「社会生態論によるヨコ組み」、第三章「近代化史論によるタテ組み」)、第二編「北方圏の経済的構成」、第三編「北方圏の展開と北海道」がそれぞれあり、著者は「北方圏」が文明論の基礎的枠組みに大枠をはめられつつも、その枠内

で社会生態論と近代化史論の両方の側からの接近から「北方圏」の文明的成立の手がかりを検討している。そして、そこでは、社会生態論は「北方圏」成立に対応する独自領域であり、近代化史論は「北方圏」と「北方経済圏」両圏成立にまたがる境界的領域とされている。それでは、著者がこれらの方法論によって究明しようとした問題は何

であったかについて、要約的に述べてみよう。そもそも、比較文明学による大文明の展開過程は、基礎的価値観の変容により、大きく変遷するが、大文明が正規の文明サイクルを展開し得るのは、その文明が生き生きとした宗教的信仰の時代をもって幕あけするからである。信仰心をエートス(人間の感情や情意的な部分)が自然的素

暑中お見舞申し上げます

江別市

魅力あふれる緑のまちを
創りましょう

滝川市

長沼町

さくらさ
いきいき北の都

名寄市

暑中お見舞申し上げます

旭プリント株式会社
代表取締役

佐藤 浩

札幌市西区発寒一条四丁目
電話〇一一六六六一四〇四〇

伝統を生かし
こころふれあう
緑豊かな田園都市

当別町

学校法人 北海学園
理事長

森本 正夫

札幌市豊平区旭町四丁目
一番四〇号

草野作工株式会社
代表取締役社長

渡辺 健

江別市上江別西町十六番地



質と習慣との結果として獲得された性格、習性を指す。このエートスに関する学が倫理学である。とする基礎的観念が確立されて、それに本来的に照応した基礎的制度が構築されたものが大文明であり、世界的に跡づけるならば三段階の変遷に従って、一代目は、シュメロ・アッカド、エジプト、エーゲ、インダス、中国の五文明、二代目は、シリア、ギリシャ・ローマ、インドの三文明、三代目は、正教キリスト教、西欧、回教の三文明、合計十一文明である。正規の文明サイクルを展開しないが独自性をもつ文明が三十ほどある。日本文明、ロシア文明、朝鮮文明などである。これらを総称して周辺文明という。世界の文明はこの大文明と周辺文明に大別されるのである。周辺文明は大文明の周辺地と化したものであり、大文明から基礎的観念、基礎的制度のいずれか、または両方の借物で文明化している。もし借物がなければ、その周辺地域は未開であるはずはない。周辺地に土着のものが強く、借物的に照応していても大文明に吸収同化され得ないものは独自性をもつ周辺文明を形成するが、あくまでも借物的照応であるため、ある程度持続し得たとしても、

照応性が攪乱されると周辺文明は混迷へと転落する、という脆弱性をもっている。もともと日本文明は、大文明である中国文明の周辺文明であって、その基礎的観念は借物である儒教、仏教に古来からの神道が共鳴して一体化したものであり、その基礎的制度は借物である中央集権体制であった。これは日本の中国への吸収同化とはならず、日本古来のエートスを基礎的観念のうちに温存したばかりではなく、借物の儒教・仏教と共鳴して中央集権体制を支えるものとなった。その後、明治維新前後に始まる西歐化によって、この基礎的制度（その時代、中央集権体制は封建的体制に変遷していたが）は別な文明、すなわち、西歐近代にスイッチが切り替えられたのであるが、その基礎的観念の切り替えはなされなかった。このため、日本の近代化、資本主義化はある意味で西歐とは異なる発展を余儀なくされてきたのである。日本は古来の神道的基礎的観念の上に儒教・仏教を受容したので、一木一草にも神を宿すようなアニミズムの自然感が色濃く存在し、それに基づくエートスや伝統社会を継承してきた。しかし、西歐近代の基礎的

観念のエートスは自然性の否定、自然性からの自由によって即立し、カトリシズム、プロテスタンティズムによる千五百年にわたる伝統社会との戦いの中であちこちとられた禁欲の倫理である。この禁欲の倫理から生まれた合理主義を基礎的観念とし、それに照応する基礎的制度として構築されたものが西歐近代における資本主義体制である。著者は、西歐近代においては、信仰心を喪失しつつあるが、なお禁欲的倫理は働いており、資本主義の行きすぎや体制の一方的規制にブレーキをかけ、環境破壊、公害、都市過集積などを回避する調整を行いやすいという、資本主義の安定性を残しているが、これに比べて、日本では基礎的観念が自然性に根ざしているため、倫理的、合理的対応が弱く、日本独特の混迷に陥りやすいと見ている（最近の国際経済摩擦論、国際貢献論、日本異質論などもこの混迷の例としなければならぬであろう）。ところで、開拓使による北海道開発は、ケプロン・黒田の理想主義によって欧米的な主畜農業を建前とし、旧日本の稲作中心農業とは異なる発想によって行われた。これは、ケプロン・黒田流の「北方圏」認識であ

暑中お見舞申し上げます

株式会社 西武北海道

取締役社長 川瀬悦男

札幌市中央区北四条西四丁目 伊藤ビル7F
電話(011)251-0333(総合案内)

北海道文化放送株式会社
代表取締役社長

武田圭策

札幌市中央区北一条西四丁目

青に包まれる国、北欧。




SCANDINAVIAN TOURIST BOARD

り、さらにその後、河野広道氏（当時北海道学芸大学教授）が北海道文化をその北方風土に順応させ、真の意味の道民文化とするには、旧日本文化との同質性を打ち切らねばならぬと主張したが、これも文化の「北方圏」指向である。しかし、その後文化人類学の梅棹忠夫氏は、これらの北方文化の異質主義も旧日本の同質化によって挫折したと見る。旧日本の偉大な同質化エネルギーの前には、もはやこの異質主義は成立しない。したがって北海道は、むしろ同質化、すなわち工業化によって、国の支配力の思いのままにならぬほどの非常に大きな県、または州になるべきである。北海道は自分の知恵と努力で北方的生活、北方的文化を確立して独自性を身につけ、北方圏諸国のリーダーとしての役割を果たすような方向を目指すべきだ、というのが梅棹氏の北海道論である。

河野氏の北方順応生活様式中心の北方文化主義も、旧日本の工業化を主軸とした近代文明の主潮流に押し流されるのは当然であった。これからの北海道の展望の中で、ケプロン・黒田の理想主義や河野の北方文化主義が指向した「北方圏」を生かすためには、工業化を主軸とした近代的生産力基盤の中にそれを定礎しなければならぬ。その物的基礎契機が北海道の地理的位置であり、その位置を契機媒介として「北方経済圏」が近代的生産力の物的基礎となる。さらに、気候風土を契機媒介として、北方的精神風土としての「北方圏」が近代的生産力の物的基礎となる。近代的生産力の物的基礎である「北方経済圏」と人間的基礎である「北方圏」をどう総合するか。そこでの近代的生産力とは決して生産中心主義ではなく、文明的な意味においてあるから、文化的生産力が高く評価されることを念頭におく必要があるが、「北方圏」ははたして文明論において、いくばくかの地歩を築き得るものなのか。この論文の究極のねらいは、この問題に一応の解答を与えることにある。「北方圏」が単なる一時的な文化・経済交流のブームやムードではなく

て、一定の文明サイクル（生成、発展、終えん）の一端を担って持続的な自立展開を果たし得るものであるとするならば（それは必然ではなくて、努力がそこに向かって収れんせずにはおかぬものとしてあっても）、それは明日の日本文明のビジョンとして世界的に裏付けされ、地球的視野からも、日本の視野からも生きて動く基本的行動原理となり得るのである。「北方圏」と「北方経済圏」の斉合的総合も、こうして初めて現実的に、具体的に可能になるばかりではなく、「北方圏」の定位は、同時に日本近代化の限界性、跛行性を指摘しつつ、真の意味での近代的生産力構築への展望を北海道に付与することになる。著者は、以上のようなねらいを前提として「北方圏」の成立に関してその文明的基礎ワーク組み、社会生態論的ヨコ組み、近代化史論的タテ組みを明らかにし、その上に国際経済論的手法によって「北方経済圏」の成立可能性を考究しようとするのである。以下において、その論旨の内容を要点的に述べることにする。

カラー印刷では、青・赤・黄・黒の4つのカラー(4C)が基本となって、美しい色彩が創り上げられます。そして、常にクライアント(Client)の立場でものを考えるということ、コミュニケーション(Communication)を深めること、クリエイティブ(Creative)であり続けること、時代のニーズをキャッチ(Catch)する視野の広さと先見性を養うこと——。印刷媒体の新しい可能性を追求する私たちの基本姿勢も4Cです。

株式会社 須田裁版

本社/札幌市西区二十四軒2条6丁目 (011)621-0275
旭川支社・苫小牧支店・東京営業所・滝川営業所・アドセンター

ノルウェーの 子供オンブズマン

「オンブズマン」とは行政による不当な取り扱いから国民、住民を擁護するため組織された行政監視機関であり、一八〇九年にスウェーデンで創設された。第二次世界大戦後、北欧諸国を中心に世界各国に取り入れられた。近年日本でもよく耳にする「オンブズマン」はスウェーデン語だが、ノルウェーでは性別に関わらず使用できる「オンブド」(Omбуд)を用いている。現在ノルウェーでは、①防衛オンブズマン、②良心的兵役拒否者のためのオンブズマン、③公共行政オンブズマン、④消費者のためのオンブズマン、⑤平等のためのオンブズマン、⑥子供のためのオンブズマンの六種類の国家オンブズマンが任命されている。



これらのオンブズマンの中で、前三つのオンブズマンは、国会の中に置かれる。他の三つは形式上は国の行政の一部であるが、どのオンブズマンも問題提起、声明発表等の自由は等しく確保されている。なお、県レベルでは、病人のためのオンブズマンを設けているところが多く、医療行政に関する苦情、要望を入院患者などから受け付けている。

ここでは、ノルウェーで一番新しいオンブズマンである「子供のためのオンブズマン」について少し紹介してみよう。

十年前に成立した時は様々な議論を呼んだ。「親の権威が失墜する」「ノルウェーの子供達は恵まれており、必要ない」などの批判もあった。しかし今では子供のためのオンブズマンの重要性は誰もが認めるところである。年間約二万件の苦情が寄せられ(うち一割は子供自身からの連絡による)、オンブズマンが扱うのは九百件にのぼる。過去、体罰禁止の新たなビデオの販売規制法などの成立にオンブズマンの意見が大きな影響力を持った。

子供のためのオンブズマンは国王により任命され、任期は四年。三人のスタッフに補佐される。オンブズ



カナダ、オンタリオ州の夏、アルゴンティン公園でヨットを楽しむ

へしあい滑るスケートも冬のカナダの名物である。

ところで、カナダの冬は水泳の季節でもあるということをご存じだろうか。スイミング・コンペがあちこちで行われる。屋内プールの設備がよく発達していて、こうした環境の中から、アレックス・ボーマンなどたくさんのおリンピック・メダリストを輩出している。

ホッケー・リーグ戦が終盤に近づくと四月ともなると、プロ野球の季節に入る。これにも国中が沸く。アメリカン・リーグではトロント・ブルージェイズが一、二位を争うし、ナショナル・リーグではセントルイス・エクスポが上位で健闘するからだろうか。もっとも選手は、日本のプロ野球と同じにアメリカ人が多く、巨人にいたクロマティ選手もかつてセントルイス・エクスポにいた。プロが盛んなら、アマチュアや草野

マンは苦情に基づいて、あるいは自らの裁量によって活動を始める。仕事は国民の行政に関する不平不満や要望、意見などを関係機関に取り次いだり必要な是正措置を勧告することにある。そして関係機関はその勧告に自発的に従う。

オンブズマンは、子供のための公的私的施設に自由に入出入りでき、オンブズマンが調査に必要な情報入手するのを誰も妨げることができない。また、メディアその他を通じて調査内容を公表することもオンブズマンの強力な「武器」となっている。

オンブズマンの最大の特徴は、全ての機関との関係において完全に独立しているということだ。子供のためのオンブズマンは、子供の利益のみを考慮する。その他のこと、例えば大人の利益とのバランスや予算は一切考えない。そして子供の利益を無視するあらゆる行政、団体、人物を批判する権利と義務を持つ。ただし、個々の家庭内の紛争を取り扱うことは許されず、あくまでも子供が離婚した両親に面会する権利や、離婚前のカウンセリングなどの原理的な問題を扱う。

オンブズマンは裁判所のように行

球も当然、盛んである。カナダのスポーツで圧巻の季節は、なんと夏だ。短いながらも、西海岸や東海岸、そして無数にある湖水での水泳、セーリング。ここ数年は、モーターボート熱が高い。デインギの一種で、一九七〇年代の初めにカナダ人のカービーさんが開発した「レーザ」と呼ばれる簡単な一人用のセイルボートなら、一日の仕事が終わってからのヨットハーバーに駆けつけ、暗くなるまで数時間楽しめる。日本でも、湘南などでのレーザを見かけるようになったが、カナダでは愛好者が数十万はいる。夏は若者にとっては、水のスポーツの他に野球、サッカー、陸上、ラグビー、ゴルフ、カナディアン・フットボール……など枚挙に暇がない。

子供にとってもそうだ。家族ではキャンプ。中高年ならゴルフやテニス。最近では、アウトドア・ライフをいろんな風楽しむようになってきている。大自然の中で、自然を壊さずに楽しむ「工夫」を楽しんでいるようなところもある。

カナダ人にとってスポーツとは、三度の食事と同じようなものである。〔CANADA〕誌より

球も当然、盛んである。

政処分を取り消す権限は与えられていないし、行政部に對し直接の統制権を持つものでもない。だが、国民の立場に立った幅広い見地から調査判断、提言するのがその主な権限である。オンブズマンが広く国民の信頼を得ることにより、調査活動そのものが関係機関に大きな影響力を持つ。また、識見の高い第三者であるオンブズマンが介入するというだけで事件が公正に処理されたという安堵感が生まれることも見逃せない事実だろう。

現在、この「子供のためのオンブズマン」を努めるのは小児科医でコメディアンでもあるトロン・ヴィッゴ・トルゲセン(Trond-Viggo Torgersen)氏である。

カナダ人の スポーツ暦

カナダのスポーツ・シーズンの幕開けはいつと言ったらいいだろうか。秋が深まる十月になると、ナショナル・ホッケー・リーグ(NHL)戦が始まる。この北米二十一のチームで争われるプロ・リーグ戦に参加しているカナダのチームは七つ。なかでもエドモントン・オイラーズとモ

同時通訳国際会議の運営はECにお任せ下さい。

- 充実の国際会議支援体制**
- 国内一流通訳者のネットワーク
 - EC保有の同時通訳機器により経費節減が可能
 - 国際会議に不可欠な翻訳、通訳、出版物の作成



- 圧倒的な実績の数々**
- 札幌国際見本市
 - 札幌国際音楽祭
 - アジア冬季競技大会(第1回・第2回)
 - 札幌ユニバーシアード冬季大会、他多数

株EC 〒060 札幌市中央区南1条西5丁目 プレジデントビル3F TEL(011)231-2289 FAX(011)221-0496

環境問題に取り組み フィンランド



フィンランドの森林地帯
〔「Look at Finland」誌より〕

森林経済が一九五〇年代から機械化されて拡大した結果、フィンランドでは道路もない自然のままの原生地域が急速に姿を消している。樹木伐採活動が最後の自然林にまでおよびとともに、それらの自然林を保存すべきか、それとも経済に利用すべきかについて、盛んな論争が展開されてきた。

原生地域に対する懸念が高まり、保存を求める要求が高まった。フィンランドでは原生地域の利用をめぐる論争が起こる前ですえ、多くの法定自然保護地区が指定されていた。その大部分がラップランドにある。真の原生地域は現在、国土の北半分にみられるだけである。

残るかけがえのない原生地域を保存するための原生地域法は、一九九一年の冬に施行された。自然保護法によって設けられた自然保護地区の多くが同時に重要な原生地域になっているが、これは自然保護地区がかなり広く、道路のない自然の状態に保たれているためである。全部で約百五十万ヘクタールの法定原生地域と自然保護地区が欧州では唯一の二百万ヘクタールを超える幅広い帯状の地域をなしている。これらの地域はラップランドの陸地面積の四分の一を占めている。ラップランドにはほかに、なお自然のままか原生の地域があり、それらの地域の使用はなお最終的に決っていない。国土の南半分でも広範な原生、湿地、森林地域を自然保護地区に指定して、保存する努力が払われている。

法定原生地区の自然は多様な森林や湿地、水路をもっている。それらの地域にはフィンランドで最も広い丘原地域やさらに重要な森林境界線の森林が含まれる。原生地域はラップ文化や伝統的な自然のなかでの暮らしを保存するのに不可欠であり、その多様な豊かな自然環境はハイキングやレクリエーション地にもなっている。

原生地域の保存に当たっては自然の中の暮しや森林経済、レクリエーションの利用が可能な限り調和されなければならない。原生地域法は原生地域の現在の使用が自然環境や景観を大きく変えない限り、原生地域の使用を大きく制限していない。最も重要な原則は原生地域内に道路を建設せず、周囲の自然に悪影響を及ぼす鉱山や大規模なツーリストセンターを計画しないというものである。

ラップランドでは森林が国内の他の地域の場合よりもよく保護されているので、原生地域法は一定の原生地域にある一部の森林を各地域の保全・利用計画が定める慎重な方法で、利用する可能性を認めている。環境省は利用計画を綿密に監視し、保存・利用計画を承認するに当たっては、原生地域で自然林の管理がどの程度可能かを検討する際の最終的発言権をもっている。原生地域での森林伐採は、総合利用やトナカイ飼育という条件のもとでのみ認められるにしても、計画よりさらに圧縮されることになりそうである。

近隣諸国が検討している措置もフィンランドの原生地域の保存に影響を与える。コラ半島で発生する汚染

を別にして、ノルウェーのバスヴィク地域で保全や森林保護が計画され、旧ソ連国境地帯での伐採計画がある。ノルウェーとフィンランド、旧ソ連はイナリ湖東部の三国の国境地帯を包含する合同保全地区の設置を計画している。(「Spirit of Finland」誌一九九二年第一号より抜粋)

国境の 商港都市―黒河

黒龍江省北部の商港都市黒河は今や貿易港である。貨物を満載した列車が次々と国境を出入りし、物資をいっぱい積んだ大小の船が黒龍江を行き来している。

黒河市は黒龍江中流の南岸に位置し、人口十五万。旧ソ連極東第三の大都市ブラゴベシチェンスクと河を隔てて向かい合っている。この両市は長い中ソ国境線の中でも距離が最も近く、規模が大きく、機能の最も整った都市であった。

黒河は地理的位置、交通の便に恵まれていて、黒河から南下すると北黒(北安―黒河)鉄道によって中国の内陸部と朝鮮半島にまっすぐつながり、西に向かつてシベリア鉄道を利用すれば、ソ連を経て東欧諸国に行ける。東に向かう鉄道と水運を利



黒河市、大黒河島にロシア連邦の国境住民向け取引センターをオープン(写真:「北京週報」1991年第52号より)

用すれば、ウラジオストクを経由して日本海、東南アジアおよび太平洋諸国に至る。

黒河は昔から対外貿易港であったが、その後国境をめぐる紛争で一時的に閉鎖された。中ソ国境貿易の再開にもない、この商港も一九八七年に再開され、国境の商港都市として建設が速められた。黒河から省都ハルビンまでは空路一時間半。国際通信網にも組み入れられ、港の拡張工事も鋭意進められている。完工すると黒河港の荷役能力は年四百五十万トンに増える。中ソ協力による黒龍江大橋建設の下準備も進められている。

黒河市はそのユニークな地理的強

みと港の対外開放のおかげで、対ソ貿易、協力の最前線となっている。黒河港が再開されてから、同市とソ連とのバーター貿易は着実に伸び、一九九二年五月末現在、ソ連側と結んだ輸出入契約の総額は六億九千二百萬スイス・フラン、実際の達成額は二億五千四百萬スイス・フランに達し、一九五七年から一九六六年までの十年間の六倍に増えた。輸出品もかつての西瓜から穀物・食用油・食品、軽工業、紡績、金物・鉱産物、医療・保健、機械・設備など十八種類の七百餘種に広がり、輸入品は化学肥料だけだったのが、原材料、日用消費財、機械製品など九部類七十三種に増えている。

対ソ貿易再開後、同市は、中ソ双方の産業構造が相互補完性をもって、いることに目を着け、ソ連側との合資・合作経営と「三来一補」(原材料委託加工、部品委託組立、サンプル委託加工、補償貿易)を展開した。このようなプロジェクトの中で、波型木質繊維瓦、牛・豚・羊皮、シャツ・綿入れ、布靴、ラシヤ・ブーツの加工などがある。このほか、すでに認可されて契約調印を待っているプロジェクトが九件ある。それらは、中ソが

共同で黒河にソ連製自動車修理センター、大型農業機械修理センター、プレハブ工場を、遜克県にビール工場を、アムール州に木材加工工場、コルク家具工場、キノコ工場、豆製品加工工場を、クラスノアルスクに中華料理店をつくるというもの。

また、バーター貿易を着実に伸ばすと同時に、ソ連側の労働力不足に力がかみ、ソ連労働市場への進出を開始した。二年余り前から、同市はソ連側と二十五件の労働協力協定を結び、そのうち二十二件が実施に移され各種の労働者二千九百二十人を送りだし、労働協力は最初の建築工事、森林伐採から農業生産、水利工事、医療衛生、飲食サービスなどの分野にまで拡大された。

対ソ経済貿易協力の不断の拡大は、同市の経済発展に新たな活力を注ぎ、生産の発展、流通の拡大、収入の増加に積極的な役割を果たしている。黒河市長は、新型商港都市としての黒河の発展に自信を示し、同市の対ソ貿易額は一九九五年までに三億五千万スイス・フラン、二〇〇〇年までは六億スイス・フランに達するだろうと語っている。(李明記者) (北京週報一九九一年第五二号より要約)

語りたいた旅があります。



あなたの旅―**日本旅行**がお手伝いします。
もよりの日本旅行にお気軽にご相談下さい。

株式会社 日本旅行 北海道営業本部販売課
〒060 札幌市中央区南1条西4丁目 日本旅行札幌ビル8F TEL 011(281)3821

- | | |
|------------------------------|--------------------------|
| 札幌支店
011-251-5805 | 札幌中央支店
011-281-5241 |
| トナベルプラザバスポート
011-251-8410 | 札幌教育旅行支店
011-251-1355 |
| 釧路支店
0154-23-4455 | 小樽支店
0134-33-4455 |
| 帯広支店
0155-23-9294 | 苫小牧支店
0144-32-6467 |
| 北見支店
0157-23-2228 | 室蘭営業所
0143-44-8871 |
| 旭川支店
0166-22-8555 | 函館支店
0138-23-4201 |
| 滝川営業所
0125-24-7141 | |

北方圏センター 会員企業情報

札幌オーバーシーズコンサルタント株 カナダ・アルバータ州の 貿易アドバイザーに。

札幌オーバーシーズコンサルタント（札幌市中央区北4条西11丁目）はことし、北海道の姉妹州であるカナダ・アルバータ州の経済開発・貿易省スペシャルアドバイザーに承認された。

同社は、農業機械・建築資材などを中心に、30年間にわたる幅広い貿易業務の実績を持つ。貿易拡大に力を入れるアルバータ州では、建築資材や林産品、農産物などの輸出を促進するため、海外の企業や個人に貿易推進役のアドバイザーを委嘱している。札幌オーバーシーズコンサルタントは同州との貿易実績があり、また元州政府職員マーク・キーツさんが社員となっていることから、このほど正式にアドバイザーに選ばれた。

今後は経済ミッションの受け入れや日本市場の調査なども行い、北海道とアルバータ州の経済交流のいっそうの発展をめざしていく。

JR貨物株

新物流センター、 エフプラザ札幌が完成。

JR貨物（札幌市北5条西4丁目）では4月、同社としては国内最大の物流センター「エフプラザ札幌」を札幌市白石区の札幌貨物ターミナル駅構内に新設した。

この施設は、同社が総工費20億円をかけて昨年から建設しているもので、駅構内での荷さばきや保管、流通加工など多機能の物流施設として稼働し、コンテナ貨物輸送の能力をさらに高めていくのが目的。

センターには、三井物産と三越がテナントとして入居。三井物産は花きや野菜のような生鮮品の物流などの基地に、三越は商品の道内配送基地として積極的に活用していく。

石狩開発株

石狩湾新港の拠点施設、 サポートセンタープラザ。

第3セクターの石狩開発（札幌市中央区北1条西2丁目）は5月28日、石狩湾新港地域の中に「サポートセ

ンタープラザ」をオープンさせた。

この施設は、石狩湾新港工業団地のコミュニティセンターとして機能していくもので、建物内にはオフィスや新港地域全体を紹介する情報センター、多目的ホール、レストランをはじめ、売店、銀行の現金自動支払機（CD）などが設けられている。

石狩湾新港地域は、石狩湾を中心に工業団地と流通団地が配されたもので、総面積は3,000畝にもおよぶ。ここ数年急速に企業集積が進



み、すでに680社が用地を購入。運輸、流通、機械金属、インテリア、食品、倉庫などの約400社が操業を行なっている。これまで地域内には商店や飲食店などがなかったため、進出企業からもセンターの建設が要望されていた。

今後はこのセンターを中心に、地域内企業の交流の輪が広がっていくものと期待されている。

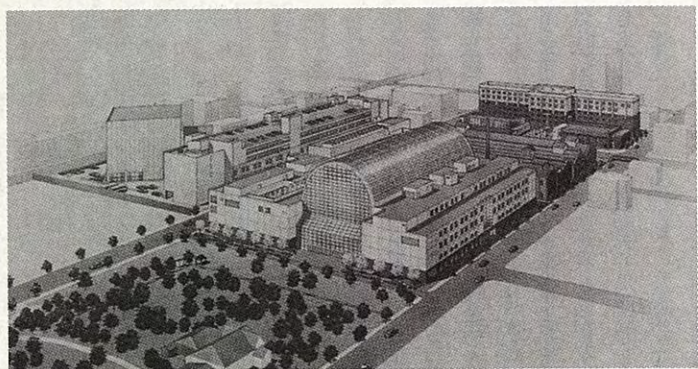
サッポロビール株

来年4月、 生活工房が誕生。

サッポロビール（札幌市東区北8条東8丁目）が建設する「生活工房・サッポロファクトリー」が着々とその姿を現わしはじめている。

これは、札幌市中央区北2条東4丁目の旧札幌工場第一製造所跡地に、北の生活文化の新しい創造空間を建設するもので、敷地面積は約4万1千㎡、総事業費は400億円という大規模な都市開発プロジェクトだ。

サッポロビールは明治9年、この地に日本人の手による最初の本格ビール工場「開拓使麦酒醸造所」とし



て誕生して以来116年間、北海道とともに歩みつづけてきた。今回の開発計画では、当時の赤レンガ造りの建造物なども保存再生される。

ファクトリーは、赤レンガを活用したビアホールをはじめ、食品や雑貨の高感度マーケット、緑地公園をガラス屋根で覆った日本最大のアトリウム、スポーツクラブや温泉アミューズメント施設、さらにコンサートや演劇の多目的ホールなど、バラ

エティあふれる空間で構成される。北の生活文化の総合提案の拠点が来年4月、いよいよ誕生する。

檜崎産業株

90周年を機に、 新マークを制定

檜崎産業（本社・室蘭 北海道支店・札幌市中央区北2条西4丁目）は、創業90周年を迎えたのを機に、CIを導入。新しいシンボルマークを制定した。同社は明治35年に室蘭で創業、港湾・船舶関係、燃料などを扱って業績を伸ばし、現在、建設関連資材や機械などの総合商社として発展しつづけている。



新たな飛躍をめざし制定された新マークは、柔軟性を表す2つの波と、ハイテクイメージを象徴する球で構成。すぐれた技術と挑戦をつづける柔軟な企業体質を表現し、ポスターや名刺、封筒などに使用していく。10年後の創業100周年に向けて、CI活動を軸によりダイナミックな営業活動を展開していく。

北方圏センター 会員企業情報

秋山愛生館（札幌市東区北6条東3丁目）は昨年12月、札幌証券取引所に株式を上場した。

これは昨年創立一〇〇周年を機に、医薬品卸からより広い意味での健康産業へと、もう一步飛躍することをめざしたものだ。とくに、高齢者向けビジネスの開拓には力を入れ、高齢

総合健康産業へ、飛躍めざす。

株 秋山愛生館

得て集まる展示品の数は国内最高。歴史・生活・文化を中心に、中世の貴重な品々、世界的に有名なアート、北海道と近い気候風土の中で育まれた木・革・織物などの生活工芸品の数々など、多彩な見どころが用意されている。入場料400円、中学生以下は無料。

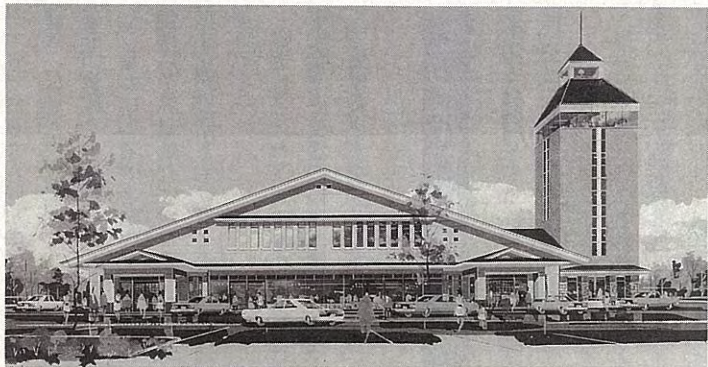
同展は11月11日（水）～16日（月）までの間、旭川の西武北海道旭川店・西武ホールでも開催される。

問い合わせは、北の浪漫フェスティバル実行委員会事務局。☎札幌011-272-1435（北海タイムス社内）、☎旭川0166-234171（北海タイムス旭川本社内）。

佐藤水産 株

石狩町に、サーモンファクトリー。

佐藤水産（札幌市西区二十四軒3条6丁目）は、国道231号に面した石狩町新港東1に石狩産サケの加工・販売などを目的とした観光工場「サーモンファクトリー」を建設中。8月中旬にオープンさせる予定だ。



この施設は、石狩川河口で捕れたサケをこうじ漬けなどの製法に加工処理する過程を見せ、鮮魚や各種加工製品を販売するもの。来以降はさらに設備を増強し、サケの半身を丸ごと焼く「チャンチャン焼き」や、ホタテやサケ、イカなどを使う「海鮮ジンギスカン」をメインにしたレストランを開設する計画もある。

石狩川は、北海道を代表するサケのメッカであり、また札幌からクルマで30分という近さにあることから、観光資源として大きな可能性を持っているといえる。佐藤水産は、石狩町が発祥の地でもあり、現在も石狩漁港で水揚げされた秋サケを全量引き取っているなど、同町との関わりは深い。

サーモンファクトリーの誕生により、石狩町がサケのメッカとしていつそう脚光を浴びていくことが期待されている。

北海タイムス 株

北の浪漫フェスティバル'92開催。

北海タイムス（札幌市中央区南1条西10丁目）と、北の浪漫フェスティ

者向け住宅設計のノウハウ提供をはじめ、欧州からの介護用医療器具の輸入・販売などを行なっていく。

同社では、健康産業を医薬品卸と並ぶ柱とし、21世紀へむけての、確かな企業基盤を培っていく考えだ。

石黒ホーム 株

東北3県に、店舗を進出。

石黒ホーム（札幌市厚別区厚別中央3条2丁目）は4月、ジャスコとの共同出資会社「イシグロ・ジャスコ」を秋田県秋田市に設立。青森、秋田、山形の3県に店舗を出店することを決めた。

新会社の会長には岡田卓也ジャスコ会長、社長には石黒靖尋石黒ホーム社長が就任。店名は「MEGAMART」（メガマート）とし、低価格運営を基本に、ホームセンターに衣料品などを加えたバラエティ型のディスプレイカウントストアとして展開していく。

日糧製パン 株

「ソフト」シリーズが、人気上昇中。

日糧製パン（札幌市豊平区月寒東1条18丁目）では6月23日、「チョコレートソフト」を新発売した。

これは、おやつ感覚で食べられる新しい菓子パンで、ひとあし早く発売されていた「アーモンドソフト」につづく第2弾となるもの。クリウムをふんわりとしたパンでサンドしており、ちょっとひとくちタイムに、いつでもどこでも気軽に味わうことができるのが売りものだ。

日糧製パンでは現在、この「ソフト」シリーズを、昨年大ヒットした「チーズ蒸しパン」シリーズにつづくヒット商品に育てたいこうと、積極的な販売促進に取り組んでいる。

イバル実行委員会の主催で、「北の浪漫フェスティバル'92・バルト三国新たな光を求めて」が開催される。

エストニア、ラトビア、リトニアのバルト三国には、言葉も宗教も違うそれぞれの歴史があり、生活文化がある。それは長く暗い時代の中でも民族の誇りに支えられ、守り続けられてきたもので、同フェスティバルの開催は多くの人々に大きな感動を呼ぶものと思われる。

まず10月28日（水）には札幌プリンスホテルで、午後3時から「北の文化交流を考える／バルトフォーラム」が開催される。第1部の基調講演には、音楽家でありラトビア共和国の文化大臣でもある、ライモンズ・パウズ氏が出席予定。第2部のパネルディスカッションには、直木賞作家の西木正明氏、岩手県久慈市長の久慈義昭氏、歌手の加藤登紀子さんらが出席する。会費は6,000円、定員300名。翌29日（木）には、占冠のホテルアルファリゾート・トマムで分科会も開かれる。会費18,000円、定員90名。

その後11月3日（祝）～8日（日）には、札幌の五番館西武・赤レンガホールで「新しい北の仲間／バルト三国展」も開催される。三国の協力を

毎日新聞が 変わった!



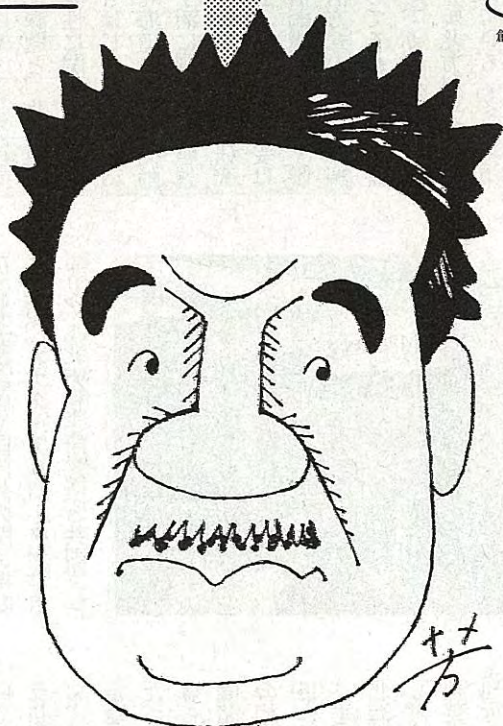
新毎日



創刊120周年記念

加藤芳郎さん・息子との対話

「毎日新聞が変わったね」
 「そう題字もスッキリシャープ。明朝体二行でブルーのカラーがいい」
 「紙面全体のレイアウトも新しくなって内容も読みやすく、新聞革命だね」
 「いままでの毎日はどちらかというと他紙に比べて品位はあるが大人しすぎる新聞って感じだったな」
 「じゃこれからは暴れん坊の悪ガキっぽい新聞になるのかな」
 「いや高品質・高品位の読者紙が目標なんだ」
 「読者第一主義で読み手側に立った新聞を作るそうだけど」
 「しかし衆愚に媚びないで貰いたいね」
 「オレたちのこと言っているのかい」
 「ところでいよいよカオス(混とん)の時代とか」
 「新しいシンボル<毎日の目>を煌めかせて時代をしっかりと読みとって欲しいね」
 「これからもどんどん改革をおし進めていくそうだ。毎日新聞読んでないと取り残されるね……」
 「毎日新聞に期待しよう」



とにかく、お手にとってご覧ください。



ご購読のお申し込みは
 フリーダイヤル(0120)468012 北海道支社販売部

この夏、カナダ、ケベック州の 「シルク・ドゥ・ソレイユ」札幌公演 (太陽のサーカス)



カナダ ケベック州、シルク・ドゥ・ソレイユ(太陽のサーカス)

今年一九九二年はカナダ連邦成立から百二十五年、また、国連の文化発展計画十年(一九八八―一九九七年)の中間年にあたる年です。カナダ誕生百二十五年という記念すべき今年、カナダ大使館は、日加両国の一層の相互理解に役立てようと幾つかのカナダ文化プログラムを組んだ。

世界一級の内容を持つカナダの芸術文化の真髄がこの春以来全国各地で披露されているが、札幌でもすでに去る四月、シヤルル・デュトワ指揮のモントリオー管弦楽団がエスプリに富んだ演奏を聞かせてくれた。そして、この夏にかけて、全国八大都市で行われるのが、ニュータイルの芸術「シルク・ドゥ・ソレイユ」(太陽のサーカス)の公演である。

一九八三年、ヨーロッパの面影を残すカナダ、ケベック州の小さな町のお祭りのストリート・パフォーマンスから生まれ、わずか七年間で三百万人の観客を動員するまでに成長した「シルク・ドゥ・ソレイユ」。従来のサーカスとは異なつて動物は一切使わず、ステージ上でアーティスト達がドラマ性、ミュージカル性に富んだパフォーマンスを見せてくれる。メンバーの中にはオリンピック体操のカナダ代表になった人や、世界有数のサーカス専門学校であるモントリオールのエコール・ナショナル・ドゥ・シルク(国立サーカス学校)の卒業生などもある。それぞれのアーティストの磨き上げられた技、洗練された音楽、極彩色の衣装などが見事に独特な世界を作り上げる。

今回の日本公演では、カナダ国内のステージの一・五倍、二十メートルのスペクタクル・ステージに加え、十台のシンセサイザー、十六基の照明マシン、スピーカーキャンによる光のシヤワー、そして総勢七十二名の国際性豊かなアーティスト達によるパフォーマンスが、プロリーグに始まって、「リズムミック・ジumnasティック(リボンやロープを使った新体操)」、「トライブ(空中ブランコ)」、「チェア・バランス」、「アクロバット・パイシクル(自転車の上の人間ピラミッド)など全十二幕にわたつてアップテンポで繰り出される。「フアンタシオン(幻想)」と名付けられた「シルク・ドゥ・ソレイユ」公演は、この夏、まさに忘れることのできない新しい経験になりそうである。

札幌では、来る七月二十五日(土)から八月二日(日)の間、真駒内アイスアリーナで午後、夜など全部で十二回の公演が行われる。詳細については北海道文化放送内の札幌公演事務局、電話〇一一二四一五二六四番までお問い合わせを。

資料提供 カナダ大使館文化局 u h b 北海道文化放送事業部

ルック 北方圏



NRC会員へのサービス

北方圏センターの会員（法人、個人）が、北方圏国際交流に協賛する宿泊施設を利用する場合には、規定のルーム・チャージ（宿泊室料）の10%割引の特典が設けられている。

協賛施設は別表のとおりだが、利用の際は直接希望施設へ申し込み、必ず「北方圏センター会員証」の提示を。

北方圏センター会員北方圏国際交流協賛センター

会員ホテル名	所在地	☎
京王プラザホテル札幌	札幌市中央区北5条西7丁目	(011)271-0111
ホテルアルファ・サッポロ	札幌市中央区南1条西5丁目	(011)221-2333
札幌グランドホテル	札幌市中央区北1条西4丁目	(011)261-3311
札幌東急ホテル	札幌市中央区北4条西4丁目	(011)231-5611
フジヤサントスホテル	札幌市中央区北3条西7丁目	(011)271-3344
ホテル日航千歳	千歳市本町4丁目	(0123)22-1121
丸駒温泉旅館	千歳市幌美内番外地	(0123)25-2341
網走湖荘	網走市字呼人78	(01524)8-2311
ホテル大平原	音更町十勝川温泉	(0155)46-2121
第一ホテル	音更町十勝川温泉	(0155)46-2231

アイデアとしての「屋外寒暖計」の頒布を継続した。

(6) 交流事業

《国際会議》

国際文化会館と共催で、日、米、ソ三カ国から約五〇名のロシア文学

研究者による「日露文化交流会議」日本人のロシア・ソビエト観の源流を求めての開催、北海道バイオ産業振興協会他との共催で、北海道他の後援で本道と姉妹提携を結ぶアメリカ・マサチューセッツ州、カナダ・



平成4年度「北方圏センター」通常総会 平成4年度事業計画、平成3年度事業報告など

北方圏センターの平成4年度「通常総会」が五月十二日（火）、札幌プリンスホテル（札幌市中央区南二西一）で開催され、議案の平成3年度事業報告、同収支決算、平成4年度事業計画、同収支予算を審議、可決承認された。

この日の総会には、委任状一、六〇八人のほか、会員三二一人が出席した。議長には榎原泰明会長が当たり（定款二九条）議事が進められた。

事業報告の主なものは、

(1) 会員

平成二年度末において個人二、〇三五人、法人・団体一、七二四、計三、七四九会員であったのが、平成三年度末現在では、個人一、八三〇、法人・団体一、七二四、計三、五五四会員となった。

(2) 調査研究事業

「北海道統合通信網構想と山間・僻地の医療情報通信方式の研究」の調査・研究を実施してそれぞれ報告書を作成した。また、カナダ・アルバータ大学ポリアール北方科学研究所と共同研究を進めている「冬の都市問題」について、最終的なワークショップを行い、それぞれの研究成果を発表した報告書を作成した。

外務省の委託による調査「市場経済下におけるCIS・東欧のエネルギー需要の変化に関する調査・研究を実施、北海道の委託による調査、アメリカ・マサチューセッツ州の産業経済等の現状及び課題と、北海道との交流拡大の可能性に関する調査」を実施、札幌市をはじめ道内十一市の協賛を得て「北海道における高齢就労者の就職と生活に関する実態調査」の調査・研究を実施、総合研究開発機構（NIRA）の助成を受け「北海道統合通信網構想と山間・僻地の医療情報通信方式の研究」の調査・研究を実施してそれぞれ報告書を作成した。また、カナダ・アルバータ大学ポリアール北方科学研究所と共同プロジェクトを行い、それぞれの研究成果を発表した報告書を作成した。

(3) 出版事業

北方圏を紹介するカラー写真誌の「グラフ北方圏」第10集「北海道・自然と四季」を刊行し、会員はじめ、広く北方圏諸国や国内外の関係機関に配布、カナダ・アルバータ大学ポリアール北方科学研究所と共同プロ

ジェクトで行った、冬の都市問題について「冬の都市空間におけるパーソン・モビリティ」を刊行した。また、「91年報」を刊行し会員等に配布した。

(4) 資料整備事業

北方圏に関する内外の図書、資料の整備をはじめ、北方圏諸地域の風土や暮らしぶりや都市施設などについてのスライド、フォト等のライブラリー、映画フィルム、ビデオテープ、オートスライド、レコード等の視聴覚資料を継続整備充実した。また、所有の映画フィルム「北方圏の暮らし」等の貸し出しを通じ、北方圏諸国の生活や文化など、創意工夫の相互理解を図った。

(5) 広報普及事業

季刊の会員誌「北方圏」の続刊、北海道を北方圏諸国・諸地域へ紹介し、情報の相互交流を促すための季刊英文紙「NRC News letter」の刊行を継続、広報媒体へ積極的に報道素材を提供するため「NRC情報」を随時報道機関に配布するなどの事業を行った。また、北国の生活の

アルバータ州、中国・黒龍江省から研究者を招へいし、道内研究者の参加のもとに「北方圏姉妹州4極バイオテクノロジー・シンポジウム」を開催、紋別市、オホーツク海・水海研究グループと共催で、北方圏諸国の研究者と国内研究者を招いて、オホーツク海と流水に関する「第7回北方圏国際シンポジウム」を開催、また、北海道開発局等と共催で、スウェーデンからの地域開発の専門家グループと道内の専門家とによる、国際的視野に立つての北海道とスウェーデンの地域開発のあり方を検討する「地域開発問題」日本・スウェーデン・シンポジウム」を開催するなどの事業を行った。

《セミナー・講演会等》

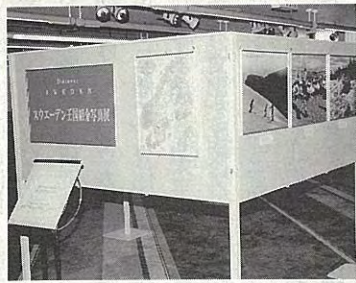
フィンランド大使館他と共催で、フィンランドからログハウスメーカー一六社の参加による、木造建築とログハウス産業を紹介する「フィンランド・ログハウス・セミナー」、札幌アメリカンセンター、北方圏経済交流協会と共催で「日米の競争力・セミナー」、サハリン天然ガス工業研究所スタッフイエフ所長、ハバロフスク外国貿易協会サルビン会長を迎え「第3回ソ連極東経済セミナー」、ロシア共和国外務省情報局パイタリ

・チュルキン局長を迎え国際理解セミナー「今後の日・ロ関係の展望」ロシア極東と北海道、元エドモントン総領事・野々垣哲夫氏を迎え国際理解セミナー「アルバータ事情と北海道との関係」、北方圏住宅研究会と共催で「寒地住宅セミナー」等のセミナーを開催。北海道新聞社と共催で、映画監督の山田洋次氏を講師に「文化講演会」、札幌アメリカンセンター他との共催でワシントンポスト紙ホワン・ウイリアムズ記者による講演会「最近のエスニック問題とその課題」等の講演会を開催。また、朝日新聞北海道支社と共催で国際交流基金からフィルムの提供を受け、東欧五カ国の映画を上映する「東欧映画祭」、日・米国等の婦人教育関係者が集い「教育ここが違う」をテーマに「北の女性の国際交流シンポジウム」、スウェーデンの保育園長をゲストに「スウェーデンの保育」懇談会、等を開催した。これらの事業の他、道内の自治体、関係機関、交流団体との共催によるセミナー、講演会、懇談会、講習会、フォーラム等、二三の事業を行った。

《交流》

「北海道—中国・黒龍江省姉妹提携五周年記念親善使節団派遣事業」





各種写真展の資料をお貸しいたします

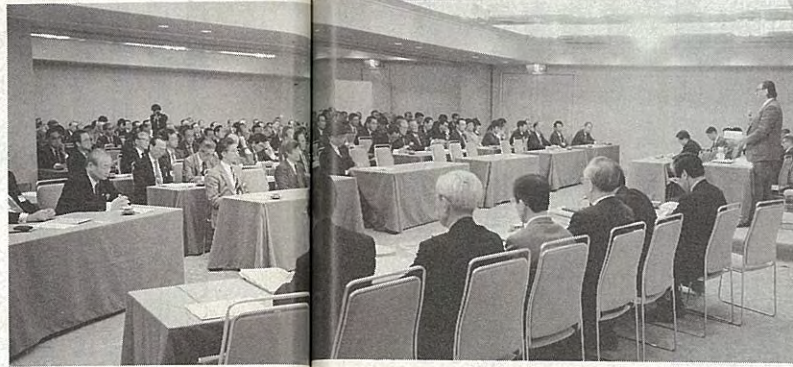
北方圏センターの展示室では、北方圏諸国の紹介や日常生活の楽しさを紹介した各種写真展『スウェーデンの暮らしと住まい』『北方圏のフェスティバル』『北方圏の子供たち』等々を、好評をいただいております。

それらの資料(写真パネル、ポスター)を、ご希望の団体・当センター法人会員に貸し出いたします。北方圏諸地域の生活を知り、北国にふさわしい生活を考えるためにお役に立てればと思います。

ご連絡いただければ展示品、リスト申し込み書等をお送りいたします。

- (1) 委託調査「北海道とスウェーデンにおける高齢者対策に関する調査」を実施する。このほか、北海道、NIRAなどからの委託調査を予定している。
- (2) 出版事業
 - 「92年報」、北方圏を紹介するカラー写真誌「グラフ北方圏」第11集、北国の知恵と工夫を考える資料として「資料冊子」をそれぞれ企画、刊行し、会員等に配布する。また、四年度中の調査研究の成果を、報告書として企画、作成する。
- (3) 資料整備事業

北方圏に関する内外の図書、資料を継続して収集しながら、前年度に引き続き北海道の地域開発、都市問題等々を考察するうえで必要な図書、資料の整備に重点をおく。特に外国図書については、在日公館等との連携を強化し、海外とのネットワークの拡大に努め、収集ルートの定着を



実行委員会に参加し、千歳からチャーター機により道内の市町村及び団体の関係者一六四名を派遣して、現地で各種記念交流事業を実施。北海道と米国アラスカ州の交流を推進するとともに、未来を担う青少年の国際感覚を養うことを目的としてアラスカツアー「第5回夏休み少年少女オーロラスクール・イン・アラスカ」の派遣を実施。デンマーク・オースタス大学から八名の研修生を受け入れ、北海道大学で日本語研修の他、企業等の視察をアレンジし、共催事業の湧別原野オートキャンプ100kmクロスカンントリースキー大会、後援事業の麓郷ラングラウフ大会にそれぞれ在道外国人の参加をアレンジした。また、北海道サケ友の会と共催で、カナダ・B・C州から小・中学生二〇名と教師二名の交流団を迎え、サケ会議、交流会等の「北方圏サケ学習交流」を開催、アラスカ州政府教育部と北海道教育委員会との連携による姉妹校交流「北海道・アラスカ州学校交流プログラム」を継続して推進するなどの事業を行ったほか、関係機関団体が実施する交流事業を共催、後援するなどの事業を行った。

スウェーデン王国の自然、産業

観光、文化等を紹介した「スウェーデン王国紹介写真パネル」を制作し、展示会を開催。北海道日ソ友好文化会館他と共催で「カレリア展」、「ソ連の物産展」を開催。また、北方圏センター所蔵の写真パネル、生活用品、工芸品等、北方圏諸国を紹介した展示資料により道内外の市町村等で展示会を一回開催、北方圏センター展示室で各種「企画展示会」を四回開催した。

(7) 語学研修事業

英語研修コース(五クラス)、北方圏諸国語独修コースを継続して開講し、延べ二四八名が受講した。

これに対する平成三年度の収支決算は、収支とも一五二、六六一、二五九円。

収入は会費五八、五〇〇、〇〇〇円、補助金三三、〇三七、〇〇〇円、負担金一三、六五五、四六四円、施設利用料収入一〇、九四三、五七〇円、事業収入三四、四〇四、六八一円、雑収入二、三三二、八一二円、前期繰越収支差額九、七九七、七三二円。

また、支出は、普及費、広報費、資料整備費、調査研究費、北方圏誌費、出版費、展示費、講演会等費、交流費、語学研修費の事業費七一、八八八、八一〇円。人件費、事務費、施設管理費、積立金の管理費六九、〇〇一、二八七円。次期繰越収支差額一一、七七二、一六二円である。

一方、新年(平成四年)度事業では、北方圏構想に基づく諸事業の充実を図り、魅力ある活動を展開し、地方事業の開催を図るとともに道民の理解と関心を高め、会員の拡大に努めるものとしている。

事業計画の主なものはおおむね次のとおりとなっている。

(1) 調査研究事業

調査研究の充実を図り、リサーチ機能を高めるとともに、外務省委託研究「CISのエネルギー事情と経済分析に関する調査」、道内主要都市

図る。また、北方圏に関する映画フィルム、ビデオテープ等「視聴覚資料」の集積、「スライド、フォト、ネガ」の各ライブラリーの内容の充実を積極的に進めるとともに、北海道の事情を紹介する外国語資料(英語版)を発売、北方圏諸国及び諸地域へ配布し、資料・情報の相互交流を促進する。

(4) 広報普及事業

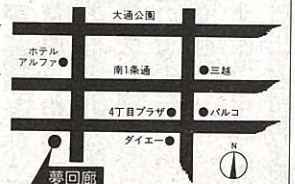
北方圏交流の地域的な広がりを図るため、各地の北方圏交流推進員とも協力して、市町村、団体等に働きかけ、北方圏に関する講演、セミナー、展示等の共催に努めるとともに、できるだけ地方の会員が参加できる機会を増やす。また、季刊の会員誌「北方圏」の続刊、北海道の事情を紹介する季刊英文紙の「NRC News Letter」の継続刊行、北方圏センターの事業に対する理解と協力を促すため、広報媒体へ「NRC情報」を積極的に提供する。

(5) 交流事業

相互の理解や共通の課題について意見を交換する国際会議では、アメリカ・マサチューセッツ州、カナダ・アルバータ州、中国・黒竜江省の研究者と道内外のスペシャリストを交えて「北方圏姉妹州4極バイオ学術

夢回廊は、おいしさの館です

- 2F 「わいんばあー」 芳醇な色香と悠久な味わいの出会い。
- 1F 「炭焼や」 至高の炭火焼きの豊饗なひと時。
- BF 「ビアホール」 琥珀色のにぎわいが豊潤な夢にいだきなう。



ご予約は……
☎(011) 222-4380
 札幌市中央区南2条西5丁目 オヨヨ通
 営業時間 17:00-23:00(日曜日定休)

プリント・コミュニケーションを促進する。



協和印刷株式会社

札幌市西区発寒14条14丁目2番50号 ☎666-1641(代)

NRC 資料ライブラリー

ご利用をお待ちしています

北方圏センターの図書、資料室は、北方圏諸地域についての情報資料を幅広く収蔵している内外唯一の専門ライブラリーです。



備えている内容は、図書、定期刊行物、視聴覚資料、パンフレット、写真などで、それぞれ個別(一〇)、分野別(一〇)に分類、カード化されています。

「閲覧票」で申し込めば、どなたでも自由に閲覧できます。(一枚一〇円でコピーも可)が、北方圏センターの会員には、簡単な手続きで持ち出しも認めています。また、会員には、パンフレットなどの贈

呈もしていますし、調査研究報告書の特価頒布もしています。たくさんの方のご利用をお待ちしています。

《資料提供のお願い》
なお、これら北方圏関係資料の収集にご協力が得られれば幸いです。ご寄贈の場合は、カードにご芳名を永久記録いたします。

日新聞社取締役 森島武芳(北海道銀行相談役) 矢地広三(北海道町村会長) 山内宏(北海道拓殖銀行頭取) △専務理事 土居博昭(副会長兼務)

▽理事 秋山喜代(北海道スウェーデン協会) 阿部三恵(北海道国際婦人協会) 伊坂重孝(札幌テレビ放送社長) 一力英夫(朝日新聞北海道支社)

シンポジウム」の開催、紋別市等と共催で、海洋及び流水・気象に関する北方圏諸国の研究者を招き、「北方圏国際シンポジウム」の開催、網走市等と共催で、先住北方民族の歴史と文化を探り北太平洋に位置する国々の文化を比較検討する「北方民族シンポジウム」を開催する。

北方圏交流や北方圏諸国の理解を深めるためのセミナー・講演会等は、北方圏諸国在日公館、国際交流機関・団体、市町村及び友好団体と連携し、例えばサハリン石油・天然ガス開発公団総裁を迎えて「北サハリン開発セミナー」の開催、駐日E.C.委員会代表部大使を札幌に招待して、E.Cと北海道に関する講演会の開催、また、ロシアの科学アカデミー、実業界等から三名の研究者を招き、ロシア極東の対外経済政策、各産業別ごとのテーマで「ロシア・極東経済セミナー」などの開催を企画している。

また、展示では北方圏諸国の在日公館、友好団体と連携し、北方圏諸国を道内に紹介する展示会や所蔵の展示用資料の巡回展等を随時企画することとしている。

なお、これらの事業の執行は、財源の状況に応じ弾力的に運用する。

これに対応する新年度の予算は、収支ともに一五五、三三三、一六二〇円とした。

収入は、会費六〇、〇〇〇、〇〇〇円、補助金二三、九八三、〇〇〇円、負担金一四、一〇九、〇〇〇円、施設利用料収入九、六〇〇、〇〇〇円、事業収入三四、三六〇、〇〇〇円、雑収入一、五〇〇、〇〇〇円、



北方圏センター 平成4年度 通常総会

前期繰越収支差額九、七九七、七三二円、合計一五五、三三三、一六二〇円と見込んだ。

支出は、普及費、広報費、資料整備費、調査研究費、北方圏誌費、出版費、展示費、講演会等費、交流費、語学研修費の事業費を七九、四八一、〇〇〇円。また、人件費、事務費、施設管理費、積立金の管理費を七四、三六三、〇〇〇円。予備費一、四七九、一六二円。合計一五五、三三三、一六二円と見込んだ。

次いで、任期満了に伴う理事三八人、監事二人を選任して議事を終了した。

なお、総会に引き続いて開催された本年度第二回理事会において、互選の結果、榎原泰明氏が会長に選任された。

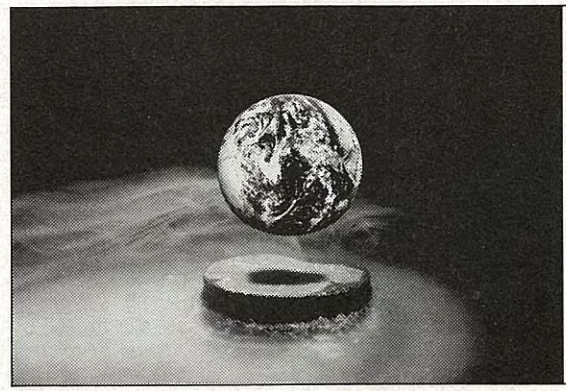
北方圏センターの新会員は次のとおり。

▽会長 榎原泰明(伊藤組土建会長)

▽副会長 大平トシユ(北海道婦人団体連絡協議会) 北川日出治(北海道新聞社長) 武井直正(北洋銀行頭取) 戸田一夫(北海道電力社長) 土居博昭(北方圏交流基金専務理事) 宮嶋勲(毎

長) 伊藤義郎(日本国際連合協会北海道本部) 浦田進(読売新聞北海道支社長) 勝木紀昭(日本青年会議所北海道地区協議会長) 坂本富士郎(北海道林業協会) 薩一夫(北海道観光連盟) 塩口喜乙(北海道アイムス社長) 柴田四朗(北海道アラスカ協会) 柴野安三郎(北海道日ソ友好文化会館) 関清秀(北海道大学名誉教授) 高橋政之(北海道体育協会専務理事) 高橋松吉(北海道ノルウェー協会) 辻井達一(北海道大学農学部教授) 手取貞夫(スウェーデン交流センター理事長) 床鍋繁則(北海道農業共同組合中央会長) 富原薫(北海道放送社長) 中川正男(北海道文化放送社長) 永井武司(日本放送協会札幌放送局長) 畠山武(北海道テレビ放送社長) 早川治男(北海道商工会議所連合会常務理事) 坂東徹(北海道市長会理事) 広多正栄(毎日新聞北海道支社長) 森本正夫(北海学園理事長) 吉田和夫(北海道経済連合会専務理事)

▽監事 潮田隆(札幌銀行頭取) 佐々木正丞(北海道瓦斯社長)



超伝達。

コミュニケーションの領域で、その摩擦抵抗がゼロになる現象が発見され、超伝達と呼んでいます。わたしたち電通は、「コミュニケーション・エクセレンス」をテーマに、この理論の実践に努めています。

株式会社 電通

クリエイティブに鮮やかさを添える

株式会社 興和

札幌市西区西町南13丁目1番41号 TEL(011)661-2341 FAX(011)661-2661

営業種目 ●フィルム製版 ●写植・電算写植 ●オフセット印刷 ●オフ輪印刷 ●フォーム印刷 ●活版印刷

平成4年度「財団法人・北方圏交流基金」理事会 前年度の事業報告や新年度の事業計画などを審議

財団法人・北方圏交流基金の平成4年度の理事会が五月二二日(火)、札幌プリンスホテルで開催され、前年度の事業報告、収支決算、新年度の事業計画及び予算案を審議した。

理事会には委任状二三名(うち委任状出席九名)と、理事二二名が出席し、議長には榎原泰明理事長が務め、議事が進められた。

議事に先だつて、本年度第一回評議員会において任期満了に伴う理事三八名、監事二名の選任された旨報告された。



次いで議案の審議に入り、平成三年度の事業報告、同収支決算を一括提案し、承認された。

交流事業助成においては、三三三の事業に対して合計二、二二五万円の助成を行った。

①第21回国際農業経済学会議北海道大会 五〇万円。②氷の物理と化学国際シンポジウム 一〇〇万円。③北方圏姉妹州4極バイオ科学シンポジウム 二〇〇万円。④アメリカ

研究札幌クールセミナー 五〇万円。⑤北太平洋地域研究プログラム'91 一〇〇万円。⑥寒地技術シンポジウム'91 一〇〇万円。⑦オホーツク国際流水ロード 北方圏国際シンポジウム 五〇万円。⑧1991国際水辺

環境フォーラム 八〇万円。⑨北海道サハリン大学生交流 五〇万円。⑩トム・ハドソン記念講演「マークとイメージ」 二〇万円。⑪第8回北方圏サケ学習交流 一四〇万円。⑫北海道・黒龍江省農業等共同研究事業 七〇万円。⑬「JTB北海道」(北海道紹介英文「対訳版」ポケットブック)第3版発行事業 三〇万円。⑭「アイヌ絵集」アイヌ絵資料目録」作成事業 三〇万円。⑮「第5回北海道極東シンポジウムの記録」の公刊 三〇万円。⑯シンポジウム「21世紀の姉妹交流を考える」 五〇万円。⑰第3回北海道ハム・フェア 八〇万円。⑱「北海道―黒龍江省友好提携5周年記念親善使節団」派遣事業 五〇万円。⑲91日中友好道南研修旅行 二〇万円。⑳「北欧の科学技術と産業振興」調査研究四〇万円。㉑B・ピウスツキの足跡についての調査 五〇万円。㉒北欧生活環境視察団派遣 一〇〇万円。㉓欧州都市生活環境調査派遣 三〇万円。㉔HBCジュニア・オーケス

トラ・ノボシビルスク親善公演 五〇万円。㉕スウェーデンセミナー「ストリッド・リンドグレンの世界」 二五万円。㉖北方諸民族芸能祭とシンポジウム 五〇万円。㉗ノルウェー・テンシグ公演と交流会 八〇万円。㉘「北方ユーラシアと北アメリカの宗教と生態」国際シンポジウム 八〇万円。㉙「ノルディックライトSAPPRO」北欧音楽祭一〇〇万円。㉚札幌創立30周年記念演奏会(オーケストラ、シユヴァルツ氏指揮) 一〇〇万円。㉛カナダ国チエハリスとの文化交流 四〇万円。㉜アルハンゲリスク北海道公演 五〇万円。㉝北海道―ロシア極東ジャーナリスト交流会議 一二〇万円。

収支決算では、平成三年度の収入額は、基本財産運用収入一五、二二八、三九一円、運用財産運用収入一七、六五〇、四九九円、前期繰越収支差額五、九六六、五五四円、合計三八、八四五、四〇四円。一方、支出額は、交流事業助成費二、一五〇、〇〇〇円、管理費六、四二二、四五五円、前期繰越収支差額一〇、二八二、九九九円、合計三八、八四五、四〇四円である。

次いで、平成四年度の事業計画及び収支予算を一括提案し、承認された。

新年度の事業計画は、次の事業の助成を内定している。

- ①北海道の先史文化源流を探る国際シンポジウム
- ②アメリカ研究札幌クールセミナー
- ③寒地技術シンポジウム'92
- ④シンポジウム「サハリンの自然環境」
- ⑤東アジア経済セミナー
- ⑥北海道・黒龍江省農業等共同研究事業
- ⑦サッポロインターナショナルアンサンブル「ミュンヘン公演」
- ⑧新都市流尺八聖社国際交流記念演奏会
- ⑨「ニコライ日記」について講演
- ⑩国際交流提携北方圏舞踊集団創立記念公演
- ⑪サマージャズ・フェスティバル
- ⑫イン・クッチャン'92
- ⑬デンマークから楽しい色と形のメッセージ「ペア・アーノルド展」
- ⑭札幌・ロシア極東少年野球親善試合
- ⑮北海道・アルバータアイスホッケー交流20周年記念事業
- ⑯北海道青少年フィンランド訪問スポーツ交流
- ⑰北方地域博物館交流事業
- ⑱北海道沿海地方博物館交流事業
- ⑳降雪地帯に住む幼児の家庭と幼稚園・保育園における冬遊びの国際比較
- ㉑第9回環太平洋サケ学習交流
- ㉒マサチューセッツ・北海道ウィーク開催事業

北・北海道―サハリン州地域活性化交流事業

②北米都市生活環境調査派遣

③カナダ生活環境視察団派遣

なお、以上の内定額合計は、一、五五〇、〇〇〇円。また、今後の助成申請に対しては、基金事業審査会による審査のうえ、適切な助成を図るものとしている。

収支予算では、収入の見積もりは、基本財産運用収入一五、四〇〇、〇〇〇円、運用財産運用収入一四、〇〇〇、〇〇〇円、寄付金収入一、〇〇〇、〇〇〇円、前期繰越収支差額一〇、二八二、九九九円、合計四〇、六一二、九九九円。一方、支出の見積もりは、交流事業助成費一五、〇〇〇、〇〇〇円、管理費七、八二二、〇〇〇円、運用財産積立金一、〇〇〇、〇〇〇円、予備費六、八六二、九九九円、合計四〇、八六二、九九九円としている。

次いで、北方圏交流基金評議員を選出、審議の結果、次の二二名が選出された。

- 伊藤隆一(北海道フィンランド協会理事)
- 岩田泰(北海道カナダ協会副会長)
- 大谷乗園(北海道スウェーデン協会事務局長)
- 小笠原裕治(北海道経済連合会事務局長)
- 川



村喜芳(北海道町村会常務理事)

司栄四郎(北海道水産会副会長)

末松正行(北海道市長会事務局長)

妻木義一(北海道農業共同組合中央会常務理事)

○所哲也(北海道大学経済学部教授)

山本武義(北海道木材協会副会長)

○前川舜二(北海道青少年婦人国際交流センター事務理事)

水野守雄(北海道日口友好交流会館理事長)

〔なお、○印は基金事業審査会委員〕

旭プリント株式会社

ASAHI

札幌市西区発寒1条4丁目2-11
TEL(011)666-4040
FAX(011)666-5444

自費出版
記念誌
DTP
自筆印刷
各種出版印刷

恒例の会員新睦パーティー「海外旅行プレゼント」 マサチューセッツの旅へ二名、中国の旅へ二名

総会終了後、今回で第八回を数え既に恒例となった会員親睦パーティーが開催された。大好評の海外旅行プレゼントの抽選が今年も行われ二〇〇人を超える参加者が楽しんだ。榎原泰明会長のあいさつに続いて、来賓の方々を代表して、横路孝弘北海道知事からあいさつをいただいた後、戸部智弘北海道開発局長のスピーチと音頭で乾杯。二〇〇人を超える会員と来賓の方々が集まった会場には、親睦の輪が広がって和気あいあい。



あいさつする榎原会長

北海道へ派遣される。北海道ウィーク友好の翼へ参加する「マサチューセッツの旅」一名と、昨年に引き続きの「中国の旅」へ二名の招待（それぞれ一名は会場の出席者から、また残る一名は中国の旅へ委任状出席者から）。

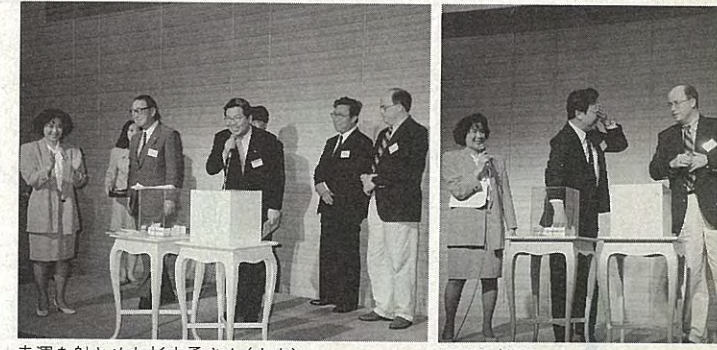


会場



来賓を代表して横路知事のあいさつ

リック・リネハン館長と在札幌中華人民共和国総領事館の趙鐘 総領事が登壇し、会場の熱い視線に圧倒されてのお二人は楽しいジェスチャーを交えて幸運のカードを抽選した。幸運の当選者は「マサチューセッツの旅」には個人会員・杉本勇氏、



幸運を射とめた杉本勇さん(中央)

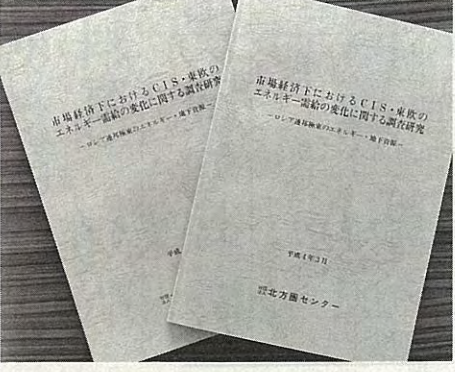
真剣に抽選

そして「中国の旅」には法人会員・北海道青年団体協議会と、委任状出席の個人会員・広中正利氏の二名一団体。当選した杉本勇さんと北海道青年団体協議会の茂利泰史さんの二人は、会場の人達の羨望のまなざしを受けながら「思いもよらなかったことなので、信じられません。本当にありがとうございました」と顔を紅潮させていた。最後に、当センター顧問で北海道空港社長の三上頭一郎氏によるスピーチと乾杯で、親睦パーティーは終了した。

調査研究報告書

「市場経済下におけるCIS・東欧のエネルギー需給の変化」

北方圏センター調査研究部では、昭和五十七年から継続して「中央計画経済圏のエネルギー事情」についての調査研究を行っているが、平成三年度は、ロシア極東地方のエネルギー・地下資源に焦点を当てた『市場経済下におけるCIS・東欧のエネルギー需給の変化に関する調査研究』をロシア極東のエネルギー・地下資源』を行い、報告書を作成した。旧ソ連邦が崩壊し、現在ロシア経済は極めて停滞している。広大な領土を有し、豊富な地下資源を持つロシア連邦だが、広大ながゆえに内包された様々な問題がある。例えば、既存油田の老朽化が進み、生産性が低下している。新たな油田の開発には、巨額な投資が必要であり、その資金についての問題。厳寒のしかも遠隔地に資源が多いために、その輸送コストの問題。自治共和国、州、地方のロシア連邦との間で権限や資源の所有権の争いの問題等、数多くの問題がある。



歴史的にも結び付きの強いロシア極東地方との交流は、今後ますます盛んになるものと考えられる。本書はその一助になることを目的としている。

主な内容は、第一章・石油、天然ガスの生産・輸出問題、第二章・地下資源の分布と開発の方向、第三章・公害とその対策、第四章・対外経済関係における法制度的側面、第五章・まとめ（極東開発の経済戦略、日ロ貿易関係の現状、日本の対ロ支援、日本の対ロ対応の視点）。

なお本書をご希望の方には、三、〇〇〇円でお分けする（北方圏センター会員・二、五〇〇円）。購入ご希望や詳細については調査研究部までお問い合わせ下さい。



信頼されて全道、26,000棟の実績。
高品位住宅
THINK AMENITY

ミサワホーム
北海道事務所
〒060 札幌市中央区北2条西4丁目三井ビル別館 (011)281-5521

ご入会ありがとうございます。

北方センター



新入会員

ご紹介

〈平成4年3月19日～平成4年6月15日〉



法人会員●入会順

「北海道の住まい」編集部

持田製菓株式会社

サッポロインターナショナルアンサンブル

株式会社ノルテ・プランニング

株式会社ハウジングサービス・フルタ

- (札幌市中央区)
- (〃〃)
- (〃〃)
- (厚別区)
- (〃〃)
- (豊平区)
- (〃〃)
- (東区)

個人会員●入会順

- 片山 尚子 (札幌市中央区)
- 長尾 光 (〃〃)
- 上野 文男 (〃〃)
- 久保田 功 (〃〃)
- 栗林 香織 (〃〃)
- 林 咲 (〃〃)
- 長野 由佳 (〃〃)
- 藤原 弘道 (石狩町)
- 高松 洋子 (札幌市南区)
- 下平尾 文子 (〃〃)
- 吉本 康子 (〃〃)
- 田辺 ミナ (〃〃)
- 山本 敦子 (〃〃)
- 石井美智子 (〃〃)
- 正木 優子 (〃〃)
- 浜市 朝子 (〃〃)
- 大山 英晃 (〃〃)
- 春菜久美子 (〃〃)
- 林 裕司 (〃〃)
- 永瀨 千絵 (〃〃)
- 黒坂 洋行 (〃〃)
- 森本 淳一 (〃〃)
- 藤沢 豊 (〃〃)
- 竹内 俊明 (〃〃)
- 川瀬 さつき (〃〃)
- 栗城 淳 (〃〃)

- 渡辺 幸恵 (札幌市西区)
- 須藤 哉絵 (〃〃)
- 今野 あゆみ (〃〃)
- 榎本 紀子 (〃〃)
- 平田 義和 (〃〃)
- 岩尾 みゆき (〃〃)
- 渡辺 聡 (〃〃)
- 薄田 和枝 (〃〃)
- 村上真佐子 (〃〃)
- 木村 節子 (〃〃)
- 浅間 恭輔 (〃〃)
- 佐藤 美樹 (〃〃)
- 橋津 良枝 (〃〃)
- 川上 素子 (〃〃)
- 齊藤 絵里 (〃〃)
- 高橋 妙子 (〃〃)
- 脇山久美枝 (〃〃)
- 杉山 尚 (〃〃)
- 板垣 美幸 (〃〃)
- 奈良 清一 (〃〃)
- 栗重 理香 (〃〃)
- Jack Manion
- 樽木 美紀 (〃〃)
- 安宅 秀之 (〃〃)
- 安部 さやか (〃〃)

- 竹田 理恵 (札幌市西区)
- 神田 房行 (釧路市)
- 青山 英幸 (札幌市厚別区)
- 鈴木 康之 (〃〃)
- 伊藤 正清 (江別市)
- 庄司 匡宏 (札幌市白石区)
- 沖田和津枝 (〃〃)
- 宮武 高義 (余市町)
- 堀川 邦明 (札幌市中央区)
- 原 修 (秋田市)
- 藤尾 俊郎 (枝幸町)
- 斧 ミワ (札幌市南区)
- 木村 英明 (〃〃)
- 帯川由美子 (〃〃)
- 竹下依公子 (〃〃)
- 今野 純江 (〃〃)
- 金子みち子 (〃〃)
- 井幡 篤憲 (〃〃)
- 金谷 有子 (〃〃)
- 小林 由里 (〃〃)

誌(紙)名	発行所	刊
The Scandinavian Economics	Hilary Barnes	月刊
FBR(Finnish Business Report)	OY NOVOMEDIA LTD	月刊
Finnfacts	フィンランド大使館	年刊
スウェーデン情報	スウェーデン大使館	月刊
スウェーデン社会研究月報	(社)スウェーデン社会研究所	月刊
白夜	北海道スウェーデン協会	月刊
ビョルグ(白樺)	(財)スウェーデン交流センター	月刊
ノルウェー通信	ノルウェー王国大使館	月刊
The Canada-Japan Business Review	Iwasaki & Associates Ltd.	月刊
Canada	カナダ大使館	月刊
QUÉBEC UPDATE	ケベック州政府在日事務所	月刊
WINTER CITIES	Winter Cities Ass.	季刊
アラスカ会報	アラスカ会	月刊
北京週報	北京週報社	週刊
日中東北	日中東北開発協会	月刊
The German Tribune	GERMAN PRESS	週刊

《調査研究部図書資料室》

北方圏の生の情報をご利用ください

北方圏センターでは、北方圏諸地域に関する資料を集約して、その利用に供しているが、在日各国大使館はじめ関係機関、また、各国から直接に送付を受けている資料が相当数に上っている(別表)。

本誌ではそうした資料の中から興味深いものを「北方圏ニュース(海外版)」として掲載しているが、盛り込めなかった情報の中には、各国の貿易や産業に関する情報、科学技術の最新情報、あるいは生活一般の情報など、北方圏諸国の理解を深めるのに役立つものばかり。

これらは閲覧室の書架に常備されており、北方圏諸国の生の情報として、広くご利用をお待ちしている。

★栗沢町

人が来てくれる魅力あるまちに開基百年

暑中お見舞申し上げます

D.Mの取扱いは、すべてSMS札幌メールサービスにおまかせ下さい。

あらゆるニーズに迅速にお応えいたします!

- ダイレクトメールの発送処理
 - 宛名筆耕、宛名印刷
 - ラベリングマシンによる宛名データ貼付
 - 封入、封印 ●帯封掛
 - 郵便料金減額作業
 - 市内特別郵便の処理、各局発送
 - リストカード作成
 - 顧客カードの管理、保管
 - その他、DM作業全般
- 商品管理、梱包、発送
- サンプリング及び宅配
- リスト
- プレミアムキャンペーンの応募
- 郵便物の整理、集計及び発送
- 街頭配布
- その他、セールスプロモーションのあらゆる作業をいたします。

ダイレクトメール総合代理店
SMS札幌メールサービス
〒065 札幌市東区北22条東1丁目
☎(011)704-2111(代)
☎(011)704-2111
FAX(011)704-2121

暑中お見舞い申し上げます。
 ◇創刊二十周年記念第八〇号をお届けします。

昭和四十七年秋、北方圏調査会によって年四回発行の季刊誌として創刊された本誌が、八〇号という誌齢を数えました。国際的視野に立って、北海道の抱える課題の解決に向けての提言、北方圏諸国の先進事例の紹介、情報の提供、また、内外で繰り広げられる交流の様子や話題をお届けしての二十年。これも一重に、北方圏センター会員の皆様はじめご愛読下さった皆様のご支援の御蔭と厚くお礼を申し上げます。

◇この創刊二十年を記念して、北方圏各国の大使の方々から、読者の皆様にメッセージをいただいた。それぞれのお国と北海道との交流について、温かな励ましや今後への期待が寄せられた。読者の皆様とともにお礼を申し上げます。

◇本誌の編集発行人でもある歴代事務局長の方々にお集まり願ひ、座談会を開催したが、多くの示唆に富んだ提案をいただいた。先達のご腐心に敬意を表するとともに、今後一層の努力を重ねていく所存。よろしくお願ひ申し上げます。(山本)
 ◇小生が当北方圏センターの前身で

ある北方圏調査会に勤務したのは昭和四十六年九月。以来今日まで二十年、「北方圏」誌と同じ年数を経た。今号の企画の一つとして、創刊号から前号までにご執筆(座談会等を含めて)いただいた方々をご紹介するコーナーを設けた。その数は実に九七〇名、二度以上ご登場いただいた方も多く、延べにすると一八五〇名を越えていたのは、当事者としても驚きだった。

とはいえ、どの方のお名前にも思ひ出がある。締め切り間際、また時間のない時に、ご無理をおかけした方々には、本当に感謝です。(新井)
 ◇デンドロビウム・ファレノアシス、アガパンサス、デルフィニューム、ハイドランジア…。これらは皆一昔前まではそれぞれ、胡蝶蘭、紫君子蘭、飛燕草、西洋紫陽花などと呼ばれていたもので、昨今、花屋の店頭を飾っている花たちです。

バイオ技術による改良などで生まれた新品種にもこうした名が付いているのですが、日本古来の花である花菖蒲や鉄線蓮、中国原産の菊や芍薬もそのうちにカタカナ名で店頭に並ぶ日がくるのかもしれない。
 各地の花き栽培も盛んで色とりどりの花が咲き誇る夏です。(優)



◇どさんこワイドンを見ると、たとえば①全道の1日がわかる
 ②他の町の夕景が眺められる③旬の風物詩に感動したりもする。しかも街角テレビに出ると、たとえば④家族に帰るコールができる⑤友人知人に顔見せができる⑥とりあえず目立てる⑦プレゼントが当たることもある。そのうえ、⑧ニュースの裏側⑨いま流行のグッズやファッションやイベント情報⑩すぐ作れる美味しいおかず、などなど知って得したり、世の中にも詳しくなれる。いいことづくし、2時間たっぷり生放送中です。

見てよし、出てよし、知ってよし。



大型ニュースバラエティ

どさんこワイド120

月～金 夕5時～7時 [生放送]

〈キャスター〉街角リポーター 木村洋二・明石英一郎・中西章一
 〈コメンテーター〉 谷口祐子
 〈アシスタント〉 熊坂伸広
 〈ニュースデスク〉 星澤幸子
 〈ウッキングキャスター〉



第80号

定価515円(送料210円)

(消費税込)

会員無料配布

一九九二年七月十五日発行(年4回・季刊)
 発行所 札幌市中央区北三西七(道庁別館)
 北方圏センター ☎211-7840
 編集・発行人 山本 孝
 制作 (株)電通北海道支社
 印刷 山藤印刷株式会社
 購読御希望の方は郵便振替で。
 一年二〇六〇円(別途送料八四〇円)
 郵便振替口座 小樽九七四九九

会員募集 お知り合いの向き入会をお誘い下さい

北方圏センター(会長・榎原泰明)は、北国にふさわしい北海道の生活、文化、産業を育てあげるべく、会員の会費で運営されています。

- 法人及び団体の年会費 1口1万円
 - 個人 人の年会費 1口5千円
- できるだけ2口以上

ご連絡いただければ、申込書用紙等をお送りいたします。ご入会は、電話でもお受けいたします。

北方圏センターとは……

(目的) 北海道と北方圏諸国との産業、生活、文化等の交流を積極的に推進し、北海道の繁栄をはかるとともに、日本の発展に寄与する。

(事業)

- 1 北方圏に関する調査研究
- 2 北方圏に関する講習会、研究会、展示会等の開催
- 3 北方圏に関する資料の作成、収集、提供
- 4 北方圏に関する図書、資料の刊行
- 5 北方圏に関する意見の具申
- 6 北方圏に関するコンサルタント
- 7 北方圏諸国との視察団等の交流
- 8 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

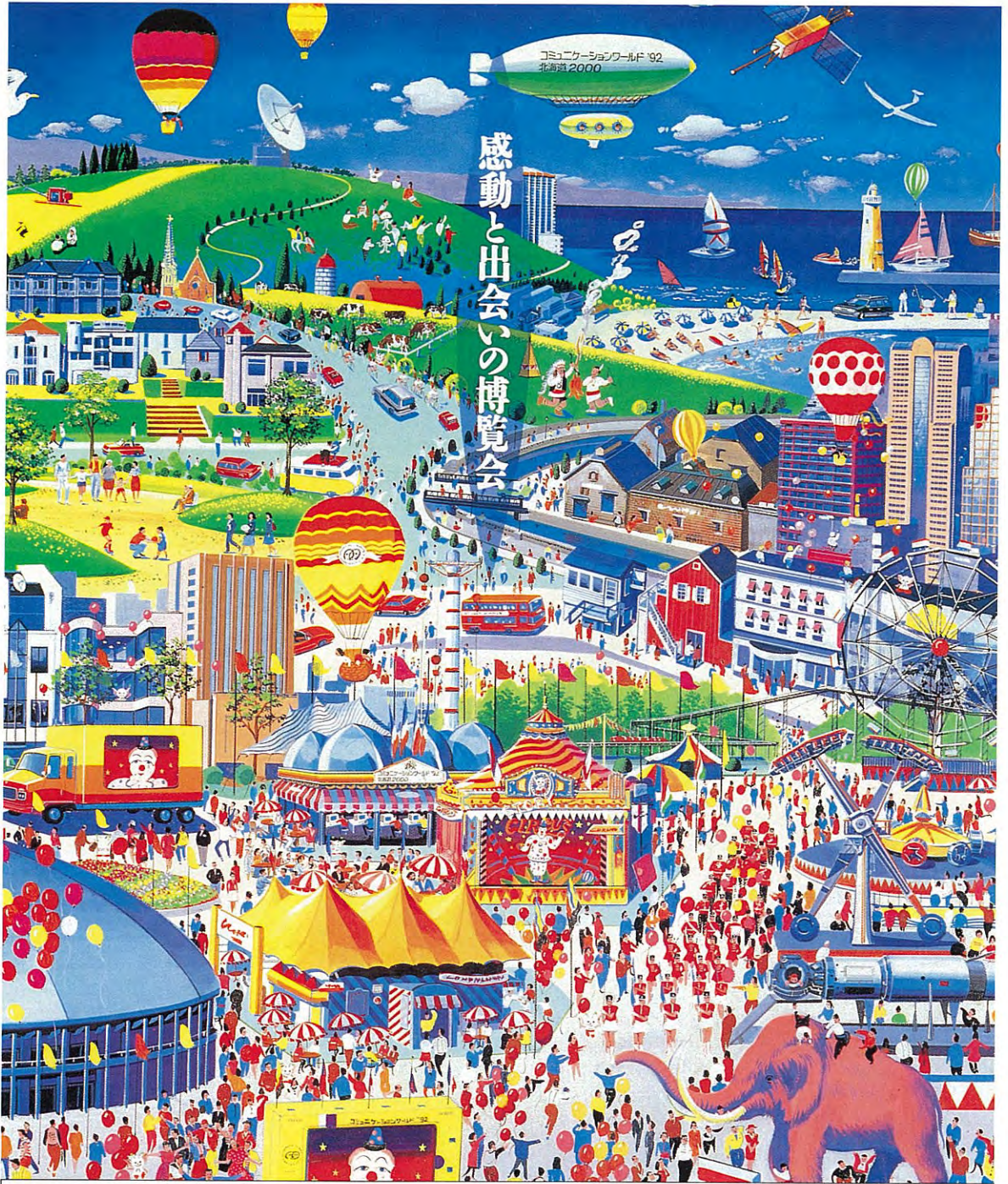
北方圏センターへの入会は……

北方圏センターの趣旨や活動に賛同される方は、どなたでも会員になれます。

(会員の特典)

シンボルマークの会員証とバッジ、季刊「北方圏」誌(新しい情報)、年刊「グラフ北方圏」誌、会員名簿、年報、資料冊子等の無料配布。北方圏案内パンフレット類の贈呈。外国事情、図書資料の利用。ラウンジの利用。調査報告書等出版物の特価頒布。法人会員の施設利用料減額。語学研修講座、懇談会、セミナー、外国人との交流、視察旅行等参加ご案内、道内ホテルの宿泊割引、視察訪問先等の情報提供などがあります。
 しかし、何よりも、北国の暮らしや産業を豊かにする活動に参加し、ともに育てあげていこうというお気持ちでのご入会をお待ちしています。

社団法人 北方圏センター 札幌市中央区北3条西7丁目(道庁別館) ☎06(011)221-7840



ただいま、開催中。
感動と出会いのコム博。

コミュニケーションワールド '92
北海道2000 〔'92・6/27(土)→8/23(日)、札幌・月寒グリーンドームとその周辺〕

